

第七十九回帝國議會議院

米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會會議錄(速記)第五回

付託議案
米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)(第五號)
木炭需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)(第一三號)
食糧管理法(政府提出)(第三九號)

會議

昭和十七年一月二十八日(水曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 三善 信房君
- 理事岩瀨 亮君 理事古田喜三太君
- 理事濱地 文平君 理事森田重次郎君
- 理事森 幸太郎君 理事前川 正一君
- 理事松本治一郎君

- 安倍 寛君 松浦周太郎君
- 今成留之助君 馬岡 次郎君
- 小串 清一君 村上 國吉君
- 田代 正治君 川島正次郎君
- 北 勝太郎君 山田 六郎君
- 山川頼三郎君 坂下仙一郎君
- 高橋圓三郎君 吉田 賢一君
- 林 讓治君 高田 耘平君
- 土田 莊助君 淺沼稻次郎君
- 成島 勇君 野溝 勝君
- 由谷 義治君 服部 崎市君
- 平野 力三君

出席國務大臣左ノ如シ
農林大臣兼拓務大臣 井野 碩哉君
出席政府委員左ノ如シ
海軍少將 保科善四郎君
農林次官 三浦 一雄君

第六類第二號 米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會會議錄 第五回 昭和十七年一月二十八日

農林省總務局長 重政 誠之君
農林省農政局長 岸 良一君
農林省山林局長 井出 正孝君
農林省食品局長 辻 謹吾君
農林省資材部長 岡本 直人君
農林書記官 笹山茂太郎君
食糧管理局長官 湯河 元威君
樺太廳長官 小河 正儀君
厚生省勞働局長 持永 義夫君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)
木炭需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)
食糧管理法(政府提出)
○三善委員長 只今ヨリ開會致シマス——
山田六郎君

○山田(六)委員 食糧問題ニ付テノ大體ノ政府ノ方針ト云フコトニ付テ御聽キ致シタ
イノデスガ、先日來大體ノ御話ヲ承リマシ
タカラ、モウ殆ド私ノ聽ク所ハナクナリマ
シタ、要スルニ内外地ニ於テ食糧ヲ充實セ
シムルト云フ計畫ノ下ニヤツテ行ク、外米依
存ト云フコトヲ止ス、斯ウ云フヤウナ御説
明ノヤウニ御聽キシテ居ツタノデスガ、ソ
レガ果シテ可能デアルカドウカト云フヤウ
ナ御質問モアツタヤウデアリマスガ、私共
ハ最近ノ米穀事情ヲ考ヘ、國內ノ事情カラ
見テ外地ニ依ルト云フコトモ此ノ際止メナ

ケレバナラス、萬々一日本ノ極メテ最惡ナ
コトモ考ヘテ、例ヘバ臺灣航路ガ杜絶スル、
或ハ對馬海峽ガ絶エタト云フヤウナコトモ
想像ヲシテ、兎ニ角内地ハ内地トシテ食糧
ノ獨立ヲ圖ルベキデアアル、此ノ食糧ト云フ
モノニ對シテノ恐ルベキコトガ日ニ痛
切ニ感ゼラレル、萬々一食糧ノ獨立ガ出來
ナイト云フコトニナレバ是ハ萬事窮スデア
ルト云フ風ナ感ジガ近來益々濃厚ニヒシ
ヒシト感ゼラレルノデアリマス、デアリマ
スカラ、是ハドウシテモ内地ハ内地トシテ
食糧ノ獨立ヲ圖ルベキデアアルト思ヒマスガ、
ソレハ中々困難デアアル、前途遠遠デアアル、
アルカラ先ヅ内外地ニ於テ外米依存ヲ止ス、
内外地ニ於テ之ヲ間ニ合ハスト云フヤウナ
方針ヲ何處マデモ堅持シテ行カナケレバ
ラスト思フデアリマス、ソレデナケレバ
ドウモ相成ラヌ、更ニ一歩進ンデ内地ハ内
地ダケノ食糧ノ獨立ヲ圖ルベキデアアルト云
フ風ニ考ヘルノデアリマス、ソレニ付テノ
御意見ヲ御聽キ致シタイ、同時ニ現在御計
畫ニナツテ居ル食糧問題ニ付テノ色々ナ方
策ハ果シテ是デ間ニ合フカドウカト云フ問
題デアアル、ドウモ昨年アタリカラノ色々ナ
或ハ改田ト云ヒ、或ハ土地ノ改良、或ハ轉
作、或ハ指導員ノ擴充デアルトカ、色々ナ
コトヲオヤリニナツテ居リマスルガ、何レ
モ重要ナコトデアリマスルガ、其ノ規模ガ
餘リニ小サイ、餘リニ小サクテ是ハ容易ナ

コトデアリト云フ風ニ私共ハ考ヘル、ドナ
タカ指摘サレタヤウニ日本ノ田地ガチツト
モ殖エテ居ナイ、二十年前ト今日トデハ殆
ド殖エテ居ナイと言ツテモ宜イ位ノ割合ニ
ナツテ居ル、僅カ百分ノ一・六位シカ殖エテ
居ナイ、二十年間ノ人口ノ増加ハ三割以上
ニナツテ居ルト云フ風ナ状態デアリマスカ
ラ、是ハ此ノ儘ニシテ行ツタノデハ大變ナ
コトデアアル、二十年前ニ五畝一歩人口一人ニ
付テアツタ田地ガ今日ノ所ハ四畝五歩シカ
ナイ状態デアリマス、人口一人ニ付テノ減
反ガ一畝歩ト云フノデアリマスカラ、是ハ
大變ナコトデアアル、現在ノ所デドウ計算シ
テ見マシテモ、ドンナコトヲシテモ人間一
人ニ付テ五畝歩ノ田地ヲ必要トスル、斯ウ云
フ風ニ私共ハ見テ居ル、五畝歩ノ田地ハド
ウシテモ必要デアアル、一反二石以上ノ收穫
ヲ見ルコトハ出來マセヌカラ、ドウシテモ
五畝歩以上ノ田地ガ要ル、サウスレバ少ク
モ今日ノ所デ五十万町歩位ノ田地ヲ殖サナ
カッタナラバ食糧ノ充實ハ出來ナイ計算ニ
ナツテ居リマスルガ、是ハ直チニハ不可能ノ
コトデアアルガ、先ヅ其ノ目標ヲ以テ進マ
バナラヌト云フコトガ一ツ、今一ツハ二十
年間ノ人口増加ガ八十五万位ニナツテ居リ
マスカラ、此ノ八十五万ノ増加ニ對シテモ少
クモ五畝歩位ノ土地ノ用意ハセンケレバナ
ラス、ソレヲシナカッタナラバ結局日本ノ
食糧ノ獨立ト云フコトガ出來マセヌカラ、

はハ非常ニ前途ニ危險ヲ伴フモノデアルト云フ風ニ私共ハ考ヘル、サウ云フ情勢ニアリナガラ現在マデノ計畫サレテ居ル所ノ總テノ食糧ノ増産ノ方法ト云フモノハ餘リニ緩慢デアアル、昨年中十町歩以上ノ代作轉作ヲ行ツテ、サウシテ桑園ヲ減ラシ、其ノ他ノ作物ヲ減ラスト云フヤウナコトデアリマシタガ、是ナドハ相當ニ食糧ノ増加ガ出來ルデセウ、一面ニハサウ云フコトニシテ一方ノ重要作物ヲ廢シテ米ヲ作ラセル、麥ヲ作ラセルト云フヤウニ御努力ニナリマシタガ、一方ニハソレ以上ノ耕作ヲ廢止サレタル土地ガ要ルト云フコトデアツテ見ルト、是ハ殆ド何ニモナラナイ、最近各所ヲ旅行シテ歩キマスト是マデヨリモ二毛作ナドガ行ハレテ居ナイ、先達テ群馬縣ニ私ハ行ツテ來マシタガ、アノ地方ハ非常ニ二毛作ガ盛シノ地方デ到ル處デ麥ナリ何ナリ必ズ作ツテ居ツタガ、近來行ツテ見ルト殆ド空イテ居ル、何ノ爲ニ斯ウ云フ工合ニ地方ガ二毛作ヲ作ラヌコトニナツタカト言フト、軍需工場ガ澤山出來テ、其ノ軍需工場一ツ出來ルト五里四方位ノ所ハ二毛作ガ廢レテ來ルト云フ状態ニナツテ居リマス、一方デハ重要作物ヲ轉作セシメルコトニ依ツテ食糧ヲ充實セシムルト同時ニ、一方デハ軍需工場ノ爲ニ其ノ食糧ノ生産ガ減ツテシマフト云フヤウナコトデアツタノデハ是ハ何ニモナラヌト云フコトニナラウト思フノデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテドウシテモ一面ニ於テ新ナル食糧ノ増産ヲ圖ルト同時ニ、一面ノ方デ減産ノ防止ヲハツキリシテ行カナカツタナラバ效果ガナイト云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ政府ノ御所

信ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス
 ○井野國務大臣 只今山田委員ノ御述べニナリマシタ通り、人口ノ増加ニ從ツテ内地ノ増産計畫ヲ確立シテ行カナケレバ、如何ニ聲ヲ大ニシマシテモ内外地ヲ通ジテノ食糧ノ自給自足ト云フコトハ困難ナノデアリマス、政府ハ此ノ内外地ヲ通ジテノ自給自足ト云フコトヲ方針ト致シマス以上、勿論只今御述べニナリマシタヤウナ問題ニ付テ、各方面カラ種々ノ施策ヲ講ジテ參ツテ居ルノデアリマシテ、昨年本議會ノ御協賛ヲ經テ既ニ實施シテ居リマス農地開發法、此ノ法制ニ基ク十二箇年ヲ目標トスル所ノ食糧自給強化施設ト云フモノハ、今御述べノ五十町歩ノ開墾ヲ目標ニシテ居ルノデアリマス、昨年カラ着々農地開發營團ヲシテ實施セシメテ居リマシテ、既ニ相當ノ實績ヲ擧ゲテ居リマス、又桑園其ノ他ノ作物ノ轉換ニ依ル耕地ノ擴張モ十町歩以上本年度ハ致シテ居リマスガ、之ヲヤツテモ片方ニドソノ減ツテ行クノデハイカヌデハナイカト云フ御話ガアリマシタガ、耕地ノ潰地ハソソナニ十町歩モ澤山起ルノデハナイノデアリマス、精々二三万町歩デアリマスカラ、ソレハ他ノ開墾其ノ他ノ方法ニ依リマシテ十分埋合セテ付ケテ參ツテ居ルノデアリマスカラ、隨テ最近ニ於テハ相當ニ耕地擴張ガケデナシニ、反當リ收量ノ増加ト云フコトニ依リマシテモ、相當實績ヲ擧ゲ得ルノデアリマシテ、現ニ凡ソ方法ニ依ツテ反當リ收量ノ増加ヲ圖リ、現在相當ノ實績ヲ收メツツアルノデアリマスカラ、政府トシテハ大體現在ノ状態ヲ以テ此ノ計畫ヲ實施シテ參リマスレバ、十二年後ニハ米

ガ一千百万石、麥ガ一千二百万石ハ増産ガ出來ルト云フ目標デ現在進ンデ居リマスカラ、其ノ點ハ御安心願ヒタイト思フノデアリマス
 ○山田(六)委員 開墾目標ノ土地ガ五十万町歩ト云フコトニナツテ居リマスガ、コトニ頂戴シテ居ル材料ニ依ルト意外ニ少イ反別ニナツテ、僅カニ五万町歩ト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ今後年々五万町歩ツツ開墾シテ行ク御見込デアアルカドウカト云フコトヲ御聽キシテ置キタイト思フノデアリマス、ソレカラ昭和十七年度ノ收穫ガ七千万石ト云フヤウニナツテ居リマスガ、果シテ此ノ七千万石ト云フノハドウ云フ基礎ニ依ツテ御作りニナツテ居ルカ、其ノ内容ヲ御聽キ致シタイト思フノデアリマス、昨年モ七千万石ノ生産計畫ヲ御立テニナツタヤウデアリマスガ、是ハ極メテ杜撰ナ基礎ニ依ツテ立テラレタ數字ノヤウニ私共ハ考ヘテ居ツタノデアリマス、昭和十四年度ノ最モ收穫ノ多イ年ニ、更ニ耕種ノ改善デアルトカ、桑園ノ轉作デアルトカ、或ハ土地ノ改良擴張等デ二百餘万石ヲ増産シテ七千万石ヲ獲ラウト云フ御計畫デアリマシタガ、實ニ是ハ杜撰ノヤウニ考ヘタノデアリマス、細カナコトハ省略致シマスガ、昭和十七年度ニ於ケル七千万石幾ラト云フ御計畫ノ數字ヲ昨日モ頂戴致シタノデアリマスガ、其ノ内容ヲ御聽キ致シテ置キタイト思フノデアリマス、ソレカラ今日生産ヲ増加スルト云フ方法デ種々ナルコトガ行ハレテ居リマスガ、土地ノ開墾ト云フヤウナ問題ニ付キマシテモ、餘程今後今一層ノ力ヲ入レナカツタナラバ、開墾ヨリ生ズル所ノ增收ヲ期スルコトガ出來ナイノデハナ

イカト云フヤウニ思フノデアリマス、畑ニシマシテモ田ニシマシテモ、開墾シテ數年ヲ過ギナカツタナラバ普通ノ收穫ガ出來ナイコトハ當然デアリマス、殊ニ現在殘ツテ居ル所ノ未開地ト云フノハ土地ガ惡イ所ガ殘ツテ居ルト云フコトハ當然ノコトデアリマスカラ、殊ニ畑開墾ノ如キニ至ツテハ是ハ容易ナラヌコトデアアル、今日マデ畑専門ノ開墾地デ何處ノ補助モ保護モ受ケナイデ獨立シテ成功シテ居ルト云フヤウナ例ハ極メテ少イ、デアリマスカラ、土地ヲ開墾シテ之ヲ與ヘレバ直チニ成功スル如ク考ヘテ臨ンダノデハ大變ナ間違ヒガ起ル、殊ニ五万町歩ノ中、三万町歩畑、二万町歩ハ田地ト云フコトデアリマスガ、是ハ容易ナラヌコトデアアル、私共實際ニ現ニ着手サレテ居ル所ノ状態ヲ見マシテモ、開墾シテ土地ヲ與ヘレバ農家ガ獨立シテ行ケルノダト云フ考ヘガ非常ニ間違ツテ居ルノデヤナイカト思フノデアリマス、ソレハドウ云フ譯デアアルカト云フト、中々容易デナイ、大ナル肥料ヲ施シテ小ナル收穫シカ得ラレナイ、數年若シクハ十數年經過シマシテ初メテ熟田トナル、所謂新開地ト古田トノ價格ノ差ガココカラ來テ居ルノダラウト思フノデアリマス、所ガ極メテ粗悪ナ僻地ヲ開墾シテ、ソレニ自作農ヲ植付ケヨウト云フヤウナ計畫ハ非常ナ困難デアアル、デアリマスカラ、ソレヲヤル必要ガアル、ヤラナケレバナラヌト云フコトニナレバ已ムヲ得マセヌカラ、或ル程度ノ生活保障マデモヤラナケレバナラヌ、サウシテ行クニアラズンバ決シテ成功シナイト私共ハ思フノデアリマス、進ンデ其ノ邊マデモオヤリニナル御意思ガアルカドウカ、又實際ノ上カラ

サウシナクテハナラヌト云フコトニ付テノ御調査ヲシテ戴キタイト思フノデアリマス、ソレカラ、ソレハ畑ノ方ガ實際ニ於テ非常ニ困難ナリデアリマスカラ、多ク田ヲ作レバハ確カニ成功ニ近イ、稻位耕作シ易イ植物ハ今日マデノ所ナイデアリマスカラ、其ノ耕作シ易イ稻ヲ作ラセルト云フコトガ最モ失敗ガ少イト云フコトニナリマスルガ、田ヲ少クシテ畑ヲ多ク計畫スルト云フコトハ、田ト云フモノハ水ガ伴フカラ極メテ大ナル金ガ要ルト云フヤウナ御考ヘカラスウ云フ御計畫ニナツテ居ルカト思フノデアリマスガ、茲ニ掲ゲラレテ居ル所ノ五万町歩ニ對スル經費ト云フノガ餘リニ少イト私共ハ思ツテ居ル、此ノ食糧問題ヲ解決スルニハ少シ位ノ經費、デハ駄目ダ、思切ツタ經費ヲ掛ケナケレバ相成ラヌト思フノデアリマスルガ、今日マデノモノデハ非常ニ少イト私共ハ思フ、ソレカラ更ニ此ノ増産ニ付テ次ノ問題ハ指導員ノ擴充ト云フコトデアリマス、全國ニ各町村トモ皆指導員ガ入ツテ居リマスルガ、此ノ指導員ニ付テモ政府ガ更ニ御考ヘニナラナカツタナラバ、折角ノ御計畫モドレダケノ效果ヲ奏スルカト云フコトヲ心配スルノデス、是ハ人間ガナイ、人間ガアリマセヌカラ到ル處デ間ニ合セノ人ヲ以テ指導員ニ充當シテ居ルヤウナ状態デアル、之ニ對シテハ技術的ニモ精神的ニモ再教育、再錬成ヲスルニアラズンバ何等ノ效果モ收メ得ナイノデハナイカト思ヒマスカラ、此ノ點ニ對シテ十二分ノ力ヲ御入レ下サラナケレバナラヌヤウニ思ハレルノデアリマスルガ、其ノ點ニ對スル御所見ヲ御聽キ致シタイト思フノデアリマス、ソレカラ更ニ申上ゲタイコトハ、此ノ開墾スルニ

付キマシテ、今日マデニ最モ困難ヲ各府縣トモ感ジテ居ルノハ、ヤハリ人間ノ問題デアリマス、是ハマア色々豫算ガ各道府縣ニ配當サレテ居リマス、普通ノ耕地改良擴張ニ關スル經費モアリ、或ハ風水害ニ關スル經費モアリ、或ハ冷害ニ關スル經費モアリ、或ハ増産ニ關スル經費モアリ、相當ナ經費ヲ各道府縣ニ配當サレテ居リマスルガ、今ノ人間デハ容易ニ此ノ豫算ヲ消化スルコトガ出來ナイト云フヤウナ状態ニナツテ居ル、然ルニ開發營團ナルモノガ出來マシテ、更ニ中央ヘ地方ノ人間ヲ引上ゲル、サウシテ地方デハ仕事ガ大キイ爲ニ種々ナル設計、計畫ト云フヤウナモノモ完全ニ出來ナイ、デアリマスルカラ折角ノ豫算ハ配當ヲ受ケタケレドモ事業ガウマク進マヌト云フノガ全國ノ状態デハナイカト思フノデアリマス、是ニ於テ如何ナル方法ニ依ツテモ、短期養成ノ方法ニ依ルナリ何ナリシテ、技術員ヲ此ノ際思切ツテ多ク殖ヤスノデナカツタナラバ、折角ノ計畫モ實行出來ナイト云フヤウナコトニナルダラウト思フノデアリマスルガ、此ノ邊ニ付テノ御計畫ガオアリニナルトスレバ此ノ機會ニ御伺ヒシタイノデアリマス

○井野國務大臣 山田委員ノ御説ニ依ルト、昨年七千万石ト云フ生産目標ヲ作ツタガ、是ハ杜撰デアル、ソレダケ獲レナカツタデヤナイカ、其ノ計畫ガ杜撰テハナカツタカト云フ御話デアリマスガ、吾々ノ計畫ハ決シテ杜撰デハナイノデアリマス、其ノ當時ノ技術上ノ凡ユル知識ヲ動員致シマシテ、大體七千万石ハ獲レル、斯ウ云フ目標カラ各農會ニ其ノ生産目標ニ依ツテ割當ヲ致シタノデアリマス、昨年モ四月ノ時季ニ植付ヲ段々ト致シテ參リマシタ其ノ當時ノ實績カラ見ルト、各府縣ノ見込ヲ取リマシテモ今年ハ七千万石ヲ突破スルダラウト云フ位植付ガ良ク行ツタノデアリマス、昨年ハ勞力不足デアツタニ拘ラズ、共同作業等ニ依リマシテ實ニ良ク植付ガ出來タノデアリマスガ、昨年ノ實績ガソレニ及バナカツタト云フコトハ、是ハモウ山田委員モ固ヨリ御承知ノ通り、昨年ハ非常ナ豫想外ノ惡天候デアリマシタノデア、實績ニナツタノデアリマスガ、若シモ六月ノ天候ガズツト續イテ參リマスレバ、相當ニ昨年ハ豐作デアツタラウト思フノデアリマス、殊ニ七千万石ハ無論突破シ得タ、状態ト吾々モ考ヘテ居ルノデアリマス、本年ノ計畫モ大體昨年ノ通り技術官ノ知識ヲ動員シマシテ、先日私カラ申上ゲマシタヤウニ色色ノ方法ニ依ツテ努力ヲ致シテ參リマスレバ、七千万石ハ獲レルト云フ目標ヲ持ツテ居ルノデアリマス、不可能ナ目標デハナイノデアリマス、併シ此ノ目標ニ達スルニハ今日肥料ハ足りナイ、勞力ハ足りナイ、又色々ナ惡條件ガアリマスカラ之ヲ克服シテ行くコトニ非常ナ困難ハ伴ヒマスガ、農民竝ニ政府技術員總テガ協力シテ此ノ目標ニ進んで參リマスレバ、大體ニ於テ天氣サヘ普通以上ニ參リマスレバ、此ノ目標ハ行く、斯ウ云フ見透シヲ持ツテ居ルノデアリマス

又開墾ニ付テノ問題デ、畑作ト田トノ關係ガ、畑作ハ非常ニ困難デアル、收支ノ上カラ行ツテモ中々採リニクイト云フ御話デアリマスガ、是モ土地々々ニ依ツテ自ラ違フノデアリマス、吾々ガ五十万町歩ノ開墾ヲ計畫致シマシタノモ、決シテ單ナル机上ノ計畫デハナイノデアリマシテ、チヤント一々ノ場所々々ヲ能ク當ツテ、サウシテ計畫ヲ立テテ居ルノデアリマスカラ、決シテ其ノ計畫ガ經濟上釣合ハヌ、不引合ヒデアルト云フヤウナコトハ絕對ニナイノデアリマス、又畑作ニ付キマシテモ、唯單ナル耕作デナシニ、或ハ深堀リ其ノ他ノ色々ノ工夫ヲ致シマスレバ、相當ニ畑作トシテモ立派ナモノニナリマスコトハ當然デアリ、而モ之ニ必要ナル肥料ハ、新タニ開墾スルニ要スル肥料ハ、特ニ農林省トシテモ用意シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點ニ付テノ御心配ハナイト思フノデアリマス、唯經費ガ非常ニ少イト云フ御話デアリマスガ、相當ニ今回ノ自給強化ノ施設ニ對シマシテハ國庫ノ助成金モ從來ヨリ殖ヤシテ居ルノデアリマス、五割補助ヲ六割補助ニ致シタリ、其ノ他色々ノ點ニ於テ經費モ殖エテ居リマシテ、今日食糧増産ノ農林省ノ豫算ト云フモノハ相當多額ニ上ツテ居ルノデアリマシテ、殆ド從來ノ施設ノ十倍以上ニナツテ居ルト私ハ思フノデアリマス、勿論金ハ幾ラアツテモ切りガナイノデアリマスガ、國家財政ノ見地モヤハリ睨合セテ、此ノ程度ノ經費支出ヲ以テ、現在ノ増産計畫ヲ遂行シテ行く上ニハ決シテ其ノ經費ノ上ニ於テ大シタ不足ハナイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

又技術員ノ問題ニ付キマシテモ、是ハ御説ノ通り技術員ハ多イ程結構デアリマス、併シ是モ人間ノ數ノ上ニ於テ自ラヤハリ制限ガアルノデアリマシテ、現在居ル技術員ヲ出來ルダケ能率的ニ指導モシ又活用モ致シテ參リタイト考ヘテ、昨年來議會ノ御要望ニ依リマシテ三千万圓、本年ハ二千五百万圓デアリマスガ、豫算ヲ計上シテ技術員ノ待遇ノ改善、又數ノ擴充、是等ノ問題モ從來

ニ倍シテ經費ヲ支出シテ、色々政府トシテハ力ヲ入レテ居ルノデアリマス、現在各農村ニ參リマシテモ、山田委員ノ今ノ御話ダトコトナ状態ダト開墾ノ希望者モナイト云フ御話デアリマスガ、決シテサウデハナクシテ、開墾ノ希望者ハ非常ニ各府縣ニ於テ多イノデアリマス、農地開發營團ガ採擇ニ困ル位希望者ガ多イノデアリマス、決シテ其ノ仕事ハ引合ハナイモノデハナイト私共考ヘテ居ルノデアリマス

○山田(六)委員 只今ノ御答辯ハ大分私ノ考ヘト違ツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、希望者ガナイノデハナイ、希望者ガ澤山アルノデアリマスケレドモ、例ヘバ斯ウ云フヤウナ例ガ澤山アルノデアリマス、今日マデノ設計ヲシマスノニモ人夫賃ト云フモノヲ計算スルニモ物價ヲ計算スルニモ公定價格ノ範圍内設計算ヲサレテ居リマスガ、實際ニ於テハサウ云フ價格デ工事ヲ進メルコトガ出來ナイト云フノガ到ル所ノ總テノ工事ノ情勢デアリマスカラ、此ノ工事ニ對シテ四割デアルトカ、五割デアルトカ云フ補助金ヲ與ヘデ置ケバ十分ノヤウニ思ハレマスガ、事實ニ於テハ二割カ三割ノ補助金シカ渡ラナイト云フコトガアルノデアリマス、ソコニ非常ニ困難ガアルト云フコトデアリマスカラ、要スルニ今日マデノ補助率ト云フモノニ對シテ再檢討ヲシナケレバナラヌ、是ハ其ノ土地ヲ開墾シテ受益者ガアルノダカラ其ノ受益者ガ負擔スルノハ當然デアルト云フ風ニ御考ヘニナル向キモアルヤウデアリマスガ、ソコトデハ逆モ食糧ノ充實ト云フコトハ出來ナイ、今日ノ所デ土地ヲ開墾シタイト云フ希望者ハ澤山アリマス、アリマスケレドモ其ノ間ニ數年前ト大分違

ツテ居ル情勢ガアル、ドウシテモ農業ト云フノガ祖先以來ノ重要ナル自己ノ家系ニ付テアル産業デアアルカラトシテ、之ヲ尊重シテ居ル者モアルト同時ニ大ナル地積ヲ持ツテ居ツテモ是ハ役ニ立タヌ、今ニ小作制度ナント云フモノハナクナツテシマフデアラウ、今ニ不在地主ト云フヤウナ扱ヒヲ受ケテ過剩ナ土地ヲ持ツテ居ル者モ駄目ニナツテシマフデアラウト云フノデ、現在ノ所デ資力ノアル者モ開墾事業ヲヤラウト云フヤウナ觀念ガ薄ライデシマフ、茲ニ於テ實際ニ農業ヲヤツテ行カウト云フ本當ノ中小農家ガ斯ウ云フ事業ニ當ラナケレバナラヌト云フコトニナツテ參ツタノデアリマス、ソレハ數年前トハ全く違ツテ居ル、違ツテ居ルカラ資力ガナイ人ガ土地ガ不足デアルカラ自分ノ土地ヲ毎年耕作スルニ十分ナル土地ガ欲シイト云フヤウナ人々ガ開墾ヲヤルト云フコトニナルノデアリマス、隨テ是等ニ對シテハ思切ツタ所ノ助成ヲシ、更ニ保護ヲシテ行クト云フコトデナケレバ困難デナイカト云フコトヲ憂慮スルノデアリマス、御説ノ通り到ル所ニアツテ簡單ニ開墾シテ行ケバコソレカヲ開墾營團デヤツテ居ル所ノ土地ハソレカヲ開墾營團デヤツテ居ル所ノ土地ハ何レモ大面積デアリマスカラ、之ニ付テハ移住者ヲ入レテ自作農ヲ創設スルト云フコトニ相成ルノデアリマセウガ、是等ニ對シテハ容易ナラヌ今後面倒ヲ見テヤラナケレバ決シテ農民ハ住ミ付カヌト思フ、是ハ田畑ヲ作ツテ是等ノ人々ニ或ル價格デ賣渡シテ置ケバ是ハ完全ニ立派ナ農民ガ出來テ、生産ノ擴充ガ出來ルモノト云フヤウニ考ヘルコトハ、餘程是ハ注意センケレバナラヌコトデアリカト云フヤウニ私ハ非常ニ心

配スルノデアリマス、餘リ其ノ點ハ意見ガ違ツテ居ルノデハナク、一緒ダト思フノデアリマスガ、如何ニスルコトニ依ツテ政府ノ計畫ヲ本當ニ有效ナラシムルコトガ出來ルカト云フコトニハ今一層開墾ト云フコトニ力ヲ入レテ置カカウツタナラバ其ノ效果ヲ奏スルコトガ出來ナイ、ソレデナクテハ、ヤリマシテモ非常ニ差別ガ出ルノデハナイカト云フヤウナコトヲ非常ニ心配スルノデアリマス、是ハ私共ノ意見ノ相違デアリマスカラ、別ノ質問ニ移リマス今度ノ食糧營團ノ問題デスガ、之ニ付テ御聽キヲ致シタインデアリマス、此ノ中央及ビ地方ニ出來ル所ノ營團ノ出資ニ付テノ質問ガ、是マデ繰返サレテ居ツタノデアリマス、此ノ出資者ノ中、産業組合ト云フモノヲ認メルカドウカト云フ問題デアリマス、現在ノ全國ノ情勢カラ言ヒマスルト云フト、米ヲ集荷スルコトハ産業組合デヤツテ居ルヤウデアリマスカラ、配給其ノ他ノコトハ商業組合デヤツテ居ル、併シナガラ此ノ商業組合デヤツテ居ル爲ニ非常ナル無駄ガ今日行ハレテ居ルト云フコトハ、是ハ全國同ジヤウデアリマスカラ、昨年、一昨年アタリノ取扱ヒ振リデハ、實ニ無駄ノ多イコトモ甚ダシクテ、三十里、四十里位ノ遠クノ米ヲ持ツテ來テ配給スル、其ノ地方ノ生産シタ米ハ四十里、五十里遠クヘ持ツテ行ツテ配給スルト云フコトヲ盛ニヤラレテ居リマシタ、昨年アタリカラ其ノ距離ガ大分短縮サレタヤウデアリマスカラ、短縮サレタヤウデアリマスカラ、依然トシテ今日尙ホソレヲ繼續シテ居ル、私共ハ斯フ云フヤリ方ヲ何ノ爲ニヤルノダカ殆ド意味ガ分ラヌ、現ニ私共ノ方ノ町村ニアル米ヲ十數里ノ遠クマデ運搬致シテ、其ノ村

ニ配給ヲシロト云フ命令ヲ一方ニ受ケテ居ル、私共ノ町村デ食ベル米ガ足りナイトスルト、其ノ米ヲ又七八里向フカラ陸送シ、汽車ニ積ミ、更ニ陸送シテ配給スルト云フヤウナコトヲ繰返シテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナコトヲヤルト云フコトハ非常ニ大ナル失費デアリ、徒勞デアリ、無駄デアリマス、今後此ノ無駄ヲ防グト云フニハ、ヤハリ其ノ町村デ出來タモノハ、其ノ町村ノ米ヲ買ハネバ、ナラヌ人ニ配給ヲ致ス、農家ノ食糧トシテ先ツ按除致シ、其ノ次ニ其ノ村内ノ人ノ食糧ニ充テ、其ノ餘ノモノヲ其ノ村内カラ運ビ出スト云フヤウナ手順ニシテヤツテ行ツタナラバ、非常ニ節約ガ出來ルコトダラウト思ヒマスガ、此ノ努力ノ極メテ少イ時代ニサウ云フコトヲ今日尙ホ繰返シテ居ルト云フコトノ意味ガ私共ニハドウシテモ分ラヌノデアリマス、茲ニ於テ、町村内ニ於ケル所ノ食糧米、米ヲ買ハネバナラヌ人ニ配給スル所ノ食糧米、是等ハ本當ニ能ク實際ノ實情ニ通ジテ居ル其ノ町村内ノ農會デアルトカ、或ハ産業組合ト云フヤウナ團體ヲシテ之ヲ取扱ハシメルナラバ、是ガ最モ正確ニ、立派ニ配給ガ出來ルノデハナイカト云フヤウナコトヲ私共ハ痛切ニ感ズルノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付テドウ云フ御考ヘヲ御持チニナツテ居リマスカ

○湯河政府委員 食糧營團ノ出資ニ付キマシテ、産業組合ヲドウ認メルカト云フ御話ガ初メニゴザイマシタガ、此ノ點ハ昨日デゴザイマシタカ、御答ヘ致シマシタ、産業組合ノ配給機構モ、地方ノ農村ニ依リマシテハ之ヲ十分活用シテ行ク必要モアラウト思ツテ居リマス、唯問題ハ、分散配給ニ付キ

マシテハ、一應從來ノ商業機構ヲ利用スルコトガ從來建前ニナツテ居リマス、配給業者トノ間ニ無用ノ摩擦ガ起ルヤウナコトノナイヤウニ、十分注意シテヤツテ参リタイト考ヘテ居リマス

其ノ次ニ、配給ニ無駄ガアリハシナイカ、非常ニ遠方カラ米ヲ運シテ來ル、實ハ其ノ村ニ米ガアルニモ拘ラズ、遠クカラ米ヲ運シテ來ルト云フヤウナコトハ、是ハ商人ガ配給業者ガヤツテ居ルカラ斯ウ云フ馬鹿ナコトガアルノデ、ソレハ地元産業組合ナリ、農會ガ、其ノ地元ノ米ヲ配給スルヤウニシタナラバ、サウ云フヤウナコトガナクテ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、實質ハ全ク山田サンノ仰シヤル通りデアリマス、唯此ノ管理法ノ建前上、生産者、地主ノ販賣致シマスモノハ、一應政府ノ手ニ收マルノデアリマス、ソレカラ又特ニ現在ニ於キマシテハ、價格是正ノ方式ト致シマシテ、政府ガ買上ゲルコトガ生産者ノ爲ニモ必要デアリマスノデ、一應政府ノ手ニ收マルノデゴザイマスガ、併シソレヲ政府ガ拂下ゲマスル時ニ、何モ遠クニ持ツテ行カセルト云フ必要ハナイノデアリマスルカラ、是ハ若シマダ其ノ點ガ改善サレテ居ナイ所ガアルト致シマスレバ、今後十分地方ノ配給ニ付テ注意致サセルヤウニ致シタイト思ヒマス

○三善委員長 山田君、大臣ハ他ノ委員會ノ方ノ都合モアリマスノデ、大臣ニ對スル御質問ガアツタラ、ソレヲ先ニシテ戴キタイト思ヒマス、若シアリマセヌデシタラ、大臣ハ他ノ委員會ニ……

○山田(六)委員 タツタ一ツ大臣ニ御聽キシタイコトガアリマス、ソレハ斯ウ云フ問題アリマス、此ノ間、下ナタデシタカ、

此ノ委員會デ質問サレタガ、桑園ヲ減反シテ食糧ヲ作ラセルト云フ問題デアリマス、一方デハ桑園ヲ減反シテ食糧ヲ作ラセルト云フヤウナコトヲスルガ、一方デハ土地ノ荒レテ居ルヤウナ所モアル、是デハ無駄デハナイカ、ト云フヤウナ御質問ガアツタヤウデアリマス、昨日モ豫算委員會デサウ云フコトガアツタサウデ、今日ノ新聞デサウ云フコトヲ拜見シタノデアリマス、此ノ委員會會デノ大臣ノ御答辯ハ、桑園ヲ減シタノハサウ云フ意味デハナイ、「アメリカ」ニ生絲ガ賣レナクナツタカラ、ソレデ桑園ヲ減シテ、食糧ノ方ヘ轉作ラセシメタノデアアル、ト云フ簡單ノ御答辯ノヤウニ伺ツタノデアリマス、昨日ノ豫算委員會ニ於ケル所ノ御答辯モ、ヤハリサウ云フヤウナ意味デアツタヤウニ新聞デ拜見ヲ致シタノデアリマス、所ガ、今日マデ大臣ガ各所ニ於テ説カレタコトヲ見ルト云フト、サウ云フ意味デハナイ、今日食糧ト云フモノハ非常ナ重大問題デアリ、是ハ一日モ一刻ヲ忽セニ出來ナイ重大ナ問題デアアル、此ノ食糧事情ヲ解決スル上ニ於テハ、色々ナ作物ヲ犧牲ニ供シテモ已ムヲ得ナイ、「アメリカ」ニ生絲ガ賣レナイト云フコトニナリマシテモ、ソレガ爲ニ蠶絲業ガ無用ニナルト云フノデハナイ、是ハ國內ニ最モ必要ナ纖維デアアル、今日ノ纖維飢饉ハ此ノ増産ニ依ツテ救ハレル筈デアアル、デアルカラ、サウ云フ意味ニ於テ減シタノデハナイ、併シ、何シロ一方急迫シテ居ル重大ナル食糧問題ノ解決ノ爲ニハ、色々ノモノヲ犧牲ニ供スルノハ已ムヲ得ナイノデアリ、斯ウ云フヤウナ意味デ是マデ御話ガアツタコトヲ私共ハ御聽キシテ居ルノデアリマスガ、其ノ御話ト、先日此處デノ御話、

今日ノ新聞デ見タ所ノ、昨日ノ豫算委員會デノ御話ハ、大分其ノ趣ガ違ツテ居ルノデアリマスガ、ソレハ私共ノ間違ヒデアルカ、或ハ今日ノ新聞紙上ニアリマシタノガ眞デアリマスカ、其ノ點ニ付テハツキリシタ御答辯ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○井野國務大臣 桑園ヲ整理シマシテ、食糧増産ニ振向ケテ參ツテ居リマス現狀ニ對シマスル所ノ、桑園整理方針ハ、今山田委員ノ御述ベノ通り、此ノ際食糧増産ガ重大デアルカラ、暫ク桑園ヲ貸シテ貰ヒタイト云フ見地カラ桑園ヲ整理シテ居ルト云フコトハ、少シモ變リハアリマセヌ、是ハ私ガ何遍モ養蠶家ニモ申シ、又其ノ他ノ機會ニ於テモ申上ゲテ居ル通りデアリマス、今朝新聞等ニ一寸サウ云ツタヤウナ誤解ノアル記事モアリマシタガ、私ハソレハ斯ウ云フ意味デ申シタノデアリマス、昨日ノ御質問ナリ、其ノ他ノ御質問ハ、要スルニ衣料切符制度ニ關聯シテノ御質問デアツタノデアリマス、絹物ハ非常ニ贅澤ナモノデアアルケレドモ、ナゼソレヲ點數ヲ安クシテ、國民ニ消費ヲ助長スルヤウナ政策ヲ取ツタカ、斯ウ云フ御質問デアリマシタカラ、ソレハ今日「アメリカ」ニ生絲ガ賣レナクナツタ、デアルカラ國內ニ於テ此ノ需給ヲ考ヘナケレバナラス、而モ桑園ノ整理ヲ一面ニ於テヤツテ居ツテモ、現在ノ五十万俵ハ數量デハ、内地ニ於テ相當ニ、或ル程度使ハセルコトガ必要デアアル、而モ纖維ガ不足シテ居ル際デアルカラ、他ノ不足ヲ纖維ヨリ點數ヲ甘クシテ、成ベク國民ニ多く使ハセルト云フコトガ必要デアアルト云フコトヲ申シタノデアリマス、デアリマスカラ桑園整理ノ目的ガ「アメリカ」ニ生絲ガ賣レナクナツタカラ、

即チ將來ヲ非觀シテ桑園ヲ整理シタト云フコトハ、少シモ申シテ居リマセヌ、其ノ點誤解ノナイヤウニ御願ヒ申上ゲタイト思ヒマス

○三善委員長 アナタノ大臣ニ對スル質問ハ之デ宜シケレバ、土田君ガ昨日大臣ニ對スル質問ヲ保留シテ居リマスカラ、此ノ際土田君ニ許シマス——土田君

○土田委員 私ハ米糠ニ付テ一寸御伺ヒ致シタイト思ヒマス、食糧管理局ニ於キマシタハ、單ニ米糠ト云フモノハ米糠デアルト云フ御考ヘヲ持ツテ居ルガ、此ノ米糠ガ農村ニ於キマシテハ、貴重ナ米ガ米糠ノ代用ヲシテ居リマス、政府ハ幾多ノ「プラン」ヲ立テマスケレドモ、其ノ「プラン」通り行クト思ツテ居ルカモ知レマセヌガ、米ガ米糠ノ代用ニナルト云フ實情ニ於テハ、日本ノ食糧事情カラ考ヘテ見マシテモ、非常ニ是ハ寒心ニ堪ヘナイ次第デアリマス、此ノ米糠ヲ生産シタ農民ニ對シテ還スト云フ御考ヘハナイカドウカ、此ノ點ヲ先ヅ御伺ヒ致シマス

○井野國務大臣 米糠ガ農家ニ必要デアリマスコトハ私共モヨク承知シテ居リマス、隨テ米ノ買入等ニ付キマシテモ、昨年來其ノ點ニ付キ色々ノ機會等ニ於キマシテモ御議論ニナリマシタノデ、政府トシテモ出來ルダケ農村ニ米糠ヲ還ヘスヤウニ、或ハ白米ノ買入トカ其ノ他ノ方法ヲ講ジテ、糠ヲ落スコトモ考ヘテ居リマス、併シ食糧管理ト云フ大キナ目的カラ、多少御不自由ヲ願ハナケレバナラス場合モアリマス、是ハ數量モ的確ニ早イ時期ニ集メルト云フ必要カラ、或ハ玄米デナケレバ時期ヲ失スルト云フ場合ニハ已ムヲ得ズ玄米ヲ以テ充テル場

場

合モアリマス、ソレ等ハ地方ノ事情ヲヨク一ツ御相談ヲ願フテ、食糧管理局ニ於テ適當ナ處置ヲ執ツテ居リマスカラ、若シモ御不自由ナ點ガアリマシタラ、ヨク食糧管理局ノ方へ御話ヲ願フテ、善處致シタイト思ヒマス

○土田委員 肥料ノ問題カラ見マシテモ、磷酸肥料ガ少イ時ニ米糠ヲ代用ニシマシテ米ノ増産ヲ計畫シテ居ル、在來足リナイノデアリマス、食糧管理局ハ米糠ヲ單ナル米糠ト考ヘルカラ、言ツテモドウシテモ分ラヌノデアリマス、是ハ大臣ノ大キナ肚ヲ以テ米糠ト云フモノハ米デアアル、斯ウ云フ觀點カラ農村ニ還サヌト再ビ減産ヲ來ス、又片方カラ生産サレタ米ハ米糠ノ代用ヲシテ家畜ノ飼料ニナツテ居ルト云フ實情ニアルノデアリマス、更ニモウ一點御伺ヒシタイノハ、自給肥料ノ増産ト云フコトヲ政府ガ申サレテ居ルガ、此ノ給源地帯ガ現狀ノヤウデハ増産ハ不可能デアリマス、仍テ此山林局ヲシテ山林ノ立地計畫ヲ立テマシテ、食糧増産ニ林野ガ協力スルト云フ方策ヲ御立テニナル御意思ハナイカ、ドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○井野國務大臣 其ノ點ハ農林省トシマシテモ、山林食糧各般ヲ綜合シテノ行政ヲ致サナケレバナラヌト思ヒマス、隨テ食糧増産ノ必要ナ時ニ、或ル程度山林當局ノ方ニ盡力サセテ、食糧増産ノ爲ノ自給肥料ノ供給ト云フコトニ出來ルダケ努メサセル方針デアリマス

○三善委員長 山田君 ○山田(六)委員 今二三食糧品ノ増産ト云フ問題ニ付テ御伺ヒ致シマス、ドウシテモ食糧品ハ増産シナケレバナラヌコトハ勿論

デアリマスガ、此ノ食糧ノ増産ヲ妨グル幾多ノ原因ヲ除去シナケレバナラヌト思ヒマス、第一ニ今度ノ法案ニ依リマス、農家ノ穫リマシタ食糧ヲ、農家ニ必要ナモノヲ控除シテ其ノ餘リヲ政府ニ賣渡スベシ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、其ノ控除スル米ノ限度ハ、全國テ實行サレテ居ル所ノ一日四合ト云フノガ最高デアツテ、年齢、男女ノ別ニ依ツテ順次低減スルノデアアルガ、斯様ニキチント、定メラレタ額ノ控除ヲ認メルコトニナルダラウト思ヒマスガ、果シテサウダトスレバ、是ハ大ナル問題デアルト思フノデアリマス、大體勞働者ノ食糧ガ一日四合ヲ最高限度ト決メラレルトコトニナツタナラバ、是非常ナ食糧缺乏デアリマスカラ、到底堪ヘ得ラレナイコトハ皆御承知ノ通りデアリマス、農林省モ知ツテ居ル、今日農家ハ一日六合、七合ナケレバ、逆モ其ノ勞働ニ堪ヘラレナイ、其ノ足りナイ四合デ我慢シロト云フコトヲ註文スルノハ難キヲ強ユルモノデアアル、若シドコモデモ之ヲ我慢シロト云フナラバ、食糧増産ニ非常ナ影響ヲ與ヘル、是デハ働ケナイ、山林局ナドデモ能ク分ツテ居リマセウガ、午後三時半ニナルト、山ノ者ハ仕事ヲ止メテ歸ツテシマフ、腹ガ減ツテ仕事ガ出來ナイ、仕事ノ繼續ガ出來ナイヤウナ數量ノ食糧ニ之ヲ限定スルト云フコトハ百害アツテ一利ナシト考ヘマス、ソコデ已ムヲ得ズ農家ハ四合ト稱ヘテ六合、七合、一升ノ米ヲ控除シテ政府ニ賣渡サザルヲ得ナイ羽目ニ陥ル、若シ決メタ數量デ間ニ合ハセロト云フコトニナレバ、生産ヲ減ラス、或ハ反別ヲ減ラス、勞働時間ヲ減ラス、色々ナ方法ニ依ツテヤル、サモナケレバ、米ノ供出ヲ虚偽ノ申立

ヲスルト云フコトニナルノデアリマス、農民ハ虚偽ノ申立ヲシテ其ノ米ヲ出シテ、置クト政府ニ取ラレテシマフカラ何處カハ隱サウト云フノデ、米ヲ隱匿シヨウト云フ觀念ノ下ニ控除スルト云フコトハ甚ダ面白クナイト思フ、是ハ獨リ農家バカリトハ私共思ツテ居ラス、鑛山デ働イテ居ル者、或ハ山林ニ行ツテ働イテ居ル者——東京市中ナドニ於テ働イテ居ル者ノ中ニハ、配給ノ現在決メラレタ數量ノ米デ剩ル者モアリマセウガ、現實ニ足ラナイト云フコトガハツキリシテ居ルノハ此ノ鑛山勞働者、山林勞働者、農業勞働者デアアル、デアリマスカラ、私共近來實際ニ見テ非常ニ感ジテ居ルコトハ、東京市内ニ於テモ其ノ通りデアリマシテ、下層ノ人ハドウ云フコトヲスルカト云フト、驚クベキモノデ、夜何十人ト云フ人が近カラ色々ノ食糧ヲ買ツテ背負ヒ込シテ來ルノヲ目撃スル、是等ノ人ハ米ノ代リニ色々ナ蔬菜其ノ他ヲ買込シテ來テ兎ニ角生命ヲ繋イデ居ルト云フ狀態デアアル、又中流以上ノ人ハ、最近ノ評判ニ依ルト、現在米ガ三十圓、薩摩芋ガ六圓、是ガ閣取引ノ公定相場ニナツテ居ルラシイガ、サウ云フ高價ナモノヲ買ツテ其ノ日ノ送ツテ居ルト云フ實情デアアル、デアリマスカラ本當ニ其ノ人々ノ實情ニ應ジタ配給ガ行ハレレバ非常ニ宜シイノデアリマスガ、一方ニハ食糧ガ足りナクテ色々ナ方策ニ依ツテ其ノ日ノ送ツテ居ル者ガアリ、一方デハ金サヘ出セバ閣デ食糧ガ手ニ入ルト云フヤウナ結果ヲ招來スル政策ハ甚ダ面白クナイト思ツテ居リマス、是ハ増産上非常ニ影響ノアル問題デアリマスカラ、先ヅ他ノ問題ハ第二トシマシテモ、農家ニ使フ所ノ米ノ量ハ是非

トモ此ノ際ニ訂正シテ載キタイト云フコトヲ希望シテ置キマスガ、此ノ點ニ付テノ御意見ヲ御聽キシタイト思ヒマス

○三浦(一)政府委員 山田君ノ御意見ヲ段々拜承致シマシタノデスガ、戦時下ノ食糧ノ非常ニ難カシイト云フコト、同時ニ又第一ニハ増産ヲヤリ、第二ニハ消費規正ヲ徹底シ、第三ニハ更ニ之ニモ足リスズニ外米等モ入レナケレバナラナイ、斯ウ云フ狀況ニアルコトハ能ク御承知ノ通りデアリマス、ソコデ御言葉ヲ返サユデ恐縮デアリマスケレドモ、消費節約ハ百害アツテ一利ナシト云フコトハ到底言ハレヌコトデアリマシテ、ドウシテモ是ハ或ル程度ノ消費節約ヲ致シマシテ、戦時下ノ食糧問題ヲ切抜ケテ參ラナケレバナラヌデアラウト思フノデアリマス

〔委員長退席、岩瀬委員長代理着席〕 隨テ其ノ根本ニハ異議ガナイガ、問題ハ農民等ニ配分シマス量ガ不合理デヤナイカ、斯ウ云フ御意見グラウト思フノデス、勿論各般ノ事情ヲ考慮シマシテ生産者デアリマス農民、又同時ニ勞働ヲヤツテ居リマスカラ、其ノ方面ノ事情モ見テ、最高ノ配當ヲスルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ間ノ事情ハ篤ト御諒承願ハナケレバナラヌト思ヒマス、ヤハリ斯ウ云フヤウナ非常ニ重大ニナツテ參リマシタ所ノ食糧問題ノ切抜ケト云フコトハ容易ナラヌコトデアリマスカラ、兎ニ角ニ此ノ線ニ依ツテ取縮ルコトガ然ルベキコトダラウト思フノデアリマス、尙ホ鑛山等ニ付キマシテモ、勿論米バカリノ問題デハ片付キマセヌノデ、其ノ他ノ食糧、物資等ノ配給ニ付キマシテモ、其ノ特定ノ地方ニ付キマシテハ重

トモ此ノ際ニ訂正シテ載キタイト云フコトヲ希望シテ置キマスガ、此ノ點ニ付テノ御意見ヲ御聽キシタイト思ヒマス

點的ニ各般ノ措置ヲ執ツテ居ル譯デアリマス、國民ハ此ノ際ヤハリ生産ト云ハズ消費ト云ハズ、消費規正ニ徹底シテ協力スルト云フコトニ御願ヒシマセスト、昭和十四年ノ秋カラ激變シマシタ戰時下食糧問題ノ解決ニ容易ナラヌコトニナルト思ヒマス、其ノ點ハ篤ト御諒承願ヒタイト思ヒマス

○湯河政府委員 只今山田委員ノ仰セニナツタコトニ付キマシテ、實ハ少シ管理局ノ方カラ實情ヲ補足的ニ御説明申上ゲタイト存ジマス、農家ノ保有米ノ數量ノ決定ガ當ヲ得テ居ナイ、其ノ結果農家ハ非常ニ苦シイ思ヒヲスルカ、或ハ偽リノ申告ヲシナケレバナラナイ、斯ウ云フコトハ農家ノ實情上洵ニ宜シクナイデハナイカ、殊ニソレガ他ノ方ニモ聯關ノアル消費米ノ數量ノ問題ト云フ御話デゴザイマスガ、先ヅ此ノ農家ノ問題ニ付キマシテハ、一昨年自家用保有米制度ヲ決メマスル際ニ、各地方當局ト十分ナ御審議ヲ遂ゲマシテ、此ノ運用ニ付キマシテモ篤ト注意ヲシテ貫ツテヤツテ居ルノデアリマス、農家ガ完全ナル米トシテ保留スルモノハ是ダケト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、當時ノ石黒農林大臣カラモ縷々御説明ガアツタカト承知致シテ居リマスガ、屑米或ハ小米其ノ他ノモノハ是ハ農家ノ食糧トシテアルノデアリマス、農家ガ本當ノ完全ナル米トシテ六合、七合、一升モ食ベルト云フコトデナクテ宜イデヤナイカ、農家ノ手許ニハ外ニソレレノ食糧ガアル筈ダカラ、ドウカソレヲ食ベテ、此ノ消費量ヲ満足シテ欲シイ、吾々モ決シテ是デ十分ダト申スノデアリマセヌガ、併シ外ニ食糧ノアル農家ニ此ノ位ノコトヲ我慢シテ貰フノハ宜イデヤナイカト云フ積

リデゴザイマス、ソレデ實ハ此ノ經驗ヲ昨年ノ秋更ニ繰返サレタノデアリマス、何ト申シマシテモ御推察ノ付キマスヤウナ非常ニ食糧事情ノ難カシイ際デゴザイマシタノデ、吾々ト致シマシテハ、農村ニ對シマシテ自家用保有米制度ニ付テ色々苦慮致シマシタガ、ヤハリ同一ノ方針ヲ持スル、唯農家デモ小サナ子供達ノ食糧ガ計算上當ヲ得テ居ナイダラウ、是ハ都會地デハ既ニ直シタ所ガアリマス、殊ニ十一歳カラ十五歳マデト思ヒマシタガ、是等ノ人ハモウ大人並ノ食糧ヲ充テガフベキデヤナイカト云フコトハ考ヘマシタケレドモ、最高四合三勺ニ達シマスルアノ基準ハ、ドウカ昨年、一昨年ヨリモ更ニ今年ハ苦シイ年柄ダカラ辛抱シテ呉レト云フノデ、實ハサウ云フ風ニ地方廳カラ指導シテ貫ツテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ吾々ハ色々ノ機會ニ地方ノ農民ノ人達ニモ御願ミシテ居ルノデアリマスガ、ドウカ屑米ダトカ、小米ダトカ、或ハ雜穀ダトカ、色々手許ニアルダラウカラ、ソレヲ出來ルダケ食ベテ、サウシテ自家用保有米ノ中カラデモ供出ヲシテ戴クノダト云フコトヲ御願ミシテ居ルノデアリマス、是ハ今次官カラモ御説明ノゴザイマシタヤウナ年柄デモゴザイマシスルノデ、此ノ點ハ一ツ御諒解ヲ戴キタイノデゴザイマス、同時ニ其ノ他ノ人達ニ對スル消費割當量ガ當ヲ得テナイノデアリナイカ、而モ東京市内ニ於テハ米ノ闇ガアル、隨テ東京市内ニ於テハフンダンニ食ベラレト云フヤウナ御指摘モゴザイマシタケレドモ、其ノ他ノ産業ニ從事シテ居ラレル人達ノコトニ付キマシテハ、出來ルダケノ考慮ヲ拂ツテ居ル積リデゴザイマス、一々ノコトハ

申上ゲルノヲ差控ヘタイノデアリマスガ、絕對必要ナル方面ニ對シマシテハ、特ニ地方長官ニ内密ニ指示致シマシテ、適當ナル考慮ヲサセテ居リマス、ソレカラ東京市内等ノ消費地ニ於ケル例ヲ御指摘ゴザイマシタガ、米ノ闇ト云フモノハ、是ハ凡ソ今ノ物資ノ取引ノ中デ一番闇ガナイ、若シモ御指摘ノヤウナコトガ特殊ノ不心得ナ金持等ニ於テ行ハレタトシテモ、是ハ經濟的ニハ私ハ何等差支ヘナイ——差支ヘナイト言ハナイ、寧ロ道義的ニ非常ニ責ムベキコトト思ツテ居リマス、無論責メナケレバナラヌト思ツテ居リマスガ、經濟的ニ申シマシタナラバ、米ノ價格ト云フモノハ、大體公正ナル價格ガ維持サレテ居ルト思ヒマス、ソレカラ消費量ニ付キマシテハ、通帳制ノ配給ニ依リマシテ、大體安定ヲ致シテ居リマスガ、併シ御承知ノ通り業務用ノ米、是ノ引締ガマダ緩イデハナイカ、外食券ガ汎濫シテ居ルデハナイカト云フ風ナ點モゴザイマスノデ、實ハ本年カラハ特ニ東京其ノ他大消費地ニ於キマス飯屋等ノ業務用ノ米ト云フモノノ配給ヲ減ラシテ居ルノデアリマス、是ハ一ニ減ラシマシテ、他ノ家庭其ノ他重要産業方面ノ業務者等ノ絕對必要ナル所ニ用ヒル爲ニ減ラシタノデアリマス、是等ノ點モ御説明申上ゲマシテ、御諒解ヲ得タイト思フノデアリマス

○山田(六)委員 割當數量ノ問題デ今一應御聽キシマスガ、私ハ此ノ割當ヲ決メル方針ガ何處ニアルカト云フコトヲ非常ニ疑フ者デアリマス、米ヲ主トシテ食ベサセルト云フ方針ハ相成ラス、是ハ節約ノ出來ル限り節約スル、或ハ代用食或ハ混食、如何ナル方法ニ依ツ

テモ節約スルト云フコトデナクテハナラヌト思フ、食ベナクテハナラヌ、ソレダケ食ベナケレバ勞働ニ堪ヘナイト云フノデモ、サウ食ツチャイカヌ、是ダケデ間ニ合ハセテ置ケト云フコトハ是ハ無理ナ註文デ、病人ニデモ對シテナラソレデモ宜シイカモ知レマセヌガ、働イテ居ル者ニ對シテサウ云フ方針ハ、ドウシテモ私共理解出來ナイノデアリマス、或ル程度必要ナ量ハ食ベサセテ、サウシテ十二分ニ働カセルト云フノデナケレバ、決シテ能率ハ上ラス、斯ウ云フ風ニ私ハ確信シテ居ルノデアリマス、ソレカラ農村ニ於テハ内々屑米ヲ取ツテアルカラドウニカ間ニ合ハセテ居ル、是ハ食ハズニ居ラレナイカラ皆間ニ合セテ居リマスガ、其ノ間ニハ堂々ト話シ得ナイヤウナコトモ行ハレテ居ルコトモアリ、又昨年ノ如キ例ニ依リマシテモ、秋ニナリマシテ愈々米ガ餘リサウダトナルト一軒ノ家デ一俵ツツナリ二俵ツツナリ其ノ人ノ餘ツテ居ル——家庭ノ構成員ノ事情ニ依ツテ違ヒマスガ、兎モ角餘ツタ米ハ快ク皆供出ヲシテ居ルト云フヤウチ農家ハ實ニソコニ良イ氣持ガアルト云フ風ニ私共ハ思ツテ居ル、斯ウ云フ農家ニ對シテ必要ナル米ヲ與ヘナイト云フヤウナコトハドウモ面白クナイノデアリマス、是ハドナタガ考ヘテモ當リ前デアリマス、米ハ二合五勺デモ二合デモ間ニ合ハセヤウト思ヘバ間ニ合フト思フ、其ノ代リ麥ヲ食ベロ芋ヲ食ベロト云フコトニナレバソレハ間ニ合フソレヲ以テ米ノ不足ヲ補フコトガ出來ルノデアリマス、是マデ農家ハマア今年ハ米ガ穫レナイカラ麥、大根、芋ヲ食ベヨウト言ツテ主食物ノ不足ヲ補ツテ參ツタノデアリマスガ、今日ニナツテ來ルト色々ノモノ

ガ悉ク管理サレテシマツテ、米ガ足りナイイカヲト云ツテ麥ヤ芋食ベルコトモ出來ナイ、何ヲ以テ此ノ不足ヲ補フカト云フト殆下蔬菜デモ當テガナイト云フヤウナコトニナツテ來ル、是ハ全ク農家トシテハ實際上行ヒニクイコトデ、マダ草根木皮ト云フマデニハ行ツテ居ナイノデアリマスカラ、ソコマデ行ケバ働ケナイデ國民全體ガ命ヲ繋グコトニ苦勞ヲスルト云フヤウナ状態ニ導カレルト思フノデアリマス、デアリマスカラ今一ツハ、自分デ田畑ヲ耕ヤシテ百姓ヲヤツテ居ル家ハマダ宜イノデアリマスカ、農業勞働デ其ノ日ヲ送ツテ居ル者ガ相當アル、私共ノ方デ言ヒマスレバ百姓手間取ノ、農業專門ノ勞働者ガ相當アル、是等ハ自分デ耕作スル土地ヲ持タナイデ轉々トシテ自分ノ勞力ヲ賣ツテ生活ヲシテ居ル者デ、是等ハドウスルコトモ出來ナイ、ドウスルコトモ出來マセヌカラドウ云フ結果ニナツテ來ルカト云フト、勞働時間ノ短縮ト云フトトニナツテ來ル、今日農家位長イ時間働ク者ハナイノデアリマスケレドモ、近來ノ農業勞働者ト云フ者ノ働ク時間ハ非常ニ短イ、三時半カ四時ニナルト皆仕事ヲ終ツテシマフト云フノガ一般ノヤウニナツテ來タ、是等ハ米ノ配給ノ少イト云フコトガ最大ノ原因ヲ成シテ居ル、仕方ガナイノデ隣附近カラ出來得ル限リハ融通ヲ受ケタリ特色ナコトヲシテヤツテ居リマスケレドモ、非常ニ行詰ツテ居ル、デアリマスカラ米ノ不足ヲ補フ方法ガナイト云フ今日、ニ於テ、ドウシテモ足りナイ程度デ米ヲ間ニ合セロト云フヤウナコトハ極メテ無理ナ處置デアルト斯ウ云フ風ニ私共ハ思フノデアリマス、デアリマスカラサウ云フヤウナ點ノ爲ニ

一般農家ニ種々ナル不平不滿ヲ起シマスカトハ此ノ時世ニ洵ニ面白クナイコトデア、必要ナモノハ與ヘル、而モソレハ與ヘルニアラズシテ自己ノ收穫物デアアル所ノ米ヲ消費スルコトヲ承認スルト云フニ過ギナイノデアリマス、其ノ位ノコトヲ農民ニ對シテヤラヌト云フヤウナコトハ非常ニ結果ガ面白クナイ、斯ウ云フ風ニ私共ハ信ズルノデアリマスカ、其ノ點ニ付テ今一應御意見ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○湯河政府委員 只今ノ山田委員ノ仰セハ生産者ノ心持ヲ端的ニ御披露ニナラレタコトダト思ヒマスノデ、十分拜聽致シテ置キマス、實ニ生産シテ居ル人達ノ心持ト云フモノハサウ云フモノダラウト思フ

〔岩瀨委員長代理退席、委員長着席〕併シ何分ニモ全體ノ食糧事情ノ非常ニ今窺屈ニナツテ居ル際デゴザイマスノデ、此ノ點ハ一ツ能ク地方ノ生産者ノ人達ニモ理解シテ貰ヒタイ點ナノデアリマス、私達モ何モ好シデ斯ウ云フ無理ナ割當量等ヲ決メル譯デハナイノデアリマス、何ト申シマシテモ全體ノ計畫ヲ致シテ見マス、斯ウ云フ基準ニ依リマシテ食糧ノ計畫ヲ立テマセヌコトニハ、全體ノ計畫ガ破綻致シマス、吾ノ見ル所ニ依ツテ餘裕ガ若シアルト云フ事實ガゴザイマスレバ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、業務用等ノモノハ減シテ宜イノダト云フ確信ヲ持ツテ、減シタモノヲ以テ實ハ必要ナ方面ニ廻シテ行キタイト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、今後ト雖モ吾々ノ計畫ガ適當デナイト云フコトガゴザイマスレバ、吾々ハ決シテ固執ハシテ行カナイ積リデ、十分改善シテ參ル積リデアリマスカ、此ノ一兩年ノ實績、又吾々ノ研究

致シマシタ所デハ、大體此ノ程度デ進ム、多少ノ無理ガアツテモ一ツ忍ビ戴ク、忍ビ戴クト致シマシテモ、只今御指摘ガアリマシタヤウナ、ヤリ方ガ無理デヤナイカ、米以外ノ食糧デモ段々窮屈ニシテ行ツテ、先ハドウナルノカト云フ御懸念モゴザイマス、其ノ點ニ付キマシテハ、此ノ管理法ノ建前ト致シマシテモ、米麥ハ食糧管理ヲ致シマスカ、其ノ他ノ補正食糧ニ付キマシテハ、政府ノ直接ノ買入、賣渡ハ必要ニ應ジタ時ニヤルノデゴザイマスカ、大體地方ノ配給程度等ヲ實シマシテ、サウシテ必要ナル所ニ少シデモ好ク廻ルヤウニシタイト云フ積リデゴザイマスカラ、運用上ニ於キマシテハ十分氣ヲ付ケテ行キタイト考ヘマス、特ニ此ノ際申上ゲテ置キタイコトハ、麥ノ問題デゴザイマス、麥ニ付キマシテハ、米ト一緒ニ主要食糧トシテ吾々考ヘテ居リマス、特ニ増産計畫ニ於キマシテモ、米麥増産計畫トシテ非常ニ重點ヲ置イテ計畫シテ居リマス、是ガ政府ノ管理ニ付キマシテハ、御承知ノ通りニ現在ノ麥類配給統制規則ノ建前トシテモ農家ガ自家用トシテ消費スルモノハ、是ハ政府トシテハ直グニ米ノヤウニ一定量ヲ決メマシテ、ソレ以外ノモノハ全部出セト云フヤウナ指導ハ致シテ居ナイノデアリマス、此ノ點ハ管理ノ運用上カラ申シマシタラ、ダラシガナイデヤナイカト云フ一方ニ御議論モオアリカト存ジマスカ、併シ農家ノ實情ト云フモノヲ色々御聽キ致シテ見マス、ソレハ寧ろ無理デヤナイカ、麥ノ消費ト云フモノハ、玄米ノ消費ノヤウニ、食ベルダケノモノデヤナイ、色々複雑ナ用途ガアルノデアリマスカラソコヲ考ヘテ、先ヅ賣ルモノヲ政府ガ管理スル、農家ガ賣

ルト云フナラバ、ソレハ兎ニ角政府ニ賣ツテ貰フト云フヤウナ法式ヲ案ジテ居リマスノモ、只今山田委員御指摘ノヤウナ點ヲ特色案ジテ居リマス結果ナノデアリマス、尙ホ御指摘ノ點ハ、農家ノ本當ノ僞ラザル眞情ダラウト思ヒマスノデ、十分參考ニ致シテ行キタイト思ヒマス

○三善委員長 山田君マダアリマスカ、非常ニ長クナツテ居ルノデアリマスカラ、成ベク一ツ纏メテ……

○山田(六)委員 簡單ニヤリマス、只今、麥ハ農家デ自分ノ食糧トスルモノハ自由ニセシメルト云フ御話ヲ聽イテ、私ハ大變安心致シマシタ、是非サウシテ戴カナケレバナラスト思フノデアリマス、是デ農家ノ米ニ對スル苦情ハ少クナラウト思ツテ居リマスカ、唯私ハ斯ウ思ヒマス、厚生省アタリデハ、國民ノ體位向上デアルトカ、保健專業デアルトカ云ツテ、非常ニ力ヲ入レテ居リマスカ、農林省デハ、食糧ノ配給其ノ當ヲ得ナイ爲ニ、片方デハ非常ニ虚弱ナ者ヲ作り、片方デハ體位向上ニ非常ニ骨折ツテ居ルト云フヤウナトシチンカンナコトガ行ハレテ居ルノデハナイカト云フ風ニモ思ハレマスカラ、此ノ點ニ付テ、サウ云フコトヲ今ノ政府デ長ク續ケテヤツタ結果ハドウナルカト云フコトヲ私共非常ニ心配スルノデアリマス

次ニ生産擴充方面ニ付テ伺ヒタイノハ、肥料ノ生産配給問題ト、資材ノ配給問題デアリマス、此ノ肥料ハ農林當局ガ非常ニ御努力ニナリマシテモ、現在以上多ク肥料ガ出來ヤウハナイ、是ハ最大努力ノ結果デアルト云フ御話デゴザイマスカ、是ハ已ムヲ得ナイト思ヒマス、ソコデ肥料ニ付キマシテ

次ニ生産擴充方面ニ付テ伺ヒタイノハ、肥料ノ生産配給問題ト、資材ノ配給問題デアリマス、此ノ肥料ハ農林當局ガ非常ニ御努力ニナリマシテモ、現在以上多ク肥料ガ出來ヤウハナイ、是ハ最大努力ノ結果デアルト云フ御話デゴザイマスカ、是ハ已ムヲ得ナイト思ヒマス、ソコデ肥料ニ付キマシテ

ノ配給機構ニ付テモ一ツ御聽キシタイノデアリマスガ、是ハ全國大抵サウナツテ居ルカト思フテ居リマスガ、私共ノ縣デ昨年一昨年アタリノ情勢カラ見マスルト、努力ノ少イ時代ニ肥料ノ配給ノ爲ニ無駄ニスル時間ガ非常ニ多カッタノデス、ドウ云フ譯カト云フト、度々分割シテ肥料ヲ配合スルト云フコトガ一ツデアリマス、ソレヲ商業組合ニ行ツテ半分受取ツテ來テ、産業組合ニ行ツテ半分受取ツテ來ルト云フコトヲ始終繰返シテ居ル、デアリマスカラ肥料ヲ受取ル爲ニドシナコトヲシテモ二十人位ノ人夫ガ無駄ニナツテシマフト云フヤウナコトガ是マデ繰返サレテ居ツタノデアリマス、到底ソレニ堪ヘナイト云フノデ、商業組合デ配給シタモノヲ産業組合ノ方ニ引受ケテ、手數料ヲ全部商業組合ノ方ニ交付シテ、産業組合デハ無手數料デヤツテ行ク、其ノ産業組合ト農會等デ聯合シテサウシテ兎ニ角今日ノ肥料ノ配給ヲヤツテ居ルノデアリマスルガ、サウ云フ風ニ今度ハ配給スル機關ガ一本ニナツテ來タカラ其ノ點ハ非常ニ良クナツタノデアリマスガ、回數ヲ多ク分ケテ配給サレル爲ニ受ケル時間ノ浪費ト經費ガ多ク掛ルト云フ状態ニナツテ居リマスガ、之ヲ成ベク配給スル爲ノ時間ヲ少クスル回數ヲ少クシテ多ク配給スルト云フコトガ實行サレタラバ無駄ガ少クナルノデハナイカト思フノデアリマス、ト同時ニ現在ノヤウニ産業組合一手デ農會ガソレニ參加シテ肥料ノ配給ヲヤツテ居ルノデアリマスルカラ、是等ノ配給手數料ト云フモノヲ、商業組合ガ唯盲口錢ヲ取ツテ居ル盲口錢ヲ拂ツテ居ルト云フコトハ餘リニ理窟ニ合ハナイノデアリマスルガ、過去ノ實績ニ依ツ

テ斯クスルヨリ仕方ガナイト云フノデ現在ヤツテ居ルノデスガ、過去ノ實績ニ因ハレテ何時マデモ盲口錢ヲ拂ツテ居ルト云フ制度ヲ維持シナクテハナラヌト云フコトニナレバ新體制ト云フモノハ作り得ナイコトニナル、何レモ元ハ斯ウデアツタ、元ハ斯ウデアツタト云フコトデヤツテ行カナケレバナラヌト云フコトニナレバ新體制ト云フモノハ作り得ナイト云フ結論ニナルノデハナイカト思フノデアリマスルガ、是ハドウシテモ産業組合ノ手ニ依ツテ配給スル、而シテ是等ノ配給ノ手數料等ニ於テハヤハリ商業組合ノ方ハ遠慮シテ、サウシテ實際其ノ品物ヲ取扱ツテ居ル者ガ適當ナル手數料ヲ配給スルト云フコトガ最モ其ノ當ヲ得タコトデハナイカト思ハレマス、是ハ農林省ノ指導方針ニ依ツテ實行出來ルコトデアルカラ、一日モ早クサウ云フ風ニ實行スベキデハナイカト考ヘラレルノデアリマスガ、其ノ點ヲ御聽キシタイコトガ一ツ、ソレカラ農業用資材ノ配給問題デアリマスルガ、是ハ實ニ困ツタコトデ、何時デモ國策會社ヲ攻撃スルヤウニナリマスガ、國策會社ト云フモノハ全農民ノ怨府ノ的ニナツテ居ル、殆ド戰慄シテ居ルト云フヤウナ状態ニアルコトハ洵ニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマスガ、此ノ農具ノ配給ニ付キマシテモ今日ノ所非常ニ農家デ困ツテ居ルノハ、使ヘナイ、要ラナイ農具ガ相當多ク配給サレテ、必要ナル農具ノ配給ガ受ケニクイト云フコトナノデアリマス、現在無駄ナ使ヘナイ其ノ地方ノ農業ノ實情ニ適ハナイ農具ト云フモノガ大變ナ量ニナツテ居ル、我ガ福島縣バカリデモ三十万乃至四十万圓ノ金高ニナツテ居ルデアリマセウサウ云フ農具ノ配給

ヲ受ケマシテモ何トシテモ使フコトガ出來ナイ、中ニハ不完全デ使フコトガ出來ナイモノモアル、中ニハ地方ノ是マデノ仕事ニ不適當デ使ヘスモノモアル、是ハ私共ノ縣ノミニ實情ダト思ヒマシテ段々聽ケバ全國ニサウ云フ農具ガ配給サレテ居ルヤウデア、是ハ國策會社デ配給サレタ農具ニ相違ナイ、此ノ生産カラ云フト、少クトモ全國デ一千万圓カラノ農具ガ眠ツテ居ル、倉庫ニ入ツテ遊ンデ居ル、是ハ實ニ困ツタ問題ナノデアリマス、是モ所謂國策會社ナルモノハ物ヲ買フニモ其ノ生産ノ末端マデ世話ヲシ供給スルト云フコトヲセズニ、遠クニ居テ配給シテ、其ノ配給シタ品物ガドンナ風ニ使用サレテ居ルカチツトモ構ハズニヤツテ居ルト云フコトガ斯ウ云フ結果ヲ來タシタノデアリカト云フヤウニ思フノデアリマスルガ、是ハ實ニ困ツタ現象デアリマス、デアリマスルカラ、農機具配給ニ付キマシテハ、其ノ地方々々ノ實情ニ適シタ必要ナル機具ヲ配給ヲ致シマシテ、無用ナ物ヲ押付ケテ配給スルト云フコトヲ止メテ戴キタイト思フノデアリマス、此ノ農具ノ處分ニ付テハ今後ドウ云フ風ニナリマスルカ、今後ノ大問題デアリマスカラ、會社ニ引受ケテ貰フナリ、或ハ潰シテ船舶ヲ造ル方ニ向ケナケレバナリマセスガ、其ノ損失ニ堪エナイコトニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フ何等カノ方法ニ依ツテ片付ケナケレバナラヌ問題デアルト思フノデアリマスルガ、現在ドウ云フコトニナツテ居ルカ、其ノ肥料配給及ビ資材配給等ニ付テノ御所見ヲ御聽キシタイ

即チ適地ニ適量ノ肥料ヲ配給スルヤウニ御要望デアルト思ヒマス、是ハ農林省モ其ノ趣旨ニ副ウテ努メテ居ル譯デアリマスルケレドモ、中々地方ノ要望ニ副ハナイ點ガアラウカト思フノデアリマス、現在困難ナ事情デアリマスルガ、是ハ勿論生産地ガ化學肥料ニ致シマシテモ相當ニ分散シテ居リマシテ、ソレヲ統制配給スルト云フコトニ付テノ地理的困難ガアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、第二點ハ昨今ノ交通運輸ノ逼迫カラ相當運送ノ制約ガアル譯デアリマス、是ハ實ハ今非常ニ鐵道當局ノ御協力ニ依リマシテ、最大ノ力ヲ注イデ居ル譯デアリマスケレドモ、既ニ御承知ノヤウナ事情ナモノデアリマスカラ、從前ニ比シマシテ相當適宜ノ配給ニ付キマシテ圓滑ニ行カヌト云フ點モアルカト思フノデアリマス、是等ハ何レモ戰時下ニ於キマスル經濟事情ノ變遷ニ伴ツテノ謂ハバ弱點トモ申スベキ點デアラウト思ヒマシテ、非常ニ遺憾トスル點デアリマス、併シナガラ適地ニ適量ノ肥料ヲ配給スルコトハ固ヨリ大事デアリマス、努メテ農村方面ノ要望ニ副ヒタイト思ヒマスカラ十分盡力スル積リデアリマス

第二ニハ配給機構ノ整備ノ點デアリマスルガ、只今山田サンノ御郷里ノ方ノ事例ヲモ引用サレテ色々御話ガアリマシタガ、私ハ決シテ肥料配給ニ付テ機構ヲ整備シナイ、斯ウ云フ譯デアリマセスケレドモ、何シロ從來ノ配給業者トノ關係モアリ、一舉ニヤルト云フ譯ニ行キマセヌノデ、逐次改善シテ參ツタノデアリマス、丁度御示シノヤウナ形態ヲ以テ機構ニ付キマシテハ相當改善ヲシテ居ルト思フノデアリマス、其ノ際ニ於キマシテ業者ノ所謂轉廢業等ニ付キマシテ

ハ、今後更生金庫デアリマス。先般ノ臨時議會、又今度ノ議會デモ通ツテ居リマス。中、小業ノ轉廢業ノ資金ヲ動員スルト云フコトデ調整ノ途ガアラウカト思ヒマス。尙ホ全國的ニ肥料配給ノ機構整備ニ付キマシテハ一段ノ努力ヲ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス。

次ニ農機具ノ問題デアリマス。是ハ御承知ノ通り農機具ノ配給統制規則ヲ作りマシテ段々施策ヲ致シテ居ルノデアリマス。是ハ御承知ノ通り一番大事ナ鐵材デアルトカ、或ハ非鐵金屬類デアルトカ云フモノハ軍需物資トシテ非常ニ必要デアリマス、ノミナラズ生産力擴充關係デ特ニ重點主義ニ使ハナケレバナラヌト云フ關係上、非常ニ逼迫ヲ重ネテ參ツタ、ソコデ何等カノ統制ヲシマセヌト到底圓滑ニ行カヌト云フ觀點カラ、事情已ムヲ得ズ、サウ云フヤウナコトニヤツテ參ツタノデアリマス。此ノ中間機關トシテ御説ノ通り農機具配給株式會社ト云フノガ設立サレマシテ、之ニ依ツテ農機具ノ配給ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、唯實際「メーカー」トシテハ非常ニ澤山ノ小企業ニ分レテ居リマス。是等ノ企業ノ整理統合デアルトカ、更ニ又農機具ノ銘柄ノ整理統一ト云フヤウナコトニ付キマシテモ相當ノ苦心ガ要ル譯デアリマス。從來農機具ノ改善ニ付キマシテハ御承知ノ通り農事試驗場ニ於キマシテモ此ノ研究機關ヲ持チ相當指導シテ參ツタノデアリマス、併シナガラ今日ニナリマス。非常ニ優秀ナ農機具デアリマシテモ、所要ノ物資ガ調和シテ入手出來ナイト云フ點モアリマセウ、又要望ニ副ハナイト云フ點モアリマセウ、隨テ御説ノヤウニ申ス思フ通り適量ノ優秀ナ農機具ガ

入ツテ來ナイト云フ憾ミガアルト思ヒマス。是等ノ資材ノ配分ト即應シマシテ企業モ段々整理統合シ、同時ニ優良農機具ノ増産シテ農民ニ供給スルト云フ線ニ沿ウテ一層努力シタイト思ヒマス。

○三善委員長 山田君ノ質問ハ此ノ程度ニ願ヒマシテ次ハ今成留之助君

○今成委員 御許シテ得マシタカラ私極メテ簡單ニ政府ノ所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス。戰時下ノ食糧問題ハ極メテ重要デゴザイマス。爲ニ、本委員會ヲ通シテ委員並ニ政府ノ質問應答ガ極メテ熱心ニ行ハレマシタノデ、私ノ御伺ヒ致サウトスル所ノ數點ハ省略シマシテ、タツタ二點ダケニ付テ御聽キ致シタイト思ヒマス。

ソレハ雪國ノ地方ニ對スル食糧増産ノ指導方針ニ付デアリマス。御承知ノ通り日本海方面ハ全國デモ有數ナ降雪量ノ多イ所デアリマシテ、隨テ米作其ノ他農山村ノ施設ニ付テハ特殊ノ施設ヲシナケレバナラヌ地方ナノデアリマス。殊ニ本年ハ割合ニ小雪デアリマシテ喜ンデ居ツタノデアリマスガ、最近ノ通信ニ依リマス。ト一月下旬ニナリマシテ非常ニ多量ノ雪ガゴザイマシテ、最早降雪量ハ約五十尺ニ達スルサウデゴザイマス。隨テ喜ンデ居リマシタ北國地方ノ雪國ノ住民ハ此ノ積雪ノ爲ニ非常ニ例年ノ通り苦ンデ居ルノデゴザイマス。而モ私ノ郷里ノ新潟縣ハ米產國デアリマス。爲ニ、左様ナ困難ヲ克服致シマシテ米作増産ノ爲ニ農民ハ非常ニ努力奮闘ヲシテ居リマス。コトハ農林當局モ能ク御承知ノ事デアルト思ヒマス。然ルニ雪國ト云フモノニ對スル特別ノ考慮ヲ拂ツテ居ラレナイヤウナ氣配ガスルノデアリマス。此ノ多量ノ降雪ガ春

ニナリマス。ト解ケマス。サウシテ其ノ施設宜シキヲ得マセヌト是ガ氾濫致シマシテアノ平野ニ水害ヲ捲起シ、澤山ノ農産物ヲ水中ニ没シマシテ、折角粒々辛苦シテ作りマシタ所ノ稻モ是ガ爲ニ一朝ニシテ潰滅シテシマフト云フヤウナ慘害ガ生ジテ參リマス。隨テ農業土木其ノ他ニ付キマシテモ他ノ雪ノ降ラナイ地方トハ特別ノ取扱ヲシテ貰ハナケレバナラナイコトガ、モウ一ツハ春ニナツテ折角植付ヲ致サウト思ヒマス。ケレドモ、苗ノ育成ニ非常ニ困難ヲ生ズル、冷水ガ流レテ落チマス。ト平野デハ冷害ノ爲ニ遂ニ苗ノ育成ガ出來ナイ、三寒四暑ト申シマス。ノハ朝鮮ノ言葉デゴザイマス。ガ、北國地方ニモアルノデゴザイマス。四日暖カクナリマス。ト必ズ山ノ雪ガ解ケマシテ平野ニ流れル、ソレガ爲ニ又三日間位ハ非常ニ寒サニナツテ後戻リスル、サウ云フヤウナコトデ非常ニ水害、冷害、慘害ヲ蒙リマス。爲ニ、米作ニ影響ヲ及ボシマス。コトガ非常ニ多イニモ拘リマセズ、此ノ點ニ對シテ農林當局ハ如何ナル御施設ヲナシテ居ラレルカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス。

○三浦(一)政府委員 今、今成サシカラ積雪地方ニ對スル食糧増産其ノ他農業土木等ニ對スル施設ノ點ニ付テ御尋ネデアリマシタガ、御尤モ御趣旨ト拜聽致シマシタ。積雪地方ニ付キマシテハ既ニ積雪地方經濟調査所ナドモ設ケマシテ、色々ナ施設ヲ致シテ參ツテ居ルノデアリマス。是ハ從前ノ施設デアリマス。ガ、今度ノ豫算ニ對シマシテモ相當考慮シタ點ヲ一、二申上ゲテ置キタイト思ヒマス。即チ積雪ガ多イ爲ニ春水ガ段々出テ參ル際ニ氾濫等ノ害ガアルガ、之ニ對シテノ施設ハドウカト云フコトデア

リマス。從來トテモ治水事業等ニ付キマシテ相當巨額ノ經費ヲ計上シテ居リマス。シ、時局デアリマス。ルケレドモ此ノ方面ニ付キマシテハ經費等ハ所謂節減減延べ等ハ致シテ居リマセヌ、又雪害地方ノ林野等ノ復舊事業ニ付キマシテモ同様デアリマス。更ニ本年ハ積極的ニ災害防止、林業施設ト云フモノヲ擴充致シマシテ、ハ積雪地方等ノ方面、其ノ他各方面ノ要望ガアリマシテ特ニ災害ヲ防止スル爲ノ林業施設ヲ擴充シタイト云フヤウナコトカラ、五箇年二千万圓、初年度二百万圓ノ經費ヲ今議會ノ豫算ニ計上シテ居リマス。是等ハ從來ノ治水事業ト相俟チマシテ、相當サウ云フ根本的ナ治山、治水、同時ニ災害防止ニ相當役立ツモノト考ヘテ居リマシテ、是等ハ地方ノ實情ニ即應シテ運用ヲシテ參リタイト考ヘマス。

第二段ノ農業上ノ問題デアリマス。ガ、是ハ先程大臣ガ山田サンニ對スル御答ヘノ際ニモ述ベマシタ通り、十七年度ノ豫算ニ於キマシテモ食糧増産對策ノ二千五百万圓、前年ノ經費ト同ジ程度ノモノヲ盛ツテ居ル譯デアリマス。是等ハ重點主義ニ依リマシテ地方ノ實情ニ即シテ運用ヲシテ參リタイト考ヘマス。隨ヒマシテ積雪地方ニ適シタ農業上ノ食糧増産ニ必要ナ施設ニ付キマシテハ、其ノ重點ヲ狙ツテ相當助成金モ交付スル、之ニ應ジテ増産上過誤ナキヲ期シタイ、斯ウ考ヘマス。尙ホ稻ノ育成其ノ他農業上ノ施設ニ付キマシテ、私ノ説明デ足りマセヌ場合ニハ農政局長カラ委曲申上ゲタイト思ヒマス。

○今成委員 只今農林次官ノ御答辯ニ依リマシテ、洵ニ積雪地方ノ農民ハ感謝致ス。ラウト思フノデアリマス。ガ、サウ云フヤウ

ナ積極的ノ御援助モ大ニ必要デゴザイマスガ、更ニ北國地方ハ全然ニ毛作ガ出來ナイ、一毛作ホカ出來ナイ場所デゴザイマスカラ、雪ガ消エマスト急イデ農民ハ田圃ヘ下リマシテ農業ヲヤリ、僅カナ期間ニ於テ之ヲ成育致シマシテ稻ニ致シマシテ其ノ他ノ餘力ト云フモノハ他ノ勞銀ヲ得ルコトニ當テ、サウシテ生活ヲシテ居ルト云フ地方デゴザリマスルカラ、全國劃一的ニ御扱ヒ下サルヤウナコトガアリマス、大變ナ間違ヒヲ生ズルノデアリマス、例ヘバ肥料ノ配給等ノ如キモ、他ノ地方デハ五月ニ入ツテモ宜シウゴザイマスガ、斯ウ云フ北國地方ハ三月中ニ配給ヲ願ハナケレバ間ニ合ハナイト云フヤウナ實情ナドモ御考ヘテ願ハナケレバナラスノデアリマス、是ハ稻ニ付テノ話デス、ソレカラ積雪地方ニ付テノ考慮ヲ拂ツテ御出デニナラヌト云フ實例ヲ一ツ申上ゲマシテ、尙ホ農林當局ノ十分ナ御盡力ヲ仰ギタイト思フノハ、昨年ノ十一月初旬、私ハ山村ノ方ヘ頼マレマシテ時局講演ニ參リマシタ、所ガ丁度農會長、部落ノ連中ガ集ツテ居リマシテ、相談シテ居ルカラ聽イテ吳レト云フノデ聽イタ、農林省ノ方針トシテ縣カラ、桑園ヲ整理シテ麥ヲ植付ケテ吳レ、サウシテ食糧増産ヲスルト云フト補償金ヲ出スカラ是非ヤツテ吳レ、私ノ方ノ村ニハ凡ソ二町何反歩カノ桑園ヲ整理セヨト云フ御命令ガ來タノデス、所ガ今頃ニナツテカラ桑園ヲ整理シテ麥ヲ植付ケタツテ麥ニナリマセヌ、モウ非常ニ雨ガドンドン此ノ通り降ツテ居リマシテ、私共ノ方ニ御命令ヲ下サルナラバ、少クモモウ一箇月早クナケレバ、十一月初旬ニナツテ桑ヲ整理シテ麥ヲ植付ケルナンテドウシタコトデ

セウ、ト言フモノデスカラ、縣廳ヘ行ツテ聽キマシタラ、色々計畫ガアリマシタノデ、實ハ農林省ノ御指令ガ一箇月前アツタガ、アノ村ニドノ位配給スルカ、此ノ村ニドノ位配給スルカト云フノデ、一箇月掛ツテ、ツヒ遅クナツタ、山地ノ方ハ御氣ノ毒デスガト云フコトデアツタ、私共ノ時ニ農民ノ幹部ノ方々ニ言ウタ、政府ノ方針ハ技術上ノ二ツノ目的ガアツタ、其ノ一ツノ目的ハ食糧ノ増産ノ方カラ言ヘバアツタ方不平等アルデアラウケレドモ、結局桑園ヲ整理シテ、食糧ヲ増産シナケレバナラス日本ノ國情ナンドカラ、或ハ麥ハ出來ナクテモ、政府ノ御命令ノ通りヤツテ補償金ヲ御貰ヒニナツタ方ガ宜イデセウ、即チ一億一心ニナツテ政府ノ命令ノ通り、此ノ事變下ニ於テヤラナケレバナラス、一々不平等言ツテ居ツテハイケンイカラ、麥ハ腐ツテモ宜シイカラ政府ノ命令ノ通りヤリナサイト言ツタト云フコトヲ縣廳ニ行ツテ言ツタラ禮ヲ言ハレタ、サウ云フヤウナ實情デ、九州或ハ關東地方デハ桑園ノ整理ヲシテ、麥ヲ植エルト云フコトガ十一月ニナツテモ宜シウゴザイマセウガ、雪國ニ對シマシテハ、モツト早く此ノ見透シヲ御付ケニナツテ、桑園ヲ整理シテ食糧ノ増産ヲヤルト云フ此ノ二ツノ大キナ目的ヲ達成スルニハ、成ベク十月中ニサウ云フ命令ガ下ルヤウニ是非御考慮、御盡力ヲ願ヒタイノデアリマス、是ハ只今農林大臣ノ御答辯ニ對シテ實情ヲ申上ゲマス、是ハ御答辯ハ要リマセヌ

御指導ナサツテ居ルサウデアリマスガ、ソレハ大變ニ實情ニ即セナイヤウナ、私ノ方カラ見レバ、無責任ヲ放言ヲナサル爲ニ、徒ラニ小作爭議ヲ醸成スル一ツノ因ニナツテ居ル、小作料ト云フ問題ハ、色々經濟上ノ問題カラ言ツテ、適正價格ガドウカト云フコトハ難カシイ問題デハゴザイマスケレドモ、私共ノ縣ノ實情カラ申シマス、此ノ平地ハ非常ニ澤山ナ水田デアツテ、耕作者ガ轉々トシテ散在シテ居リマス爲ニ、耕作人ニ比例致シマシテ耕作地ガ非常ニ餘計要ルノデアリマス、隨テ平田、即チ平野ニ於ケル一戸當リノ農民ノ田地ノ割當ト云フモノハ相當多イノデス、廣イ所ヘ參リマス、一戸當リ二町乃至三町歩モ作ツテ一箇年ノ生活ヲシテ居ル農民モアル、サウ云フヤウナ場所ハ近頃ノ改良施設其ノ他ニ依リマシテ非常ニ増産ヲサレマシテ、一戸當リノ收穫量ト云フモノハ肥料ノ配給ニ依ツテハ三石若シクハ三石五斗モ穫レルヤウナ場所デアアル、ソレヲ二町モ三町モ一戸デ作ツテ居ル、隨テ農地ノ配給ノ關係ガ非常ニ餘計ナル爲ニ、若シ農民ガ厭ヤダト言ヘバ地主ハ作ルコトガ出來ナイ、隨テサウ云フ場所ハ收穫量ノ割合ニ小作量ガ安イノデス、ソレハ安クテ宜シイ、所ガ一タビ水田地デナイ山地ヘ參リマス、耕地ガ非常ニ不足デ、耕作人ガ多イ爲ニ、需給關係上小作料ト云フモノハ高イノデス、若シ高イカラ要ラナイト言ヘバ、喜ンデ地主ガ自分デ作ルコトガ出來ルヤウナ場所デアリマスカラ、從來ハ收穫量ニ比較致シマシテ小作料ガ高イノデアリマス、ソレヲ山ノ方ニ參リマシテ、平田ノ方ハ收穫量ガ是ダケアルニ拘ラズ小作料ガ八斗乃至一石ニナツテ居ル、山地ノ方ハ

收穫量ガ二石二、三斗カニ石四、五斗シカナイノニ小作料ガ一石若シクハ一石一、二斗ト云フコトハ出來ダト云フコトヲ小作官ガ放言ナサル爲ニ、ソレナラバト云フコトデ小作爭議ヲ起シテ居ル場所ガ此ニ到ル處ニゴザイマス、サウ云フヤウナ永年平和ニ暮シテ居リマス農村ニ參ラレテ、中央ニ於ケル小作官等ガ、無責任ト言ヘバ失禮カモ知レマセヌガ、實情ニ即シナイ御指導ヲナサル爲ニ、却テ小作爭議ヲ醸成シテ居ルノダ、此ノ戰時下ニ於キマシテ成ベク相剋摩擦ヲ避ケヨト云フコトデ、内務省其ノ他ノ方面デハ神經過敏ニ非常ニ御努力ニナツテ居ルノニ、一面ニ於テ小作爭議ヲ醸成スルヤウナコトヲ放言ナサルト云フコトハ、甚ダ私共ハ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、勿論適正小作料ノ問題デゴザイマスカラ、利潤ノ關係ヤ、色々經濟上ノ問題ノ爲ニ、不當ナ小作料ヲ取ツテ居ル所ハ、ソレハ直スコトハ當リ前デアリマスガ、長イ間ノ習慣デ、其ノ少シバカリノ耕地ヲ作リマシテ、其ノ他ハ山村デアリマス、レバ畑地モゴザイマシ、山働キモアリマス、炭焼キモアリマス、サウ云フヤウナ收入ニ依ツテ平和ニ暮シテ居ル所ニ參リマシテ、田地ノミニ依ツテ生活シテ居ル所ノ地方ノ小作料ト比較シテ、是ハ高イト云フヤウナコトヲ農民ヲ集メテ放言致セバ、喜ンデ此ノ小作料ノ減免ヲ求メルノハ、是ハ當リ前ナンデアリマス、只今ノ富山縣竝ニ新潟縣地方ノ山地ニ於キマシテ今小作爭議ガ流行シテ參リマシテ、到ル處ニ相剋シテ居リマスノハ、責任ノナイ小作官ノ放言ノ結果ダ、斯ウ云フコトニ私共ハ聞イテ居ルノデアリマス、農林省ノ此ノ點ニ對スル御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○三浦(一)政府委員 適正小作料ニ順次馴致シテ參ルト云フコトハ、必要ナコトデゴザイマスルガ、是ハ地方ノ實情ニ即シテヤツテ參リタイト云フコトデ進シテ居ル譯デアリマス、唯、今成サンノ御指摘ニナリマシタヤウニ、無責任ナル小作官ノ言動ト云フコトデアリマスルガ、是ハ直接小作問題ニ付キマシテハ、無責任ドコロデナクテ、責任ノアル地位ニアリマスル者デアリマスシ、ノミナラズ地方長官ノ直接ノ監督ニ屬シ、更ニ又小作問題ニ付キマシテハ、農林大臣ノ監督ヲ受ケル譯デアリマスガ、是等ハ具體的ニ如何ナル言動ヲ致シマシタカ、能ク取調ベタ上デナイト此ノ問題ニ付イテハ言ヘナイ譯デアリマス、唯農林省ノ指導方針トシマシテハ、苟モ無責任ナ言動ヲ以テ、サウシテ地方ノ實情ニ即シナイヤウナ指導ヲスルト云フヤウナコトハ一ツモゴザイマセソノデ、能ク情理ニ徹シテ、サウシテ適切ナル措置ヲ執ツテ參リタイト云フコトデ常ニ指導シテ居ルノデアリマシテ、決シテ徒ラニ事端ヲ繁クシテ、農民ノ混亂ヲ起スト云フヤウナコトニハ從前トテモサシテ居ル譯デハナイノデアリマス、具體的ニ新潟縣ニ於テ如何ナル措置ガアリマシタカ、是ハ只今ノ所不明デアリマスノデ、何レ取調ベタ上ニ適切ナル措置ヲ執ラナケレバナラヌト思ヒマス、唯其ノ間ニ注意シナケレバナラヌ問題ハ、地方ニ依リマシテハ小作關係ニ付キマシテ、ヤハリ色々ノ問題ガアラウカト思ヒマス、是等ハヤハリ地方ノ地主小作間ノ雙方ノ利害ヲ能ク見マシテ、サウシテ適正ナル所ノ關係ニ導キ出スト云フコトガ小作官ノ大キナ役目デアリマスカラ、是等ハ其ノ地位ヲモヤハリ十分ニ認識シ、又

之ニ協力スルニアラザレバ地方ノ農地關係等モ圓滿ニ行カヌコトデアリマスノデ、唯單ニ小作官ナルガ故ニ徒ラニ小作問題ヲ惹起スルト云フ風ナ意味合ヲ以テ見ナイデ、ヤハリ公正ニ御覽ヲ願ヒタイト斯ウ考ヘテ居リマス

○今成委員 農林次官カラ只今ノ御言葉ヲ承リマシタノデスガ、中央ニオイデニナリマス、御分リニナラヌコトハ御尤モデアリマスカラ、是ハ一ツ嚴重ナ御調査ヲ私ハ要求致シマス、現ニ何等小作爭議ナシノ起キナガツタ地方ニ於テ、小作官ノ言動ノ爲ニ起キタ地方ガ新潟縣ニモ富山縣ニモアルト云フコトヲ聞イテ居ル、他ノ委員諸君ニ聽クト相當全國ニモアルサウデアリマスカラ、是非一ツ御調査ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○高田委員 一寸議事進行ニ付テ……一ツ農林省ガ拓務省ト相談シテ斯ウ云フ調ベヲ出シテ戴キタイ、ドウシテ私ガサウ云フコトヲ御願ヒスルカト言ヘバ、農林大臣ハ南方方面ニ日本ノ勢力ガ今度ノ戰爭ノ結果段々伸展シテ行クガ、食糧ノ自給ハ内外地デ圖リタイト云フコトヲ豫算總會其ノ他ニ於テモ數回述べラレタヤウデアリマス、即チ食糧ノ自給自足ヲ内外地ニ於テ圖リタイ、斯ウ云フコトデ是ハ私ハ當然デアルト思フ、併シナガラ果シテソレガ出來ルカドウカ、今日ノ施設ヲ以テシテハ果シテ其ノ目的ヲ達スルヤ否ヤト云フコトニナルト、ドウモ私頗ル疑問ヲ持ツ、ナゼ疑問ヲ持ツカト言ヘバ、ドウモ統計ヲ絕對的ニ信ズル譯ニモ行キマセヌガ、昭和十三年ノ米ノ消費ハ内地ダケデ八千万石以上ニナツテ居ル、ソレデ結局米不足デアルト云フ理由カラ消費規正ト云

フ言葉ガ出來タ、消費規正ト云フ言葉ヲ以テ段々米ノ消費ヲ減シテ行ク方策ヲ政府ガ執リマシタ、表ヲ御出シニナラヌカラ分リマセヌガ、昭和十七年即チ本年ハ七千四、五百万石位デ抑ヘヨウト云フ御考ヘデ進ンデ居ルノデハナイカ、サウスルト昭和十三年ト昭和十七年トデハ人口ハ相當ニ殖エテ居リマセウガ、ハツキリシタ數字ハ分リマセヌガ、昭和十三年ノ人口ハ七千八百八十万デアリマスカラ、昭和十七年ハ恐ラク七千四、五百万人ニナツテ居ルモノデハナイカト思ヒマス、サウスルト消費規正トカ消費壓縮ト云フコトヲヤツテ居ルカラ、マア七千四、五百万石デ宜イノデスガ、思フヤウニ食ハセテ置ケバ恐ラクハ八千四、五百万石ノ米ガ要ルノデハナイカト思フ、私ガ前提トシテ言ハナケレバナラヌコトハ、食フモノハ思フ通りニ食ハセタイト云フノガ私ノ考ヘデアリマス、サウスルトコトガ又農業政策デハナイカ、規正トカ壓縮トカ云ツテ段々追詰メテ行クコトハ惡イノデハナイカト云フコトガ根本ノ觀念デアリマスカラ、ソレハ御承知ヲ願ヒタイ、食フ物ハ思フヤウニ食ハセタイト云フ爲ニハ、成程本年ハ七千四、五百万石ニ米ヲ壓縮スルト稱シテ居リマスガ、ソレハ芋ヤ麥ヲ増産シテ食ハセルカラ宜イト云フ御計畫デアリマセウガ、ソレハ非常ニ無理デアル、外米ヲ輸入スルト云フ考ヘモ宜イガ、私ハサウ云フコトハシタクナイ、サウスルト結局思フヤウニ食ハセテスレバ、今日マデノヤリ方デハ自給自足ガ出來ナイデハナイカ、十年後ニハ内地ノ計畫デ米ガ千二百萬石、大麥、稗麥デ千二百萬石ノ増收計畫ヲヤラレルト言ヒマスガ、之ヲ入レテモ私ハ中々足ラナイノデハナイガト思フ、山田君デハア

リマセヌガ、私ハ二千四百萬石十箇年間ニ穫レルト云フコトハ絕對ニ信ジマセヌ、信ジナイ私カラ言ヘバ、益、自給自足ヲ疑フ、剩ヘ朝鮮ニ於テ、十箇年間大體六百八十万石、臺灣ニ於テ二百三十萬石ノ増産計畫ガアリマスケレドモ、是モ果シテ其ノ通り出來ルカドウカ疑問デアアルノミナラズ、朝鮮ノ消費ハ益、増加スルト見ナケレバナラヌ、内地ノ人ガ米ノ消費ヲ減シテモ朝鮮ハ殖エテ行ク、併シナガラ朝鮮ノ人ノ米ノ消費ノ殖エルコトハ是ハ仕方ガナイ、彼等ハ粟ヤ麥ヲ食ツテ居ツタガ、富ノ程度ガ進ンダ今日ニ於テ、彼等ニ麥、粟ト云フモノヲ食ハシテ置ク政策ハ私ハ惡イト思フ、ヤハリ内地同様ニ米ヲ食ハシタ方ガ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルト、今ノ計畫デハ自給自足ガ出來ナイヤウニ私ハ思ヒマスルガ、拓務省ト農林省ト其ノ點ニ付テ篤ト御協議下サツテ、十箇年後ニ必ず自給自足ガ出來ルカドウカト云フコトヲ、人口ノ増加ヲ基準トシ、更ニ今日内外地ヲ通ジテアル所ノ食糧増産計畫ヲ基準トシテ、之ヲ的確ナル數字ニ依ツテ自給自足ガ出來ルカ出來ナイカト云フコトノ御示シヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ根本問題デアラウト思ヒマス、其ノ點ニ付テ申上ゲルコトハ、節約、壓縮ト稱シテサウシテ食ハセナイヤウニスル、芋ヲ食ヘ、麥ヲ食ヘト云フ政策ヲ棄テテ、思フヤウニ食ハセル政策ヲ執ツテ戴キタイ、已ムヲ得ズ麥ヲ食ヘ、薩摩芋ヲ食ヘト言ツテ居ルガ、皆米ヲ食ヒタイト思フノデスカラ、事變前ノヤウニ米ヲ食ハセルト云フコトヲ基準ニシテ、人口ノ増加ヲ見テ、サウシテ内外地ヲ通ジテ果シテ自給自足ガ出來ルカドウカト云フコトノ確タル御示シヲ是非表

ニシテ各委員ニ配ツテ戴キタイト思ヒマス、是ハ大問題デア、モウ一ツ御伺ヒシタイコトハ、佛印、「タイ」及ビ「ビルマ」三國ノ事變前ノ米ノ輸出量デア、是モ大體分ル思ヒマス、私ノ持つて居ル數字モアリマスケレドモ、ドウモハツキリ分ラヌカラ伺ツテ置ク、ナゼサウ云フコトヲ伺フカト云フト、自給自足デ賄フト言ヒナガラ、向フガ餘レバドウデモ斯ウデモ日本ガ買ハナケレバナラヌト云フヤウナ事態ニナリ、ハセヌカト思フ、成程此ノ三國ノ米ハ南洋ソレ自身ガ不足デ供給スルコトモアリマセウ、又支那ノ米ノ不足ヲ補ツテ居ルコトモ事實デゴザイマセウ、供シナガラ支那ト南洋ソレ自身ダケデ果シテ「タイ」、佛印、「ビルマ」ノ餘ツタ米ガ消化出來ルカドウカト云フコトハ私ハ分リマセヌ、若シ是ガ出來ナイデ、日本デハ主トシテ自給自足デア、之ヲ買ハナイトスレバ「タイ」、佛印、「ビルマ」三國ノ統治ト申シマセウカ、農民ノ經濟上ト申シマセウカ、是ガ行立タナイ結果トナル、米ヲ餘リ日本デ買ハナイ、支那ハ無論買ツテ行カケレバナラヌガ、日本デ買ハナイトナレバ、砂糖ヤ何カト同ジデ、米ガ餘ツテ困ルト云フヤウナ時代ガ來ヤセヌカト思フ、東亞共榮圈ノ結果、アノ方面ノ米ガ餘ツテ困ルトシタナラバ、アノ方面ノ農民ガ困ルカラ、日本ガ南方統治上ヤハリ米ヲ買ハナケレバナラヌト云フヤウナ事態ニ進ムノデハナイカト云フコトモ心配セザルヲ得ナイト思ヒマス、其ノ見地ヨリ只今申上ガマシタ三國ノ事變前ノ米ノ輸出能力ガ幾ラデアツタカト云フコトヲ伺ツテ置キタイト存ジマス

要求致シマシタ大麥、小麥、稗麥ノ生産高ノ問題、何モ御出シニナラヌ、是モ是非必要デゴザイマスカラ御出シヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラモウ一ツハ、昭和十六年度ト十七年度ノ米ノ各府縣ノ配給割當ノ表デゴザイマス、是モ御出シニナラヌ、ナゼ私ハ斯ウ云フコトヲ要求スルカト云フト、驚イタコトハ、昨年十月四、五日ノコトデスガ、青森縣ニ行ツタ、サウシテ宿屋ニ泊ツテ見ルト、漸ク近頃ニナツテ喧シクナツタノデ、此ノ間マデハ米ガ自由勝手ニ幾ラデモアツタト云フノデス、是ハ驚イタ話デア、私ノ縣ナドデハ一昨年ノ九月、十月頃カラ宿屋ナンカハ足ラヌトカ何トカ言ツテ居ル、青森縣ニ行ツテ聽イテ見ルト、今言ツタヤウナ話デア、是ハ私ノ聽イタ話ガ間違ツテ居ルカモ知レマセヌガ、漸ク今年凶作ダト云フコトガ知レテ喧シクナツタノデ、ソレマデハ勝手ニ米ガ買ヘタト云フ話デア、私ハ此ノ不統制ニハ驚イタ、更ニ今度ハ労働者ノ食糧ニ付テ見ルト、栃木縣ノ足尾銅山デハ米ヲ十分ニ配給シテ居ル、所ガ四國ノ某鑛山ニ於テハ米ガ足りナクテ、労働者ニ十分ヤレナクテ全ク困ツテ居ル、是ハ要スルニ農林省ガ各府縣ニ米ノ配給割當ヲスル其ノ割當ノ内容ニ於テ、何等カノ誤リガアル、或ハ其ノ府縣ノ知事ガ米ノ實際ノ保有量、其ノ縣内ニアル所ノ米ノ量ヲ本當ニ申告セヌカラデアルト思ヒマス、何トシテモハ全國の、足尾銅山ノ労働者モ四國ノ鑛山ノ労働者モ同ジヤウニ米ヲ食ヘルヤウニシナケレバナラヌト私ハ思ヒマス、青森縣デハ其ノ通りデスガ海ヲ渡ツテ北海道ニ行クト、辨當ノ中ニ大豆ガ半分入ツテ居ル、斯ウ云フ話デア

アル、斯ウ云フコトデハ何トシテモ配給ノ圓滿公平トハ言ヘナイ、サウ云フ内容ヲ見ル爲ニアノ表ヲ要求シタノデアリマスカラ是非御出シヲ願ヒタイ、モウ一ツハ味噌醬油ノコトデス、成程味噌ノ配給量ノ問題ハ六大都市ニ於テ關西ハ多ク關東ハ少クト云フ意味デ東京デハ一人六匁ト云フ制限ヲシタ、大體ニ於テ二割制限シタト云フコトノ表ヲ戴キマシタガ、併シナガラ私ハ之ニ付テ斯ウ云フコトヲ申上ゲル、此ノ消費ノ節約ト云フコトハ、大體ニ於テ大豆ヲ何程ノ全體的ニ消費ノ節約ヲスル目的デア、鹽、大麥、小麥ヲ何程節約スル目的デア、何故サウ云フコトヲ要求スルカト言ヘバ、私カラ見レバ味噌醬油ト云フモノハ寧ろ米ヨリモ必需品ト言ハネバナラヌ、味噌ノ配給ヲ制限シナケレバナラヌト云フコトニナルト國民生活上頗ル疑問ガアルト思フカラ、ドウシテモ節約シナケレバナラヌノナラ如何ナル方法ヲ以テモ大豆ヲ増産シナケレバナラヌ、ソレニハ或ル場合ニ於テハ陸稻ヤ煙草ノ生産ヲ減ラシテ大豆ダケハ作ツテ味噌醬油ダケハ完全ニ配給シタイト云フ考ヘガアルカラ私ハ伺フ、一日六匁一箇月百八十匁ト云フ表ヲ御示シナツタ、之ニ依ツテ何程ノ大豆ノ消費ヲ節約スル目的デア、カト云フコトガ書イテナイ、ソレガナクテハナラヌ、甚ダクドイヤウデアリマスガ、ドウゾ一ツ明日マデニ御調べ下サツテ是等ノ表ヲ御出シ願ヒタイ、若シ表ニスルコトガ出來ナイト云フ理由ガアルナラバ秘密會ナリ何ナリデ御話シ願ヒタイ

午後一時四十三分開議

○三善委員長 午前ニ引續キ是ヨリ開會致シマス——吉田賢一君

○吉田委員 先ヅ第一ニ軍管理工場ノ従業員ニ付キマシテ殘業或ハ徹夜ナドニ從事シタ場合ニ特別ニ米麥其ノ他ノ増配ヲナシ、或ハ榮養補給トカ疲勞ノ回復等ニ對スル對策ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ軍當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、理由ハ申スマデモナク、事變後軍需産業ノ労働ガ非常ニ強化サレテ參リマシタコト、殊ニ大東亞戰爭ヲ完遂シマス爲ニハ今後一層ノ増産ト、隨テ労働力ノ強化ハ豫定サレテ居ルト思ヒマス、現ニ是等ノ業ニ從事致シテ居リマスモノハ、實際ハ普通ノ民間ノ一般工場ト違ヒマシテ、軍ノ特殊ナ、又作戰上等ノ要請ニ依ルノデセウ、或ハ約束ノ期間ガ短カク制限セラレマシタリ、普通ニ想像出來ナイ臨時ノ労働モアルノデゴザイマシテ是等ニ從事致シテ居リマス従業員ハ、全ク生命ヲ打込ンデ兵器等ノ製作ニ當ツテ居ルノデアリマス、而モ工場ニ依リマシテ、其ノ産業ノ種類ニ依リマシテハ可ナリ危険ガ伴フノデアリマス、而シテ徹夜等ヲ致シマスコトハ、現實ノ狀況トシマシテハ屢、ナノデアリマシテ、深夜作業ノ心身ヘノ影響疲勞等ハ申スマデモナイノデ

午後一時四十三分開議

○三善委員長 政府ニ申上ゲテ置キマス、只今高田君ノ要求サレマシタ事柄ハ、此ノ審議ノ上ニ頗ル重大ナ問題デアルト思ヒマス

アル、斯ウ云フコトデハ何トシテモ配給ノ圓滿公平トハ言ヘナイ、サウ云フ内容ヲ見ル爲ニアノ表ヲ要求シタノデアリマスカラ是非御出シヲ願ヒタイ、モウ一ツハ味噌醬油ノコトデス、成程味噌ノ配給量ノ問題ハ六大都市ニ於テ關西ハ多ク關東ハ少クト云フ意味デ東京デハ一人六匁ト云フ制限ヲシタ、大體ニ於テ二割制限シタト云フコトノ表ヲ戴キマシタガ、併シナガラ私ハ之ニ付テ斯ウ云フコトヲ申上ゲル、此ノ消費ノ節約ト云フコトハ、大體ニ於テ大豆ヲ何程ノ全體的ニ消費ノ節約ヲスル目的デア、鹽、大麥、小麥ヲ何程節約スル目的デア、何故サウ云フコトヲ要求スルカト言ヘバ、私カラ見レバ味噌醬油ト云フモノハ寧ろ米ヨリモ必需品ト言ハネバナラヌ、味噌ノ配給ヲ制限シナケレバナラヌト云フコトニナルト國民生活上頗ル疑問ガアルト思フカラ、ドウシテモ節約シナケレバナラヌノナラ如何ナル方法ヲ以テモ大豆ヲ増産シナケレバナラヌ、ソレニハ或ル場合ニ於テハ陸稻ヤ煙草ノ生産ヲ減ラシテ大豆ダケハ作ツテ味噌醬油ダケハ完全ニ配給シタイト云フ考ヘガアルカラ私ハ伺フ、一日六匁一箇月百八十匁ト云フ表ヲ御示シナツタ、之ニ依ツテ何程ノ大豆ノ消費ヲ節約スル目的デア、カト云フコトガ書イテナイ、ソレガナクテハナラヌ、甚ダクドイヤウデアリマスガ、ドウゾ一ツ明日マデニ御調べ下サツテ是等ノ表ヲ御出シ願ヒタイ、若シ表ニスルコトガ出來ナイト云フ理由ガアルナラバ秘密會ナリ何ナリデ御話シ願ヒタイ

午後一時四十三分開議

○吉田委員 先ヅ第一ニ軍管理工場ノ従業員ニ付キマシテ殘業或ハ徹夜ナドニ從事シタ場合ニ特別ニ米麥其ノ他ノ増配ヲナシ、或ハ榮養補給トカ疲勞ノ回復等ニ對スル對策ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ軍當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、理由ハ申スマデモナク、事變後軍需産業ノ労働ガ非常ニ強化サレテ參リマシタコト、殊ニ大東亞戰爭ヲ完遂シマス爲ニハ今後一層ノ増産ト、隨テ労働力ノ強化ハ豫定サレテ居ルト思ヒマス、現ニ是等ノ業ニ從事致シテ居リマスモノハ、實際ハ普通ノ民間ノ一般工場ト違ヒマシテ、軍ノ特殊ナ、又作戰上等ノ要請ニ依ルノデセウ、或ハ約束ノ期間ガ短カク制限セラレマシタリ、普通ニ想像出來ナイ臨時ノ労働モアルノデゴザイマシテ是等ニ從事致シテ居リマス従業員ハ、全ク生命ヲ打込ンデ兵器等ノ製作ニ當ツテ居ルノデアリマス、而モ工場ニ依リマシテ、其ノ産業ノ種類ニ依リマシテハ可ナリ危険ガ伴フノデアリマス、而シテ徹夜等ヲ致シマスコトハ、現實ノ狀況トシマシテハ屢、ナノデアリマシテ、深夜作業ノ心身ヘノ影響疲勞等ハ申スマデモナイノデ

アル、斯ウ云フコトデハ何トシテモ配給ノ圓滿公平トハ言ヘナイ、サウ云フ内容ヲ見ル爲ニアノ表ヲ要求シタノデアリマスカラ是非御出シヲ願ヒタイ、モウ一ツハ味噌醬油ノコトデス、成程味噌ノ配給量ノ問題ハ六大都市ニ於テ關西ハ多ク關東ハ少クト云フ意味デ東京デハ一人六匁ト云フ制限ヲシタ、大體ニ於テ二割制限シタト云フコトノ表ヲ戴キマシタガ、併シナガラ私ハ之ニ付テ斯ウ云フコトヲ申上ゲル、此ノ消費ノ節約ト云フコトハ、大體ニ於テ大豆ヲ何程ノ全體的ニ消費ノ節約ヲスル目的デア、鹽、大麥、小麥ヲ何程節約スル目的デア、何故サウ云フコトヲ要求スルカト言ヘバ、私カラ見レバ味噌醬油ト云フモノハ寧ろ米ヨリモ必需品ト言ハネバナラヌ、味噌ノ配給ヲ制限シナケレバナラヌト云フコトニナルト國民生活上頗ル疑問ガアルト思フカラ、ドウシテモ節約シナケレバナラヌノナラ如何ナル方法ヲ以テモ大豆ヲ増産シナケレバナラヌ、ソレニハ或ル場合ニ於テハ陸稻ヤ煙草ノ生産ヲ減ラシテ大豆ダケハ作ツテ味噌醬油ダケハ完全ニ配給シタイト云フ考ヘガアルカラ私ハ伺フ、一日六匁一箇月百八十匁ト云フ表ヲ御示シナツタ、之ニ依ツテ何程ノ大豆ノ消費ヲ節約スル目的デア、カト云フコトガ書イテナイ、ソレガナクテハナラヌ、甚ダクドイヤウデアリマスガ、ドウゾ一ツ明日マデニ御調べ下サツテ是等ノ表ヲ御出シ願ヒタイ、若シ表ニスルコトガ出來ナイト云フ理由ガアルナラバ秘密會ナリ何ナリデ御話シ願ヒタイ

午後一時四十三分開議

○三善委員長 政府ニ申上ゲテ置キマス、只今高田君ノ要求サレマシタ事柄ハ、此ノ審議ノ上ニ頗ル重大ナ問題デアルト思ヒマス

アル、斯ウ云フコトデハ何トシテモ配給ノ圓滿公平トハ言ヘナイ、サウ云フ内容ヲ見ル爲ニアノ表ヲ要求シタノデアリマスカラ是非御出シヲ願ヒタイ、モウ一ツハ味噌醬油ノコトデス、成程味噌ノ配給量ノ問題ハ六大都市ニ於テ關西ハ多ク關東ハ少クト云フ意味デ東京デハ一人六匁ト云フ制限ヲシタ、大體ニ於テ二割制限シタト云フコトノ表ヲ戴キマシタガ、併シナガラ私ハ之ニ付テ斯ウ云フコトヲ申上ゲル、此ノ消費ノ節約ト云フコトハ、大體ニ於テ大豆ヲ何程ノ全體的ニ消費ノ節約ヲスル目的デア、鹽、大麥、小麥ヲ何程節約スル目的デア、何故サウ云フコトヲ要求スルカト言ヘバ、私カラ見レバ味噌醬油ト云フモノハ寧ろ米ヨリモ必需品ト言ハネバナラヌ、味噌ノ配給ヲ制限シナケレバナラヌト云フコトニナルト國民生活上頗ル疑問ガアルト思フカラ、ドウシテモ節約シナケレバナラヌノナラ如何ナル方法ヲ以テモ大豆ヲ増産シナケレバナラヌ、ソレニハ或ル場合ニ於テハ陸稻ヤ煙草ノ生産ヲ減ラシテ大豆ダケハ作ツテ味噌醬油ダケハ完全ニ配給シタイト云フ考ヘガアルカラ私ハ伺フ、一日六匁一箇月百八十匁ト云フ表ヲ御示シナツタ、之ニ依ツテ何程ノ大豆ノ消費ヲ節約スル目的デア、カト云フコトガ書イテナイ、ソレガナクテハナラヌ、甚ダクドイヤウデアリマスガ、ドウゾ一ツ明日マデニ御調べ下サツテ是等ノ表ヲ御出シ願ヒタイ、若シ表ニスルコトガ出來ナイト云フ理由ガアルナラバ秘密會ナリ何ナリデ御話シ願ヒタイ

午後一時四十三分開議

○吉田委員 先ヅ第一ニ軍管理工場ノ従業員ニ付キマシテ殘業或ハ徹夜ナドニ從事シタ場合ニ特別ニ米麥其ノ他ノ増配ヲナシ、或ハ榮養補給トカ疲勞ノ回復等ニ對スル對策ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ軍當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、理由ハ申スマデモナク、事變後軍需産業ノ労働ガ非常ニ強化サレテ參リマシタコト、殊ニ大東亞戰爭ヲ完遂シマス爲ニハ今後一層ノ増産ト、隨テ労働力ノ強化ハ豫定サレテ居ルト思ヒマス、現ニ是等ノ業ニ從事致シテ居リマスモノハ、實際ハ普通ノ民間ノ一般工場ト違ヒマシテ、軍ノ特殊ナ、又作戰上等ノ要請ニ依ルノデセウ、或ハ約束ノ期間ガ短カク制限セラレマシタリ、普通ニ想像出來ナイ臨時ノ労働モアルノデゴザイマシテ是等ニ從事致シテ居リマス従業員ハ、全ク生命ヲ打込ンデ兵器等ノ製作ニ當ツテ居ルノデアリマス、而モ工場ニ依リマシテ、其ノ産業ノ種類ニ依リマシテハ可ナリ危険ガ伴フノデアリマス、而シテ徹夜等ヲ致シマスコトハ、現實ノ狀況トシマシテハ屢、ナノデアリマシテ、深夜作業ノ心身ヘノ影響疲勞等ハ申スマデモナイノデ

アル、斯ウ云フコトデハ何トシテモ配給ノ圓滿公平トハ言ヘナイ、サウ云フ内容ヲ見ル爲ニアノ表ヲ要求シタノデアリマスカラ是非御出シヲ願ヒタイ、モウ一ツハ味噌醬油ノコトデス、成程味噌ノ配給量ノ問題ハ六大都市ニ於テ關西ハ多ク關東ハ少クト云フ意味デ東京デハ一人六匁ト云フ制限ヲシタ、大體ニ於テ二割制限シタト云フコトノ表ヲ戴キマシタガ、併シナガラ私ハ之ニ付テ斯ウ云フコトヲ申上ゲル、此ノ消費ノ節約ト云フコトハ、大體ニ於テ大豆ヲ何程ノ全體的ニ消費ノ節約ヲスル目的デア、鹽、大麥、小麥ヲ何程節約スル目的デア、何故サウ云フコトヲ要求スルカト言ヘバ、私カラ見レバ味噌醬油ト云フモノハ寧ろ米ヨリモ必需品ト言ハネバナラヌ、味噌ノ配給ヲ制限シナケレバナラヌト云フコトニナルト國民生活上頗ル疑問ガアルト思フカラ、ドウシテモ節約シナケレバナラヌノナラ如何ナル方法ヲ以テモ大豆ヲ増産シナケレバナラヌ、ソレニハ或ル場合ニ於テハ陸稻ヤ煙草ノ生産ヲ減ラシテ大豆ダケハ作ツテ味噌醬油ダケハ完全ニ配給シタイト云フ考ヘガアルカラ私ハ伺フ、一日六匁一箇月百八十匁ト云フ表ヲ御示シナツタ、之ニ依ツテ何程ノ大豆ノ消費ヲ節約スル目的デア、カト云フコトガ書イテナイ、ソレガナクテハナラヌ、甚ダクドイヤウデアリマスガ、ドウゾ一ツ明日マデニ御調べ下サツテ是等ノ表ヲ御出シ願ヒタイ、若シ表ニスルコトガ出來ナイト云フ理由ガアルナラバ秘密會ナリ何ナリデ御話シ願ヒタイ

午後一時四十三分開議

○三善委員長 政府ニ申上ゲテ置キマス、只今高田君ノ要求サレマシタ事柄ハ、此ノ審議ノ上ニ頗ル重大ナ問題デアルト思ヒマス

アル、斯ウ云フコトデハ何トシテモ配給ノ圓滿公平トハ言ヘナイ、サウ云フ内容ヲ見ル爲ニアノ表ヲ要求シタノデアリマスカラ是非御出シヲ願ヒタイ、モウ一ツハ味噌醬油ノコトデス、成程味噌ノ配給量ノ問題ハ六大都市ニ於テ關西ハ多ク關東ハ少クト云フ意味デ東京デハ一人六匁ト云フ制限ヲシタ、大體ニ於テ二割制限シタト云フコトノ表ヲ戴キマシタガ、併シナガラ私ハ之ニ付テ斯ウ云フコトヲ申上ゲル、此ノ消費ノ節約ト云フコトハ、大體ニ於テ大豆ヲ何程ノ全體的ニ消費ノ節約ヲスル目的デア、鹽、大麥、小麥ヲ何程節約スル目的デア、何故サウ云フコトヲ要求スルカト言ヘバ、私カラ見レバ味噌醬油ト云フモノハ寧ろ米ヨリモ必需品ト言ハネバナラヌ、味噌ノ配給ヲ制限シナケレバナラヌト云フコトニナルト國民生活上頗ル疑問ガアルト思フカラ、ドウシテモ節約シナケレバナラヌノナラ如何ナル方法ヲ以テモ大豆ヲ増産シナケレバナラヌ、ソレニハ或ル場合ニ於テハ陸稻ヤ煙草ノ生産ヲ減ラシテ大豆ダケハ作ツテ味噌醬油ダケハ完全ニ配給シタイト云フ考ヘガアルカラ私ハ伺フ、一日六匁一箇月百八十匁ト云フ表ヲ御示シナツタ、之ニ依ツテ何程ノ大豆ノ消費ヲ節約スル目的デア、カト云フコトガ書イテナイ、ソレガナクテハナラヌ、甚ダクドイヤウデアリマスガ、ドウゾ一ツ明日マデニ御調べ下サツテ是等ノ表ヲ御出シ願ヒタイ、若シ表ニスルコトガ出來ナイト云フ理由ガアルナラバ秘密會ナリ何ナリデ御話シ願ヒタイ

午後一時四十三分開議

○吉田委員 先ヅ第一ニ軍管理工場ノ従業員ニ付キマシテ殘業或ハ徹夜ナドニ從事シタ場合ニ特別ニ米麥其ノ他ノ増配ヲナシ、或ハ榮養補給トカ疲勞ノ回復等ニ對スル對策ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ軍當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、理由ハ申スマデモナク、事變後軍需産業ノ労働ガ非常ニ強化サレテ參リマシタコト、殊ニ大東亞戰爭ヲ完遂シマス爲ニハ今後一層ノ増産ト、隨テ労働力ノ強化ハ豫定サレテ居ルト思ヒマス、現ニ是等ノ業ニ從事致シテ居リマスモノハ、實際ハ普通ノ民間ノ一般工場ト違ヒマシテ、軍ノ特殊ナ、又作戰上等ノ要請ニ依ルノデセウ、或ハ約束ノ期間ガ短カク制限セラレマシタリ、普通ニ想像出來ナイ臨時ノ労働モアルノデゴザイマシテ是等ニ從事致シテ居リマス従業員ハ、全ク生命ヲ打込ンデ兵器等ノ製作ニ當ツテ居ルノデアリマス、而モ工場ニ依リマシテ、其ノ産業ノ種類ニ依リマシテハ可ナリ危険ガ伴フノデアリマス、而シテ徹夜等ヲ致シマスコトハ、現實ノ狀況トシマシテハ屢、ナノデアリマシテ、深夜作業ノ心身ヘノ影響疲勞等ハ申スマデモナイノデ

アリマス、同じ時間デモ晝ノ五時間ト夜半ノ五時間トデハ全ク想像モ及バス程大キナ違ヒ影響ガ心身ニ與ヘラレルノデゴザイマス、斯ウ云フ状態ノ下ニ優秀ナ兵器ヲ製作シ、或ハ負傷其ノ他ノ傷害ヲ避ケテ一刻モ早ク國家ノ要請、軍ノ要請ニ應ジヨウト致シマスル從業員ガ、現實ニ於キマシテハ一般勞務者ノ配給、所謂最高ハ四合デアリマス、サウ云フコトニナツテ居リマシテ、是デハ身體ヘノ影響、從ツテ勞働力ノ低下或ハ體位ノ低下或ハ作業能率ノ低下ヲ來スコトヲ非常ニ惧レルノデアリマス、兵庫縣ノ或ル軍需工場ノ從業員一万五千人ヲ調査シタ所ニ依リマス、其ノ中デ四合ノ配給ヲ受ケテ居ルモノハ二割五分シカナイノデアリマス、先年鐘紡ガ永年ノ研究ノ結果發表シタ所ニ依リマス、白米ニシマスレバ女工ノ一日ノ適量ハ四合二勺ト云フコトニナツテ居リマス、其ノ可否ハ別ト致シマシテ、國家ノ要請ニ應ズル此ノ軍工場ノ從業員ニ對シテ、此ノ際急速ニ特別ノ考慮ヲナスコトハ、嘗ニ全國幾百万ノ此ノ種從業員ノ問題タルダケデハアリマセヌ、軍ノ作戰上影響アリハシナイカト云フコトヲ私カニ憂慮シテ居ル次第デアリマス、御所見ヲ伺ヒマス

○保科政府委員 只今ノ御質問ハ非常ニ軍ニ對シテ御同情アル質問デアリマシテ厚ク御禮申上ガマス、實ハ今御所見ニ依リマシタ通り、海軍ニ於キマシテハ殊ニ産業方面ニ對シマシテ至大ノ關心ヲ持ツテ居ルバカリデナク、是ガ又作戰ニ非常ニ重要不可分ノ關係ヲ持ツテ居リマスノデ、其ノ從業員ニ對シテモ戰前ニ比較致シマシテ相當大キナ勞働ガ課カツテ居ルノデアリマス、隨テソ

レ等ニ對スル食糧ノ問題等ニ付キマシテハ前々カラソレノ關係ノ當局ト連絡ヲ執リマシテ、出來ルダケノ手段ヲ講ジテ居ルノデアリマス、何レニ致シマシテモ現在御承知ノヤウナ状況ニアリマスノデ、大體鑛山トカ其ノ他ノ重要關係ノ工場邊リト同様ニ重勞働ニ服スル者、或ハ輕勞働ニ服スル者等ニ分ケマシテ、適當ニ出來ルダケノ措置ヲソレゾレ關係省デ講ジテ貫ツテ居ルノデアリマスガ、縣當局等ニ依リマシテハ若干其ノ邊ノ取扱ヒガ違ツテ居ルト云フコトモ聞イテ居リマス、併シ現在ノ私達ノ承知シテ居リマス所デハ、出來ル限リノ處置ヲ取ツテ居ラレルヤウニ聞イテ居リマスガ、尙ホ此ノ上トモサウ云フヤウナ特別ナ勞務ニ服スル者ニ對シテハ出來ルダケ關係當局ト連絡ヲ執リマシテ適當ニ處置ヲ執ツテ戴キタイト斯ウ考ヘテ居リマス、現在私達聞イテ居ル所デハ足ラナイト云フコトハ聞イテ居リマスケレドモ、是ガ爲ニ非常ニ能率ノ低下スルト云フヤウナコトハ實情ハマダ承知シテ居リマセヌ、若シサウ云フヤウナ具體的事實デモ御承知デアリマシタナラバ御知ラセテ願ヒマシテ十分ニ手當ヲ講ジタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○吉田委員 兵備局長ハ出來ルダケノ手段ガ各府縣ノ官署ニ依ツテ講ゼラレテ居ルヤウニ仰シヤツテ居リマスガ、例ヘバ是ハ比較シテ宜イカ悪イカ分リマセヌケレドモ、此ノ際擧ゲテ見マシレバ、軍工廠ノ徵用者ハ五合五勺ノ配給ニナツテ居リマス、大體此ノ管理工場ハ軍徵用デアリマシテ其ノ比較ノ問題モアリマス、ソレガドウ云フ結果ニナルカト申シマス、時間内ハ大キナ工場デスト工場ノ出門ヲ大體許シマセヌ、夜

町ニ出マシテ、或ハ鮎ヲ食ツタリ、何カ外食ヲスルヤウナコトガアリマスケレドモ、是トテモ大體ハモウ八時以後ハ普通ハアリマセヌ、若シソレ以後ニ何カ食ハウト致シマスト料理ヨリナイノデアリマス、是ガ何處モ同様ノ實情デアリマス、デアリマスノデ勢ヒ間食費ガ増加致シマス、正常ノ補食ノ機會ガ非常ニ少ナイモノデアリマスカラ、勢ヒ良カラヌ飲酒ニ行ク危險ガアルノデアリマス、從來ハ良イ工場ニ於キマシテハ厚生施設トシテ相當食物ノ補給ガ考ヘラレテ居ツタノデアリマスケレドモ、最近ハ諸般ノ事情ガ之ヲ許サナクナツテ居ルノデアリマス、其ノ爲ニ現實ニハ青少年工ノ方面ヘノ影響ハ相當深刻ナモノガゴザイマス、一例トシテ大阪ノ少年審判所ノ昨年ノ取扱ヒ件數ハ四千五百人、少年犯トシテデナクシテ警察署ノ取調ヲ總計致シマスト内務省ニ於テハ十八万以上ニナル、是ハ殆ド軍管理工場トハ言ヒマセヌガ、軍需品生産ニ從事スル詰リ重工業方面ノ者ガ多イノデアリマス、平和産業ニ從事スル者ヨリモ多イノデアリマス、其ノ原因ヲ調べテ見マスト、或ハ「カフエ」或ハ小料亭或ハ遊廓、斯ウ云フ酒色ノ巷ニ出入スル青少年ガ此ノ莫大ニ審判所取扱ヒ事件數トナツテ居ルノデアリマス、是ハ表面ニハ大キナ工場カラハサウ云フ者ハ出マセヌ、ケレドモ一度サウ云フ嫌疑ガ掛リマスト直グ小サナ工場ニ移サレテシマヒマス、詰リ放逐サレテシマヒマス、此ノ二流、三流ニサウ云フ者ガ段々ト寄ツテ來ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、デアリマスノデ此ノ深夜作業ガ食物ノ不足カラ隨テ之ヲ得ル爲ニ良カラヌ色々ナ方法ガ墮落轉落ノ機會ヲ與ヘテ居ルト云フコトハ影ニ

隱レタ大キナ事實デアリマス、勿論其ノ原因トシテハ更ニ賃金ノ圍等ノ問題モナイデハゴザイマス、ゴザイマス、ゴザイマス、然ルベキ機會ニ適當ニ食糧ガ與ヘラレテナイト云フコトニ相當胚胎シテ居ルノデハ、ナイカト疑ヒ得ルノデアリマス、現ニ左様ナ聲ガ起ラントスル危險ガゴザイマス、今日重要ナル戰爭遂行ノサナカニ於テ聊カデモサウ云フ聲ガ聞エルト云フコトニナリマシタラ不平ノ形ニナル危險ガゴザイマス、尤モ産業報國會、其ノ他ノ色ナ訓練乃至ハ從業者自身ノ自覺ニ依リマシテ、先ニ申シマシタケレドモ現場デハ全ク御奉公ノ氣持デ是等ニ就業シテ居ルノデゴザイマスケレドモ、食糧ノ不平ト云フヤウナコトガ若シ表面化スルヤウナコトガゴザイマシタナラバ是ハ大變タト思ヒマス、尤モ能率ノ低下ナドノナイコトハ今日勿論デゴザイマセウ、ゴザイマセウケレドモ體位ガ低下シテ精神力、思想等ニモ影響シ隨テ勞働力ガ低下シテ、ソレデ尙ホ深夜業モ完全ニ能率低下ナシニ立派ニシテ遂ゲルト云フコトハ物理上考ヘマシテモ不可能デハナイカト考ヘマス、斯ウ云フ點モ考慮致シマシテ適當ニ對策ハ講ゼラルベキデハナイカ、同時ニ又是ハ壯丁ノ體位ノ低下ト云フコトニモ關聯ヲ持ツテ居リマスノデ、尙ホ此ノ事實ヲ御參考ニ軍當局ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○保科政府委員 今ノ御意見有難ク頂戴致シマス、出來ルダケノ手段ヲ取ツテ能率ノ低下ヲ來サナイヤウニシナクチャナラヌコトハ當然ノコトデアリマス、サウ云フヤウナ實情ガゴザイマスレバ當然農林當局等ト連絡ヲ取りマシテ、サウシテ能率ノ低下ヲ來サナイヤウニ出來ルダケ全般モ睨合セマシ

テ、處置ヲ講ジテ貰フヤウニ考ヘテ居リマス、何レサウ云ツタヤウナ全般ノコトニ關シテハ農林當局カラ然ルベキ御發言ガアルカトモ存ジマス

○湯河政府委員 只今御質問ノ點ニ付キマシテ海軍カラノ御話ガ出マシタノニ附加ヘマシテ私カラ申上ゲテ置キマス、軍管理工場ノ從業員ガ此ノ戰時ニ於テ特ニ必要ナ、重要ナ、又非常ニ重課サレタ勞務ニ服シテ居ラレル事情ハ、私共ハ能ク知ツテ居リマス、只今モ御話ノゴザイマシタヤウニ、出來ルダケノコトヲ農林省トシテモヤツテ來テ居リマス、米ノ配給量ノ足りマセヌ時ニハ、其ノ他ノ食糧ヲ以テ補ヒテ居ルコト云フコトモヤツタコトガゴザイマス、尙ホ今後トモ此ノ點ニ付テハ十分ニ吾々トシテハ考ヘタイト思ヒマス、實ハ今陸海軍ノ御當局ト寄りノ御相談中デアリマス、御質疑ノ點等ガ非常ニ大事ナコトダト思ヒマスノデ、今後一ツ出來ルダケ氣ヲ付ケテ參リタイト思ヒマス

○吉田委員 大臣ハオイデニナリマセヌカ
○三善委員 只今豫算總會ニ行ツテ居リマス

○吉田委員 ソレデハ大臣ニ對スル質問ヲ後ニ廻シマシテ、少シク農林當局ノ御意見ヲ伺ヒマス、過日來増産對策ニ對シテ再檢討ガ論議ノ中心ヲ成シテ居ツタヤウデアリマス、私ハ多クノ委員諸君ト同ジヤウナ觀想ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ際重複ヲ避ケマシテ、聊カ別ノ觀點カラ少シク生産條件ニ付テ質シテ見タイト思フノデアリマス、ソレハ一ツハ努力ノ問題デアリマス、努力ニ付テハ少シク減少シテ居ルコトハ公知ノコトデゴザイマス、此ノ際問題ニ

スベキハ質ノ低下ノ問題デアアルノデアリマス、努力ニ付テ免モスルト質ガ輕視サレル嫌ヒガナイデハアリマセヌ、是ガ年齡ニ於テ或ハ性別ニ於テ、乃至ハ體位ニ於テ何レモ相當嚴密ニ檢討シテ行クト云フコトガ、一面生産ノ努力トシテ大事デアアルノミナラズ、農村其ノモノノ根本ニ關聯ヲ持ツタ重要性質アラウト存ジマス、今日田舎ヲ歩イテ見マシテモ、全ク老人、婦人ノミニ依ツテ耕サレテ居ル事實ヲ見、或ハ又結核患者ガ隨分澤山ニ農村ニ歸リマス事實ナドヲ見マシテ、實ニ憂慮ニ堪ヘナイモノガゴザイマス、ソコデ特ニ色々ナ施設ヲナサツテ居ルカトモ思ヒマスノデ、此ノ質ノ低下ヲ防止スル乃至ハ質ヲ何トカ現狀ヨリモ向上セシムル、是ハ他ノ畜類或ハ機械力ニ依ル努力ノ補給問題等ニ拘ラズ大事ト思ヒマスノデ、此ノ質ガ低下シツアル事實ト是ガ重要デアリマスコトハ、是ガ施策ニ付テドウナサツテ居ルカ伺ツテ見タイノデアリマス

○三善委員 先程カラ催促シテ居リマスカラ、成ベク早く……

○吉田委員 ソレデハ食品局カ管理局、何レデモ宜イノデアリマスガ、管理法ノ運營ニ付キマシテ少シ尋ネテ見マス、生鮮食品ニ付テ全國ヲ調査シテ居リマセヌノデ、私ノ立論ノ基礎ガ一部ニ偏シテ居ルカモ分リマセヌガ、兵庫縣ニ於ケル生鮮食品ノ配給ノ狀況ニ付テ斯ウ云フ事實ガ指摘サレルノデアリマス、鮮魚ニ付テ五貫目以内ハ自由ニ買付ガ出來ルノデゴザイマス、是ハ今度ノ食糧管理法

ノ食糧營團ノ運營上禁止乃至生産者ノ立場ヲ考慮シテ適當ニ制限ヲ加ヘル意思ガアルカナイカ、又サウスルコトガ必要ト思料サレナイカドウカ、其ノ理由トスル所ハ、魚ノ如キハ普通營養價ノ如何ニ拘ラズ、嗜好品トシテ珍重サレルモノガ隨分アリマスコトト、入荷ノ豫測等ノ困難ノ事情モ伴ヒマシテ、生産者カラ直接ニ五貫目以内ヲ買出シニ行クト云フノカ、沿岸漁業ニ付テ隨分莫大ナ量ニ上ルト推定サレルノデアリマス、デアリマスカラ中央卸賣市場ノ方ニ生産者ノ方カラ入ツテ來ル前ニ、既ニ他ニ流レテシマツテ居ルト云フ事實、更ニ小賣商組合カラ家庭用業務用ト分類シテ流シテ行クノデアリマスガ、是ガ又直接ニ料亭等、サウ云フ種類ノ業者ヘ殆ド優先的ニ取ラレテシマツテ居ルノデアリマス、其ノ結果ガドウカト言ヒマス、有力ナル料亭ニ新鮮ナル魚ガ氾濫スル、其處ニハ酒モアレバ米モアル、旨イ山海ノ珍味ガアルト云フノデ、物ヲ持ツテ居ル人ハ殺到シテ行ク、斯ウ云フ結果ヲ來シマスノデ、サナキダニ水産漁獲高ガ諸種ノ事情ニ依ツテ減少シテ居ル現狀ニ於キマシテ、斯ウ云フ風ニ流シテ行キマスコトハ愈々家庭配給ガ減少カハシイコトト存スルノデアリマス、當ニ經濟上ノ問題ダケデナク、斯ウ云フコトガ農村ニ對シテハ鑑トカ其ノ他ノ値ノ安イ營養價ノ高イモノガ出來ルダケ入ルコトヲ望ムデ居ルニ拘ラズ、サウ云フモノスラ此ノ波ヲ喰ツテ來ナイト云フ現狀ニアルノデゴザイマス、就キマシテハ左様ナ自由買付ニ付テ今後營團ノ運營上相當禁止力制限スルコトガ適切デナイカト思フノデアリマスガ、如何デゴザイマセウカ

○川島委員 一寸關聯シテ……答辯ノ時一緒ニシテ戴イタ方ガ宜イ點ガアリマスカラ御許シ願ヒタイ、今ノ御質問ノ中ニ營團ノ運營ト云フコトガアツタト思フガ、生鮮食料品ハ營團デ御扱ヒニナルノデスカドウデスカ、勅令案要綱ガ出テ居リマスガ、分ラヌ點ガ少シアルノデス、其ノ第二條關係「本條ニ於テ主要食糧トハ米麥ノ外、一、小麥粉及其ノ加工品、二、甘藷、馬鈴薯、及其ノ粉又ハ澱粉、三、其ノ他農林大臣ノ指定スル食糧(雜穀等)トスルコト」、此ノ三ツニ當嵌マルノカドウカ、此ノ營團デ管理スル範圍ヲハツキリシテ置イテ載クト、隨テ御質問ノ趣意モ違ツテ來ルダラウト思ヒマスカラ、此ノ點ヲ供セテ御答辯願ツテ置キマス

○辻政府委員 食糧管理營團デ取扱ヒマス物資ノ範圍デゴザイマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ食糧管理局長官ガ御答辯申上ゲマシタ通り、差當リ所謂生鮮食料品ノ如キハ取扱ヒノ對象ト致サナイ方針デヤツテ居ルノデアリマス、先程御質問ノ鮮魚ノ配給ニ關スル問題デゴザイマスガ、鮮魚ニ付キマシテハ御承知ノ通り昨年來鮮魚介配給統制規則ニ依ツテ產地カラノ出荷ト都會ニ於ケル荷受ノ統制ヲヤツテ居ルノデ、御指摘ニゴザイマスヤウニ神戶等ニ於キマシテハ中央卸賣市場ヲ中心トスル荷受統制機關ニ統制出荷スル、其ノ機關デ以テ一旦纏メテ荷受ヲ致シマシテ、ソレヲ業務用、家庭用ニ先ヅ分ケマシテ、家庭用ハ小賣商組合ヲ通ジテ各家庭ニ配給スルト云フ仕組デヤツテ居リマスガ、只今モ御話ノ通り五貫目以内ノ極ク少量ノモノニ付キマシテハ、除外例ヲ認メルト云フコトニ法規ノ規定ガ相成ツテ居リマスルガ、最近ノ實情ニ照シマス

○吉田委員 先程カラ催促シテ居リマスカラ、成ベク早く……

○三善委員 先程カラ催促シテ居リマスカラ、成ベク早く……

○吉田委員 ソレデハ食品局カ管理局、何レデモ宜イノデアリマスガ、管理法ノ運營ニ付キマシテ少シ尋ネテ見マス、生鮮食品ニ付テ全國ヲ調査シテ居リマセヌノデ、私ノ立論ノ基礎ガ一部ニ偏シテ居ルカモ分リマセヌガ、兵庫縣ニ於ケル生鮮食品ノ配給ノ狀況ニ付テ斯ウ云フ事實ガ指摘サレルノデアリマス、鮮魚ニ付テ五貫目以内ハ自由ニ買付ガ出來ルノデゴザイマス、是ハ今度ノ食糧管理法

ノ食糧營團ノ運營上禁止乃至生産者ノ立場ヲ考慮シテ適當ニ制限ヲ加ヘル意思ガアルカナイカ、又サウスルコトガ必要ト思料サレナイカドウカ、其ノ理由トスル所ハ、魚ノ如キハ普通營養價ノ如何ニ拘ラズ、嗜好品トシテ珍重サレルモノガ隨分アリマスコトト、入荷ノ豫測等ノ困難ノ事情モ伴ヒマシテ、生産者カラ直接ニ五貫目以内ヲ買出シニ行クト云フノカ、沿岸漁業ニ付テ隨分莫大ナ量ニ上ルト推定サレルノデアリマス、デアリマスカラ中央卸賣市場ノ方ニ生産者ノ方カラ入ツテ來ル前ニ、既ニ他ニ流レテシマツテ居ルト云フ事實、更ニ小賣商組合カラ家庭用業務用ト分類シテ流シテ行クノデアリマスガ、是ガ又直接ニ料亭等、サウ云フ種類ノ業者ヘ殆ド優先的ニ取ラレテシマツテ居ルノデアリマス、其ノ結果ガドウカト言ヒマス、有力ナル料亭ニ新鮮ナル魚ガ氾濫スル、其處ニハ酒モアレバ米モアル、旨イ山海ノ珍味ガアルト云フノデ、物ヲ持ツテ居ル人ハ殺到シテ行ク、斯ウ云フ結果ヲ來シマスノデ、サナキダニ水産漁獲高ガ諸種ノ事情ニ依ツテ減少シテ居ル現狀ニ於キマシテ、斯ウ云フ風ニ流シテ行キマスコトハ愈々家庭配給ガ減少カハシイコトト存スルノデアリマス、當ニ經濟上ノ問題ダケデナク、斯ウ云フコトガ農村ニ對シテハ鑑トカ其ノ他ノ値ノ安イ營養價ノ高イモノガ出來ルダケ入ルコトヲ望ムデ居ルニ拘ラズ、サウ云フモノスラ此ノ波ヲ喰ツテ來ナイト云フ現狀ニアルノデゴザイマス、就キマシテハ左様ナ自由買付ニ付テ今後營團ノ運營上相當禁止力制限スルコトガ適切デナイカト思フノデアリマスガ、如何デゴザイマセウカ

○川島委員 一寸關聯シテ……答辯ノ時一緒ニシテ戴イタ方ガ宜イ點ガアリマスカラ御許シ願ヒタイ、今ノ御質問ノ中ニ營團ノ運營ト云フコトガアツタト思フガ、生鮮食料品ハ營團デ御扱ヒニナルノデスカドウデスカ、勅令案要綱ガ出テ居リマスガ、分ラヌ點ガ少シアルノデス、其ノ第二條關係「本條ニ於テ主要食糧トハ米麥ノ外、一、小麥粉及其ノ加工品、二、甘藷、馬鈴薯、及其ノ粉又ハ澱粉、三、其ノ他農林大臣ノ指定スル食糧(雜穀等)トスルコト」、此ノ三ツニ當嵌マルノカドウカ、此ノ營團デ管理スル範圍ヲハツキリシテ置イテ載クト、隨テ御質問ノ趣意モ違ツテ來ルダラウト思ヒマスカラ、此ノ點ヲ供セテ御答辯願ツテ置キマス

○辻政府委員 食糧管理營團デ取扱ヒマス物資ノ範圍デゴザイマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ食糧管理局長官ガ御答辯申上ゲマシタ通り、差當リ所謂生鮮食料品ノ如キハ取扱ヒノ對象ト致サナイ方針デヤツテ居ルノデアリマス、先程御質問ノ鮮魚ノ配給ニ關スル問題デゴザイマスガ、鮮魚ニ付キマシテハ御承知ノ通り昨年來鮮魚介配給統制規則ニ依ツテ產地カラノ出荷ト都會ニ於ケル荷受ノ統制ヲヤツテ居ルノデ、御指摘ニゴザイマスヤウニ神戶等ニ於キマシテハ中央卸賣市場ヲ中心トスル荷受統制機關ニ統制出荷スル、其ノ機關デ以テ一旦纏メテ荷受ヲ致シマシテ、ソレヲ業務用、家庭用ニ先ヅ分ケマシテ、家庭用ハ小賣商組合ヲ通ジテ各家庭ニ配給スルト云フ仕組デヤツテ居リマスガ、只今モ御話ノ通り五貫目以内ノ極ク少量ノモノニ付キマシテハ、除外例ヲ認メルト云フコトニ法規ノ規定ガ相成ツテ居リマスルガ、最近ノ實情ニ照シマス

ト、此ノ五貫目以内ノ除外例ニ依リ色々産地ヘノ直接買出シノ關係ガ各地トモ非常ニ旺盛ニ相成ツテ參ツテ居ル、其ノ間色々情弊モ場合ニ依ツテハ起ツテ居ルヤウデゴザイマスシ、全體ノ計畫的ノ配給ト云フ上カラ見テ如何カト思ハレル點モアルヤウニ吾々モ感ジテ居リマス、唯之ヲ直チニ、極メテ少イ數量ノ魚デモ絶對ニ除外例ヲ認メナイト云フコトニスルコトガ適當カドウカト云フ點ニ付テモ、尙ホ考ヘナケレバナラナイ點モゴザイマスノデ、彼此色々事情ヲ綜合致シマシテ、五貫目以内ノ除外規定ヲ更ニ制限スベキカドウカト云フ點ニ付キマシテハ、目下慎重ニ考究致シテ居ル次第デゴザイマス

○吉田委員 今ノ事實ハ各地共非常ニ旺盛ノヤウデマス、モウ少シ端的ニ申セバ、大阪ヘハ和歌山縣モ兵庫縣モ殆ド攪ツテ行カレルヤウナ狀況デアアルコトヲ御參考ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、營團ノ運營ニ付キマシテ、末端ノ配給ハ綜合配給所、綜合的ニ各種ノ食糧ヲ一箇所ニ於テ配給スル、斯ウ云フコトニナサツタラ如何カト思フノデアリマスガ、御伺ヒシタイノデアリマス、ソレハ現在ノ狀況ニ依リマスルト、是モ所ニ依ツテ區々デアリマスケレドモ、例ヘバ牛肉屋サシハ牛肉ヲ買ヒニ行クノ、一里以上モ距離ノアル所ヘ買ヒニ行ク、斯ウ云フヤウナ不便サモ實際ニ於テハ至ル處ニアアルノデゴザイマス、又單ニ例ヘバ其ノ牛肉屋ニ取ツテ見マス、一日働イテ四日間ハ遊シデ居ルト云フ現狀ニアリマス、此ノ残り四日ノ勞力ヲ綜合配給所ノ方ヘ協力スルト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、勞力ヲ節約スル上ニ於テモ非常ニ宜イノデハナイ

カ、斯ウ思ハレルノデアリマス、ソレカラ更ニ在來ノ例ヘバ私設市場或ハ公設市場、或ハ消費者ノ購買組合、乃至ハ百貨店、商店街、斯ウ云フヤウナモノニ付キマシテ、是ハ廢止ノ傾向ニアルノデセウカ、或ハ是モ可能ナ範圍デ存續セシメ、或ハ其ノ設備ナリ技術ナリ、經驗ナリ、サウ云フ長所ヲ取入レマシテ、末端配給ノ機關ニ參加セシメル、斯ウ云フ風ニスルノガ宜イノデハナイカト思フノデアリマスガ、御所見ヲ伺ヒマス

○湯河政府委員 吉田サンノ只今ノ御質問ハ、或ハ食品局長ノ御所管ノ方ニ觸レテ居ルト存ジマスガ、併シ御審議ノ御參考ノ爲ニ、此ノ營團ノ趣旨ヲ簡單ニ申上ゲテ置キマス、先程川島サンカラモ御尋ネガゴザイマシタガ、食品局長カラ御答ヘガゴザイマシタヤウニ、生鮮食料品ハ此ノ主要食糧ノ中ニ入レテナイノデアリマス、第二條關係ノ勅令ノ要綱ヲ御手許ニ差上ゲテゴザイマスノニ例示ガゴザイマスガ、ソレデ御諒察願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ末端配給所ノ問題デゴザイマスガ、是モ今マデ色々御説明申上ゲマシタヤウニ、府縣々々ニ依リマシテ事情ガ違ヒマスノデ、吾々ノ方デ一律ニ今日考ヘテ居リマセヌ、綜合配給ト云フコトハ、要スルニ府縣營團ニ於キマシテ、配給スベキ物資ヲ一應計畫ヲ與ヘルノデゴザイマス、其處ニ於キマシテ綜合致シマシテ、ソレカラ各市町村等ノ配給ハ、東京デ申シマスレバ交番所單位ニ作ツテゴザイマスル現在ノ配給デ參リマス、併シ地方ニ依リマシテハ必ズシモサウ行キ得ナイ所モゴザイマセウト思ヒマス、殊ニ東京等ニ於キマシテモ、消費組合ヲ以テ配給所ニ當テル

方ガ便宜ナ所ハ、無論其ノ仕組ヲ存シテ參リマシテ、純農村ノ購買組合等モ之ヲ存置シテ行クト云フコトモ前々申上ゲテ居ル通りデアリマス、私設市場、公設市場、百貨店等ハ此ノ主要食糧ノ配給ニハ先ツ關係ナイモノト思ツテ居リマス

○吉田委員 今ノ第二條ノ主要食糧ノ範圍ニ付テデアリマスガ、關聯シテ一應御尋ネシテ置キマス、生鮮魚類ハ入ラスト致シマシテ、例ヘバ鹽干魚、冷凍魚或ハ罐詰品トカ、其ノ他ノモノト致シマシテハ梅干、味噌、醬油、油、サウ云フヤウナモノハドウナノデスカ

○湯河政府委員 此ノ主要食糧ノ問題ハ、平野委員カラ御尋ネガゴザイマシタ時ニモ申上ゲタノデゴザイマスガ、大體澱粉質食糧デ、現在食糧管理局デ御扱ヒ致シテ居リマスル食糧ノ範圍ヲ只今ノ實情ニ於キマシテハ擴ゲナイ積リナノデゴザイマス、ソレデ大體此處ニゴザイマスルヤウニ米、麥、甘藷、馬鈴薯、小麥粉加工品其ノ他雜穀、是ハ全體ヲ買キマシテ米及ビ其ノ代替品ト云フコトニナツテ居ルノテゴザイマシテ、副食物等ニモ味噌、醬油或ハ大豆等ノ非常ニ大事ナモノモゴザイマスガ、是ハ經濟關係等ガ米及ビ其ノ代替品ト非常ニ違ツテ居リマスノデ、食糧管理法デ管理致シテ參リマスルコトガ經濟事情上困難ナコトガ多イノデヤナイカト思ツテ除外シテ居リマス

○湯河政府委員 此ノ評議員ニ付キマシテハ、大體只今吉田サンノ仰シヤイマシタヤウナ方面ヲ十分考慮致シマシテ人選致シタイト思ヒマス、唯餘リ評議員ノ數ヲ多ク致スコトモ如何カト思ヒマスノデ、其ノ點ハ實行上十分考慮致シタイト思ヒマス

○吉田委員 只今農村當局デ見エテ居リマス方ハ……

○三善委員 今農林次官ガ南方ノ委員會ニ於テ答辯中デアルサウデゴザイマスノデ、才見エニナリマセヌ、農政局長ハ今才出掛ケニナツテ居リマシテマダ此處ニ才見エニナツテ居リマセヌ、其ノ方面ノ質問デゴザイマシタラ、保留セラレテ他ニ御譲リ下サツテハ如何デスカ

○吉田委員 水産局長ハ見エマセヌ

○三善委員 水産局長ハ見エマセヌ

○吉田委員 進行上尋ネマスガ、食品局長ハ水産ニ付テハ關係ナイノデゴザイマセウカ

○辻政府委員 鮮魚類、鹽干類等ノ配給ニ關シマスルコトニ付キマシテハ、食品局長ガ關與致シテ居リマス

○吉田委員 ソレデハ一ツ其ノ方デ伺ヒマスガ、勞力ノ質的低下ヲ防止スル對策トシテ、モウ少シ根本的ニ農民ノ榮養ニ付テ考慮スル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、之ニ付キマシテ實ハ近年農村デハ蜆、田螺、泥鰌、諸子サウ云フ小サナ溝等ニ於ケル小サナ魚介類ガ殆ド見受ケラレナカツタノデハナイカト思フノデアリマス、老人ノ

話ニ依ルトソレ等ノモノハ昔ハ隨分才菜ニサレタト云ツテ居ルノデアリマスガ、近頃田舎ニ參ツテモ一向サウ云フ御馳走ニ預カ

ルコトガナイノデアリマス、其ノ原因トスル所ハ恐ラクハ硫酸肥料ノ爲ニサウ云フ小魚介類ガ棲息出來ナクナリツツアルノデハ

ナイカト思ヒマス、施肥ノ重要性ニ鑑ミマシテ已ムヲ得ザルコトモ存ジマスガ、併シ一面又何カ之ニ對スル方法ガゴザイマス

ナラバ、是等ノ泥鰌、田螺ナドガ脂肪、蛋白質ノ素ニナルモノデゴザイマシテ、田舎ノ子弟ノ榮養補給ノ上ニ實ニ有力ナ食品タルコトハ疑ヒナイノデアリマスカラ、何カ其ノ

點ニ付テ對策ガ考慮サレナイモノデアリマセウカ

テ居ルノデアリマス、又一方鹽干類ニ付キマシテモ、例ヘバ北洋產ノ鹽鱈鱒ノ如キハ全國的ニ計畫出荷、計畫配給ノ方法ヲ立テ

マシテ、出來ルダケ地方農村ニ至リマスノデ少イナガラ公平ニ行渡ルヤウニト云フ方法ヲ執ツテ參リマシタ、又從來多ク手ヲ着

ケテ居ラレナカツタ所ノ其ノ他ノ鹽干類ニ付キマシテモ、最近其ノ關係ノ方面ノ規則ヲ作リマシテ、是亦種類別ニ全國的ノ配給

統制ヲ致サウト云フ段取デ進ンデ參ツテ居ルノデ、大體サウ云フ方向ニ向ツテ努力致シテ居ル次第デアリマス

ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

○吉田委員 今ノ御答ヘハ私ノ質問ニ對スル御答ヘニナラヌノデアリマス、私ハ農村

自ラガ此ノ種ノ脂肪、蛋白質ヲ攝取シ得ル施設ガ簡單ニナシ得ルカラ、ソレニ手ヲ御

染メニナツテハ如何カト斯ウ申上ゲタノデアリマスガ、ソレハソレデ止メテ置キマス

次ニ食糧管理局長ニ御伺ヒ致シマス、玄米ノ配給ヲ希望スル向キニ對シマシテハ、出來ル限り裕トリノアル方法デ玄米ノ配給ヲ

シテハ如何、斯ウ思フノデアリマス、之ニ對スル御考ヘハ如何デアリマスカ、之ヲ申

シマス所以ノモノハ、玄米ノ消化ガ宜イカ悪イカ、乃至ハ玄米ガ正食デアツテ、無病ノ

因デアアルヤ否ヤト云フ問題ハ此ノ際論議致シマセヌ、唯併シ其ノ動機ニ於キマシテ自ラ乃至ハ家族ノ保健ノ爲ニ、又節米ノ目的ノ

爲メ一人前二合デ一日ノ食糧ガ足リル、斯ウ云フ主張ヲ以テマシテ玄米ノ配給ヲ希望

スル者ガ近來漸ク殖エツツアルノデゴザイマス、所ガ之ニ對シマシテ中々ニ地方ノ各

府縣當局ハ適當ニ考慮シテ居ラヌト云フノガ實情デアリマス、斯ウ云フ要望ノ事情ト

若シソレガ保健ノ目的ヲ達シ、或ハ又部分的ニシロ節米ノ目的ヲ達スルト云フナラバ、之

ヲ拒ム根據ハ非常ニ弱イノデハナイカト思

フノデアリマスカラ、積極的ニ是等ノ希望者ニ對シマシテ玄米ヲ配給スルト云フ方法ニ

出テハ如何、斯ウ思フノデアリマス

○湯河政府委員 玄米ヲ常食トスルト云フ希望ニ對シマシテハ、實ハ大體各地方デ御

要求ニ應ズルヤウナ置處ヲ執ツテ居ルコト

ト信ジテ居リマス、唯如何セン白米、玄米、七分搗ト色々ゴザイマスノデ、之ヲ消費者

ノ希望ニ應ジマスヤウニ取揃ヘテ準備ヲシ

テ置キマス餘裕ガゴザイマセヌノデ、只今ノ所デハ一家族ガ擧ツテ玄米ヲ常食トスルト

云フコトガハツキリ決マツテ居ツテ、白米

ヤ、七分搗ノ米ヲ擧ラナイト云フコトノ決

マリマシタ家庭ニハ、玄米ヲ御配リスルコ

トニ大體各地方ノ取扱ガ決マツテ來テ居ル

ノデアリマス、何ゾ地方ニ依リマシテ、マダ

ソコマデ行ツテ居リマセヌ所ガゴザイマス

トスレバ、ソレハ能ク其ノ地方廳ト御相談

ヲ戴キマシテ、其ノ問題ガ適當ニ解決サレ

ルコトト信ジテ居リマス

○吉田委員 今ノ問題ハ大阪ニモアツタノ

デアリマスガ、管理局長官ニ於キマシテ、

玄米ノ配給ヲナスベキ趣旨ニナツテ居ルト

云フ仰セデゴザイマスカラ、ソレハ一應感

謝致シテ置キマス、ソレカラ……

○三善委員長 ドウデス、アナタノ質問ハ

後カラ政府委員ガ御見エニナツテカラニセ

ラレテハ如何デアリマスカ

○吉田委員 ソレデハバラ／＼ニナリマス

ノデ左様致シマス

○森田(重)委員 議事進行ニ付テ——一體

本委員會ハ農林省ノ極メテ重大ナル問題デ

アルコトハモウ分リ切ツタコトナノデアリ

マス、然ルニ此處デ斯ウヤツテ問答ヲ交シ

テ居ルノハ唯此ノ法案ヲドウスルト云フコ

トダケデハナクシテ、ソコニオ互ヒ意見交

換ヲシテ居ル中ニ、農林省ノ首腦部ニ一體

地方ノ實情ガドウデアアルカト云フコトヲ具

申スル意味ヲ含ムモノダト思フ、ダカラド

ウシテモ農政局長或ハ次官、大臣ハ必ズ此

處ニオイデニナルト云ツタヤウナ形ヲ取ツ

テ賞ヒタイト私ハ思フノデアリマス、幸ヒ

只今農政局長ハ御見エニナリマシタガ、ド

ウカ委員長ニ於カレテハ特ニ其ノ點ヲ宜シ

ク

ク

ク

ク御取計ラヒテ願ヒタイ
○三善委員長 承知シマシタ、成ベク御希望ノ通りニ政府ノ出席ヲ求メルコトニ致シマス——坂下仙一郎君

○坂下委員 午前中ニ山田君ノ質問ニ對シテ農林大臣ハ、本年度ノ目標七千万石ハ杜撰ナ計畫デハナイ、凡ニル技術ヲ集メテ研究シタモノデアラカラ、決シテ杜撰ナ考ヘヤ計畫ニ基イテ目標デハナイト云フ御答辯デアリマシタケレドモ、私ハ是ハ大變ナ間違ヒダト考ヘテ居ル者デアリマス、科學ヲ動員シタトカ、技術ヲ動員シタトカ言ヒマシテモ、ソレハ恐ラク専門的ニ研究サレタ結果デアリマシテ、現在ノ農家ニ適合シタ考ヘ方デハナク、農家ノ綜合的經濟ヲ無視シタ所謂現在ノ多數ノ農家ノ經濟ニ當嵌ラナイ計畫デハナイカト私ハ考ヘル者デアリマス、七千万石ハオロカ、事ニ依ツタラ昨年ノ五千五百万石ヨリモ低下シテ、或ハ五千万石位ニ減少スルノデハナイカト云フ位ニ私ハ考ヘテ、非常ニ心配シテ居ル者デアリマス、何トナレバ私ハ永イ間農家人トシテ農業ノ第一線ニ立ツテ農民ト共ニ働イテ居ル者デアリマスガ、十六年度程國ヲ擧ゲテ増産ハ努メタ時デアリマセヌ、政府ニ於キマシテモ一石五圓ノ獎勵金ヲ出ス、或ハ銘柄格差ノ整備ニ依ツテ値上ガラシタ、又食糧増産ノ爲ニ一町村ニ大體一人當リノ技術員ヲ増シタ、或ハ篤農家推進隊ヲ總動員シテ増産ニ努メサシタ、斯ウ云フヤウナ所マデ政府ガ増産獎勵ニ努メタコトハアリマセヌ、又農民ト致シマシテモ、採算ヲ離レテ政府ノ誠意ニ感激シテ、涙グマシイ努力ヲ續ケテ參ツタデアリマス、私共ハ長イ間農村ニアリマスケレドモ、是レ程ノコ

トヲヤツタコトハ一度モゴザイマセヌ、然ルニ七千万石ノ目標ハ、昨年ノ結果ハ五千五百万石デアツタ、農林大臣ハ六月頃ノ天候ガ悪カツタカラト申シマスケレドモ、ソレハ六月頃ノ天候ノ悪カツタコトモ一ツノ原因ニハ違ヒアリマセヌガ、私ハ大體ニ於テ支那事變ガ始マリマシテカラ肥料事情ガ殊ニ悪ク、連年肥料ノ供給ガ圓滑デナカツタ結果、地力ノ消耗ニ依ル原因ガ最大ナモノデアルト考ヘルノデアリマス、若シモ私ノ考ヘル通り地力ガ消耗シタ結果昨年程大馬力ヲ掛ケタ増産運動モ效ヲ奏サズシテ五千五百万石デアツタトシマスケレバ、肥料事情ガ變ラナイ限り十七年度ノ七千万石モ、是ハ絕對ニ期待シ得ラレナイモノデアツテ、私ノ心配致シマス五千五百万石ニナルノデハナイカト思フノデアリマス、併シ政府ニ於テ此ノ肥料事情ヲ緩和サレル何等カ特別ノ考案ガアレバ別問題ト致シマシテ、連日ノ質疑應答ニ鑑ミマシテ、恐ラク肥料ハ現在以上ニ供給困難ダト思ハレルノデアリマス、唯一ツ有畜農業ノ獎勵トカ或ハ無畜農業ノ絶減トカ云フ方面ニ馬力ヲ掛ケテ、サウシテ堆肥厩肥ト云ツタヤウナ自給肥料ニ俟ツテ地力ヲ回復サセルト云フ方法ガアルノミデハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ一ツト致シマシテモ企畫院ノ物動計畫ニ依リマス、小動物、鶏ノ飼料ニ付テハ半減サレテ居ルノデアツテ、僅カニ大動物ノ飼料ガ現状ヲ維持スルダケデアアル、是デハ有畜農業ノ獎勵トカ、無畜農業ヲ無クセトカ言ヒマシタ所デ、飼料無シニハ逆モ畜産ノ獎勵ハ出來ナイノデアリマス、一體是ハドウ云フ風ニ政府トシテハ御考ヘニナツテ居ルノカ、斯ウ云フ飼料事情

デモ有畜農業ノ獎勵ガ可能ダト考ヘテ居レルノデアアルカ、或ハ又飼料ニ付テ何等カ特別ノ御考ヘガアリマスノカ、此ノ點ヲ先ヅ一點伺ツテ置キタイト思ヒマス
○岸政府委員 或ハ私ガ御答ヘスル筋デナイカモ知レマセヌガ、御尋ネノ點ハ現在ノ飼料事情デ有畜農業ノ普及ガ出來ルカト云フ點ニ歸着シテ居ルト思ヒマス、成程飼料事情ガ困難ナコトハ御示シノ通りデアリマス、有畜農業ト雖モ各種ノ家畜ガアルノデアリマスカラ、或ハ鶏ノ代リニ兔ヲ飼フト云フ手モアリマスシ、兔ノ代リニ綿羊ヲ飼フト云フ手モアル、吾々トシテハ有畜農業ハ斯ウ云フ事態ニ於テハ所謂粗飼料ヲ利用スル方面ヘ伸バシテ行クコトガ必要ダラウト思フ、勿論將來飼料ノユトリガ付イテ來レバ鶏モ大イニ殖ヤシテモ宜シイノデアリマスケレドモ、現在ノ事情ハソレガ申々伸ビナイト云フヤウナコトノ關係カラ、或ル程度鶏ヲ抑ヘテ他ノ方面ノ家畜ガ伸ビテ行ケルヤウニ致シテ居リマス、例ヘテ見マスケレバ、先日來オ話申上ゲテ居ル牛等ニ付キマシテハ、是ハ「サイロ」ヲ中心トシテ飼フコトニ依ツテ飼ツテ行ケマスノデ、斯ウ云フ時局下ニ際シテモ其ノ數ガ非常ニ殖エテ居ル、綿羊モ殖エテ居リ、山羊モ殖エテ居リマス、斯ウ云ツタヤウナモノヲ殖ヤシテ行ツテ自給肥料ヲ殖ヤシテ行クト云フヤウニ考ヘマスレバ、飼料ノ内容ニ依ツテ其ノ對象トナル動物ハ違ツテ來マスケレドモ、有畜農業トシテハ伸ビテ行クト考ヘテ居リマス、鶏ニ付テハ甚ダ御氣ノ毒ナ状態デアリマスケレドモ、現在ノ情勢デハ之ヲ從來通りニヤルト云フコトハ非常ニ困難ダト思ツテ居リマス

○坂下委員 只今ノ御答辯見ルト「サイロ」ノ獎勵ヲシタリ、各種ノ方法ニ依ツテ粗飼料デヤツテ行カウ、羊ヤ兔ト云フ御話ガアリマシタ、羊ヤ兔デハ逆モ有畜農業ハ成立ツモノデハナイト私ハ考ヘテ居リマス、現在ノ農家ハ政府ノ方針ニ依リマシテ粗飼料ニ重點ヲ置イテヤツテ居リマスガ、併シ粗飼料ニ重點ヲ置イテヤリマシテハ是ハ到底成立タナイ、ドウシテモ相當程度ノ濃厚飼料ガナケレバ、大家畜ヲ飼ツテ行カレナイノデアリマス、ソレデ私共實際畜産ニ關係シテ居リマシテ、政府ノ方針ニ基キマシテ其ノ方面ノ獎勵モ、尙ホ乳牛ナドノ増殖ニ努メテ居リマスガ、幾ラ乳牛ノ増殖ヲ圖リマシテ頭數ダケヲ殖ヤシマシテモ、更ニ乳量ノ殖エナイ、濃厚飼料ガ缺乏シテ居リマスノデ、乳牛ノ頭數ヲ殖ヤシテモ乳量ガ殖エナイト云フコトハ飼料ガ惡イカラデ、一斗ノ乳量ノアツタモノガ五升ニ減ル、頭數ガ倍ニナリマシテモ、乳量ハ更ニ殖エナイ、糞尿マデモ碌ニ利クヤウナ糞尿ハ出サヌト云ツタヤウナ状態デアリマス、ガカラ自然ニ食糧ニ喰込ムト云フ事情デアリマス、誰ヤラモ話サレマシタヤウニ、自然ニ濃厚飼料ノ缺乏カラ大事ナ食糧ヘノ喰込ムト云フノガ今ノ實情デアリマスカラ、寧ろ此ノ際唯粗飼料ニ重點ヲ置クノミデナク、食料ヘ喰込ムナラ、外米ヲ輸入スルコトヲ一時控ヘテ濃厚飼料ヲ輸入スル方ガ食糧政策トシテ寧ろ一石二鳥ノ利益ガアルノデハナイカ、鶏卵モ必要デアリ、肉モ必要デアリ、牛乳モ絕對必要デアリ、保健衛生ノ點カラ見テモ、軍事的ニ見テモ絕對必要ナモノデアラカラ、此ノ際或ル程度外米ノ輸入ヲ控ヘテ濃厚飼料ヲ輸入スル方策ヲ執ラレ

トヲヤツタコトハ一度モゴザイマセヌ、然ルニ七千万石ノ目標ハ、昨年ノ結果ハ五千五百万石デアツタ、農林大臣ハ六月頃ノ天候ガ悪カツタカラト申シマスケレドモ、ソレハ六月頃ノ天候ノ悪カツタコトモ一ツノ原因ニハ違ヒアリマセヌガ、私ハ大體ニ於テ支那事變ガ始マリマシテカラ肥料事情ガ殊ニ悪ク、連年肥料ノ供給ガ圓滑デナカツタ結果、地力ノ消耗ニ依ル原因ガ最大ナモノデアルト考ヘルノデアリマス、若シモ私ノ考ヘル通り地力ガ消耗シタ結果昨年程大馬力ヲ掛ケタ増産運動モ效ヲ奏サズシテ五千五百万石デアツタトシマスケレバ、肥料事情ガ變ラナイ限り十七年度ノ七千万石モ、是ハ絕對ニ期待シ得ラレナイモノデアツテ、私ノ心配致シマス五千五百万石ニナルノデハナイカト思フノデアリマス、併シ政府ニ於テ此ノ肥料事情ヲ緩和サレル何等カ特別ノ考案ガアレバ別問題ト致シマシテ、連日ノ質疑應答ニ鑑ミマシテ、恐ラク肥料ハ現在以上ニ供給困難ダト思ハレルノデアリマス、唯一ツ有畜農業ノ獎勵トカ或ハ無畜農業ノ絶減トカ云フ方面ニ馬力ヲ掛ケテ、サウシテ堆肥厩肥ト云ツタヤウナ自給肥料ニ俟ツテ地力ヲ回復サセルト云フ方法ガアルノミデハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ一ツト致シマシテモ企畫院ノ物動計畫ニ依リマス、小動物、鶏ノ飼料ニ付テハ半減サレテ居ルノデアツテ、僅カニ大動物ノ飼料ガ現状ヲ維持スルダケデアアル、是デハ有畜農業ノ獎勵トカ、無畜農業ヲ無クセトカ言ヒマシタ所デ、飼料無シニハ逆モ畜産ノ獎勵ハ出來ナイノデアリマス、一體是ハドウ云フ風ニ政府トシテハ御考ヘニナツテ居ルノカ、斯ウ云フ飼料事情

デモ有畜農業ノ獎勵ガ可能ダト考ヘテ居レルノデアアルカ、或ハ又飼料ニ付テ何等カ特別ノ御考ヘガアリマスノカ、此ノ點ヲ先ヅ一點伺ツテ置キタイト思ヒマス
○岸政府委員 或ハ私ガ御答ヘスル筋デナイカモ知レマセヌガ、御尋ネノ點ハ現在ノ飼料事情デ有畜農業ノ普及ガ出來ルカト云フ點ニ歸着シテ居ルト思ヒマス、成程飼料事情ガ困難ナコトハ御示シノ通りデアリマス、有畜農業ト雖モ各種ノ家畜ガアルノデアリマスカラ、或ハ鶏ノ代リニ兔ヲ飼フト云フ手モアリマスシ、兔ノ代リニ綿羊ヲ飼フト云フ手モアル、吾々トシテハ有畜農業ハ斯ウ云フ事態ニ於テハ所謂粗飼料ヲ利用スル方面ヘ伸バシテ行クコトガ必要ダラウト思フ、勿論將來飼料ノユトリガ付イテ來レバ鶏モ大イニ殖ヤシテモ宜シイノデアリマスケレドモ、現在ノ事情ハソレガ申々伸ビナイト云フヤウナコトノ關係カラ、或ル程度鶏ヲ抑ヘテ他ノ方面ノ家畜ガ伸ビテ行ケルヤウニ致シテ居リマス、例ヘテ見マスケレバ、先日來オ話申上ゲテ居ル牛等ニ付キマシテハ、是ハ「サイロ」ヲ中心トシテ飼フコトニ依ツテ飼ツテ行ケマスノデ、斯ウ云フ時局下ニ際シテモ其ノ數ガ非常ニ殖エテ居ル、綿羊モ殖エテ居リ、山羊モ殖エテ居リマス、斯ウ云ツタヤウナモノヲ殖ヤシテ行ツテ自給肥料ヲ殖ヤシテ行クト云フヤウニ考ヘマスレバ、飼料ノ内容ニ依ツテ其ノ對象トナル動物ハ違ツテ來マスケレドモ、有畜農業トシテハ伸ビテ行クト考ヘテ居リマス、鶏ニ付テハ甚ダ御氣ノ毒ナ状態デアリマスケレドモ、現在ノ情勢デハ之ヲ從來通りニヤルト云フコトハ非常ニ困難ダト思ツテ居リマス

○坂下委員 只今ノ御答辯見ルト「サイロ」ノ獎勵ヲシタリ、各種ノ方法ニ依ツテ粗飼料デヤツテ行カウ、羊ヤ兔ト云フ御話ガアリマシタ、羊ヤ兔デハ逆モ有畜農業ハ成立ツモノデハナイト私ハ考ヘテ居リマス、現在ノ農家ハ政府ノ方針ニ依リマシテ粗飼料ニ重點ヲ置イテヤツテ居リマスガ、併シ粗飼料ニ重點ヲ置イテヤリマシテハ是ハ到底成立タナイ、ドウシテモ相當程度ノ濃厚飼料ガナケレバ、大家畜ヲ飼ツテ行カレナイノデアリマス、ソレデ私共實際畜産ニ關係シテ居リマシテ、政府ノ方針ニ基キマシテ其ノ方面ノ獎勵モ、尙ホ乳牛ナドノ増殖ニ努メテ居リマスガ、幾ラ乳牛ノ増殖ヲ圖リマシテ頭數ダケヲ殖ヤシマシテモ、更ニ乳量ノ殖エナイ、濃厚飼料ガ缺乏シテ居リマスノデ、乳牛ノ頭數ヲ殖ヤシテモ乳量ガ殖エナイト云フコトハ飼料ガ惡イカラデ、一斗ノ乳量ノアツタモノガ五升ニ減ル、頭數ガ倍ニナリマシテモ、乳量ハ更ニ殖エナイ、糞尿マデモ碌ニ利クヤウナ糞尿ハ出サヌト云ツタヤウナ状態デアリマス、ガカラ自然ニ食糧ニ喰込ムト云フ事情デアリマス、誰ヤラモ話サレマシタヤウニ、自然ニ濃厚飼料ノ缺乏カラ大事ナ食糧ヘノ喰込ムト云フノガ今ノ實情デアリマスカラ、寧ろ此ノ際唯粗飼料ニ重點ヲ置クノミデナク、食料ヘ喰込ムナラ、外米ヲ輸入スルコトヲ一時控ヘテ濃厚飼料ヲ輸入スル方ガ食糧政策トシテ寧ろ一石二鳥ノ利益ガアルノデハナイカ、鶏卵モ必要デアリ、肉モ必要デアリ、牛乳モ絕對必要デアリ、保健衛生ノ點カラ見テモ、軍事的ニ見テモ絕對必要ナモノデアラカラ、此ノ際或ル程度外米ノ輸入ヲ控ヘテ濃厚飼料ヲ輸入スル方策ヲ執ラレ

ル方ガ、却テ食糧政策トシテ當ラ得タモノ
デハナイカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、
農林當局ト致シマシテハドシナ御考ヘテ持
ツテ居ラレカ、絕對ニサウ云フコトハ出
來ヌト考ヘテ居ラレカ、或ハ船腹ノ不足
ノ結果、外米ノ輸入モ出來ヌガ、飼料ノ輸
入モ出來ナイノダ、今ノ場合ハドウスルコ
トモ出來ナイト云フコトアルカ、何等カ
ノ方法ヲ考ヘレバ多少緩和ガ出來ルト云フ
ノデアアルカドウカ、一ツ御考ヘテ伺ヒタイ
ノデアリマス

○岸政府委員 御尋ネノ點ハ外米ヲ無理シ

テ入レルヨリハ、ソレデ飼料ヲ入レテ其ノ
方面ノ供給ヲ潤澤ニシタ方ガ、内地ニ於ケ
ル食糧資源ヲ食フコトガナイ、ダカラ外米
ヲ入レルヨリ飼料ヲ入レタ方ガ宜イデハナ
イカ、斯ウ云フ御話ダラウト思ヒマス、ソ
レモ一應ノ御考ヘテ方ダラウト思ヒマスル
ガ、何分ニモ人間ノ食糧ヲ確保スルト云フ
コトハ、是ハモウ根本的ナ問題デアリマス
カラ、之ヲ安固ニスルト云フコトニ重點ヲ
置イテ考ヘテ行カケレバナラヌト思ヒマ
ス、隨ヒマシテ、食糧ヲ入レルコトニ非常
ニ困難性ガアルト云フコトナラバ、他ノ物
ヲ犠牲ニシテモ之ヲヤルト云フコトハ、已
ムヲ得ナイト思ヒマス、飼料ニ付テハ、既
ニ外米ガ來ル地域カラモ玉蜀黍ガ參ルノデ
アリマスカラ、勿論是ト併行シテ、船腹ノ
許ス限リニ於テハ之ヲ取ルヤウナ措置ハ講
ゼラレテ居リマス、何分ニモ、從來トモ入
レテ居ルノハ滿洲カラ來ル飼料デアリマス
カラ、無論滿洲方面ヘノ確保ニ付テハ全力
ヲ擧ゲテ居リマスガ、只今申シマシタヤウ
ニ、外米ノ來ル地域カラノ玉蜀黍ニ付テモ
努力ヲ致シテ居ル譯デアリマス、サウ云フ

○坂下委員 ソレハ農政局長官ガ實際ヲ知

ラスノデハナイカト思ヒマス、相當食込シ
ンデ居ル、麥類バカリデナク、米ニマデ食込
シテ乳牛ニ食ハセテ居ルト云フ事實ハ全國
的デアル、能ク御考ヘテ下サイ、ソレカラ食
糧ヲ確保セナケレバナラナイカラ、ドウシテ
モ外米ノ輸入ハ止メラレナイ、斯ウ云フ御
話デアアルガ、ソレハ大東亞戰爭前ノ考ヘ方
デヤナイカト思フノデス、大東亞戰爭前デ
アリマスト、敵性第三國ヘ持つテ行カレル
虞レガアリマスノデ、一日モ早く輸入シテ
置カケレバ、食糧ニ差支ヘガ來ルト云フ
譯デアツタノデアリマスガ、大東亞戰爭ガ
始マリマシテ、今日ノヤウナ戰果ヲ擧ゲタ
結果ト致シマシテハ、モウチヤント共榮圈
内ニ確保ガ出來テ居ルノデアリマス、コッ

チヘ持つテ來ナクテモ、向フニ置イテ居ツテ
モ同ジコトデス、現在アリマス内地米ト、
麥類デ賭ツテ居ツテ、船腹ノ都合ガ出來テ、
持つテ來ラレル時ニ持つテ來レバ宜イシ、
又コツチノ方ノ食糧事情ガ此ノ儘外米ヲ持
ツテ來ナイデ三月モ四月モ置カレナイト云
フ、事情ノ切迫シタ場合ニ持つテ來レバ宜イ
ノデアリマス、唯内地ニ置クカ、外地ニ置
クカト云フダケデアリマシテ、確保ハ十分
出來テ居ルノダカラ、赫々タル戰果ヲ收メ
マシタ今日トシテハ、政府トシテハ、大イ
ニ考慮ノ必要ガアルノデヤナイカト云フ風
ニ、私ハ考ヘルノデアリマス、サウ云フ點
ニ付テ所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○三浦(一)政府委員 要スルニ、飼料ヲ相

當ニ入レル、今マデモヤツテ居ルダラウ
ト思フケレドモ、モツト力ヲ入レテヤルヤ
ウニ、斯ウ云フコトニ歸スルト思ヒマス、
問題ハ、米ト云ハズ、飼料ト云ハズ、南方方面
カラモ重要ナ物資ヲ期待シテ居ル我ガ國ト
シマシテハ、現状ニ於テハ實ハ船腹ガ一番問
題デアリマス、デアリマスカラ、ドウシテモ
ソコニ重點ヲ置イテヤラナケレバナラヌ、
斯ウ云フ現状デアリマスノデ、今既ニ農政
局長カラ續々説明シタ通り、ヤハリ其ノ間ニ
或ル程度ノ調整ハ已ムヲ得ナイ、吾々ノ希
望シテ居ル通りニハ中々參リマセヌガ、船腹
ノ都合ノ付キマス限リ、極力輸入ヲ促進シマ
シテ、善處シタイト考ヘマス譯デアリマス

○坂下委員 此ノ方面ノコトハ此ノ程度ニ

止メテ置キマシテ、次ニ食糧營團ノコトニ
付テ少シ御伺ヒシタイノデアリマス、地方
ニ出來ル各府縣ノ食糧營團ノヤリ方ハ、各
府縣トモソレノ事情モ異ルカラ、大體各
府縣ニ任セテ、其ノ地方々々ノ實情ニ即シ

タヤリ方ヲサセルト云フ御話ノヤウニ聞イ
テ居リマスガ私ハ是ハ宜シクナイコトダト
思フ、現在ノ配給機構ハ各府縣區々デアリ
マシテ、殆ド統制ガ取レテ居ラナイ、斯ウ
云フ點カラ考ヘマシテ——地方長官ニ任セ
ルト云フコトハ必要デアリマスケレドモ——
大體ニ於テ現在マデ行ツテ來マシタ各府縣
ノ成績ヲ御調査ナサツテ、大體斯ウ云フ方
法ヲ行クノガ原則デアルト云フヤウナ、各
府縣ノ成績ヲ調ベタ結果一ツノ基本ヲ作ツ
テ、各地方長官ニ示シ、其ノ基本ニ依ツテ
地方ノ營團ヲ組織サセ、配給機構モ整備サ
セル、小サイコトハ地方長官ニ任セル、斯
ウ云フ行キ方デナケレバ、何時マデ經ツテ
モ本當ノ配給統制ハ出來ナイト思フノデア
リマスガ、當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒ
マス

○湯河政府委員 地方營團運營ノ指導ニ付

キマシテハ、實ハ此ノ食糧管理法ガ出來マ
スト、施行令ナリ、施行規則ナリデ基本ヲ
定メマシテ、農林省ガ無論之ヲ指導監督シ
テ行ク積リデアリマス、唯地方事情ヲ參酌
致シマシテ、全國一律ニ出來ナイ部分ニ付
キマシテハ地方長官ニ篤ト考慮サセルト云
フ考ヘデゴザイマス、從來ノ地方配給組織
ガ區々デアルト云フ點ハ、是ハ吾々モ其ノ
事實ヲ知ツテ居リマス、是ハ何分ニモ、食
糧事情ノ難カシイ時ニ配給機構ヲ一時ニ全
國のニ統制致シマスコトハ、却テ適當デナ
イト思ヒマシテ、配給統制規則ニ於キマシ
テモ、地方長官ノ適當ト認メタ機關ヲ指定
サセマシテ、ソレニ政策ヲ授ケマシテ、配
給致シテ參リマシタ

〔委員長退席、森田委員長代理着席〕

是ハ一昨年ノ夏以來、其ノ後一年半バカ

リノ經驗ヲ積ンデ居リマス、吾々トシテモ大體ノ目標ハ持ツテ居リマス

○坂下委員 大體ノ目標ハ持ツテオイデニナルト云フ御話デアリマスガ、其ノ目標ヲ此處デ大體御示シ下サルコトハ出來ナイデアリマセウカ

○湯河政府委員 地方營團ノ運營ニ付キマシテハ、其ノ勅令事項等ニモ御示シシテアルノデゴザイマスガ、地方ノ配給ニ携リマス業者ヲ營團ノ出資者ニ統合吸收致ス考ヘテ持ツテ居リマス、隨テソレ等ノ業者ノ中カラ、或ハ轉廢業ヲ已ムナクサレル者モ起ラウカト思ヒマスガ、是等ニ付キマシテハ、過般御說明致シマシヤウニ、恩給金庫ノ利用、其ノ他轉廢業ノ整理、助成等ノ施設ニ依リマシテ、一ツ成ベク摩擦ノ少イ方法ヲ以テマシテ、此ノ配給機構ノ合理化、詰リ無用ナルモノノ整理ヲシテ参リタイト云フ考ヘテ持ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ地方營團ノ下部ノ配給機構ニ付キマシテハ、是ハ原則ト致シマシテハ東京ノヤウナ仕組ガ一番究極ノ行キ方デアラウト思ツテ居リマス、各地ニ地方營團ノ直屬ノ配給所ヲ作ルト云フコトガ、一番的確ニ食糧ノ配給ヲ消費規正ノ筋ニ沿ヒマシテヤツテ行クコトニナラウカト思ヒマスガ、併シ此ノ點ハ先程モ申上ゲマシヤウニ、地方ノ實情ニ依リマスト必ズシモサウ参リ兼ネル點ガアルノデハナイカト思フノデアリマシテ、繰返シテ二、三度申シマシタノデスガ、純農村地方ニ於キマシテハ、産業組合ノ購買事業、之ニ依ル配給モ認メテ参ルト云フコトガ必要ニナルドラウト思ヒマス、尙ホ經過的ニハ必ズシモ一律ニ配給所式ニ致シマセズ、商人ノ活動ヲ經過的ニハ認メルト云

フコトガ地方ニ依ツテハ必要デハナイカト思フノデアリマス、サウ云フ點ガ實ハ此ノ營團ノ仕組、運營ニ付キマシテ地方事情ヲ參酌シテ参リタイト云フ考ヘニナツテ居ル點デゴザイマス、ソレカラ地方營團ノ食糧ノ配給ニ付キマシテハ、此ノ法律ニモゴザイマスルヤウニ、大體地方長官ノ定メマサル配給計畫ニ基キマシテ、主要食糧ノ配給ハ、是ハ全國一律ニ決メテ参リタイト云フ考ヘテ持ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ綜合配給スベキ食糧ノ種類或ハ分量等ニ付キマシテモ、農林省デ各地ノ事情ヲ十分考慮致シマシタ全國的計畫ヲ定メマシテ、ソレヲ執行シテ参リタイト云フ考ヘテ持ツテ居ルノデアリマス、其ノ他色々コトモゴザイマスルガ、大體サウ云フ考ヘテヤツテ参リタイト思ツテ居リマス

○坂下委員 只今ノ御話デ大體分リマシタケレドモ、マダハツキリシナイ所ガアル、最末端ノ配給マデ地方ノ營團ガ自行フノカ、或ハ産業組合、或ハ商業組合、斯ウ云フヤウナモノニ委託ノ形式デヤルノカ、又ソレ等ニ配給シテ最下部ノ配給ハサウ云フモノニヤラセルノカドウカト云フ點ガハツキリ致シマセズ、モウ一應改メテ御尋ネシタイノデアリマス

○湯河政府委員 最末端ノ配給ノ仕組ニ付キマシテハ、ソレノ地方ノ事情ニ依リマシテ色々ノ形式ガ執レルモノト思ヒマス、必ズシモ是レ一ツデナケレバナラスト思ツテ居リマセズ、例ヘバ購買組合ヲ使ヒマス時ニハ、購買組合ニ營團カラ食糧ヲ賣渡シマシテ、サウシテ其ノ配給ノヤリ方等ハ、此ノ法律ノ第二十三條ノ規定ニ依リマシテ、販賣ニ關シテ必要ナル事項ヲ指示致シマシ

テ、消費規正ガ出來ルノデアリマスカラ、購買組合ニ賣渡スト云フコトモアルノデアリマス、ソレカラ必要ニ依リマシテハ、先程モ申シマシタヤウニ經過的ニハ此ノ營團ニ吸收サレナイ所ノ商人ニ賣渡スト云フコトモアリ得ルカト思ヒマス、ソレコソ一律デナケレバナラスト思ツテ居リマセズノデ、サウ云フ方法マデ考ヘ得ル幅ノアル考ヘテ居リマス

○坂下委員 只今ノ御話ニ依リマス、結果ハ最下部ノ配給ハ産業組合ニモヤラセル、商業組合ニモヤラセル、斯ウ云ツタヤウナ現在ノヤウナ複雑シタ行キ方ニナリ勝チダト思フノデス、ソコヲ私ハ政府トシテハツキリ基本ヲ決メテ、純農村ハ産業組合ニ配給サセルノダ、都市ハ商業組合ニ配給サセルノダ斯ウ云フ原則ヲハツキリ決メテヤツテ戴カナイト、地方事情ニ依ルカラ地方事情ニ任セルト云フコトニナルト色々ナ情實ニ依リマシテ、ドウモ現在ヤツテ居リマスヤウナ二元或ハ三元ノ複雑極マル配給ニ陥リハセヌカ、斯ウ思フノデス、若シ二元三元ノ配給ニナルト云フコトニナルト

現在ト何等變リガナイ、折角斯ウシタ營團ガ出來マシテモ、中央地方ダケハ整備サレタガ、大事ナ最末端ノ配給ハ依然變化ガナイト云フ結果ニ陥リハセヌカト云フコトヲ私心配スルノデアリマス、現在私ノ縣、靜岡縣ノ行キ方ハ市町村長ニ重イ責任ヲ持タシテアルノデアリマス、私モ町長ノ一人ト致シマシテ千五百戸ノ倉糧ニ付テノ配給ヲ擔任シテ居リマス、其ノ體験カラ申シマス、商業組合員ガ十一軒モアル、産業組合モアル、斯ウ云フ形ニナツテ居リマス、サウシテ食糧ノ割當ハ市町村長ノ所ヘ縣カラ

命ジテ來ル、オ前ノ村ハ何月マデ是ダケノ米ヲ配給シテヤルカラソレデ賄ヘト斯ウ町村長ニ言ツテ來ル、ソコデ町村長ハ各自ノ事情ヲ調べ、人口ヲ調ベテ配給ヲ致ス、甲ノ商店乙ノ商店、丙ノ商店、産業組合ト別個ノ配給券ヲ作り、商店、産業組合ガ別個ニ確保シテ居ル米ノ量ト配合シテヤルノデ相當ノ手數ガ掛ル、町村役場トシテハ實ニ迷惑ナ仕事デアリマス、サウシテ足ラストカ多イトカ怨嗟ノ聲ハ悉ク町村長ニ持ツテ來ラレル、而モ町村長ノ權限ハ、統制ニシテモ共販シテモ何等ソレニ立入ル權能ハナイ、ドウ云フ賣方ヲシテ居ルカ、ドウ云フ配給ノ仕方ヲシテ居ルカ實際ニソレヲ検査スルト云フ權能モ持タセラレナイ、唯割當テラレタ米ヲウルサイ手數ヲ掛ケ、金ヲ掛ケテ、配給券ヲ出シテサウシテ惡ク言ハレルダケト云フ地位ニ町村長ハ現在置カレテ居ルノデアリマス、サウ云フ實情ガ再ビ繰返サレルト云フコト

ニナリマス、營團ガ出來マシテモ甚ダ價値ノナイモノニナリマスカラ、此ノ際地方ニ委セルト云ハナイデ、農村トカ町村ハ産業組合ニ一元的ニ配給サセル、都市ハ一元的ニ商組ニ配給サセル、斯ウ云フコトヲ原則トシテ、已ムヲ得ナイ實情ノアル所ハ特別トシテ地方長官ニ於テ適當ニサセル、斯ウ云フ風ニ政府ノ方ニ於テハツキリ原則ヲ御定メナサル方ガ適當デヤナイカ、營團ヲ生カス所以デヤナイカト考ヘラレマスガ、モウ一應此ノ點ニ付テ政府ノ所信ヲ伺ヒタイノデアリマス

○湯河政府委員 私ノ御説明ガ非常ニ不十分デゴザイマシタヤウニ思フノデアリマスガ、此ノ地方營團ヲ作りマス趣旨ハ、現在ヤツテ居リマス配給擔當者ヲ此ノ營團ノ中

ニ吸收スル考ヘデゴザイマスルノデ、原則的ニハ從來ノ商業組合ヲ結成シテ居リマスル商賣人ト云フモノハ、是ハ商業組合ヲ解キマシテ營團ノ中ニ全部入ツテシマフ、隨ヒマシテ商業組合ガ營團ノ下ニ存在シテ配給ニ當ルト云フコトハ、營團ノ成立致シマスル限リナクナルノデアリマス、從來地方ノ米麥等ノ配給ニ付キマシテハ、地方ノ配給統制ノ機關ヲ作ラセルヤウニ規則ヲ定メテゴザイマスカラ、其ノ機關ト致シマシテ地方長官ノ指定致シマシタモノガ、大體商業組合デゴザイマス、又場合ニ依リマシテハ商業組合ト産業組合トノ結合致シタ任意組合デゴザイマス、是等ノ仕組ガソレノ地方ニ發達シテ來テ居リマスノデ、監督上モ放置シテ置ケマセヌノデ、此ノ營團ノ仕組ニシタノデアリマス、隨ヒマシテ營團ハ從來ノ配給擔當者ヲ以テ組織スルト云フ仕組ニナルノデアリマス、此ノ營團ノ下部ノ末端配給ノ仕組ハ、先程モ申上ゲマシタヤウニ營團ノ直營スル配給所ガ各地ニ出來ルノガ一番宜イノデゴザイマス、現ニ東京ナドハサウ云フ仕組ニナツテ居リマス、併シナガラ純農村ニ於キマシテ産業組合ガソレ自體ノ一ツノ機能ヲ營ンデ四種兼營ノ組合ガゴザイマシテ、生産モ販賣モ信用モヤツテ居ルト云フ時ニ、購買組合ノミヲ切り放シテ止メサセルト云フ風ナコトハ、産業組合ノ運營上ニモ宜シクナイト思ヒマシテ、サウ云フ場合ニハ營團ノ配給所トシテノ機能ヲ、産業組合ニヤラセルト云フ趣旨ヲ以テマシテ、産業組合ニ食糧ヲ賣ツテヤルト云フコトガ宜イト思ヒマス、併シ此ノ點ハ吾

イマサヤウナキチツトシタ區別ガ農村ニハナイノデアリマシテ、商人、産業組合ガ入り亂レタ地方モゴザイマスノデ、此ノ點ハ能ク地方ノ實情ニ即應シテ指導ヲシテ參ラナケレ、バナラスト思ヒマス、而シテ一番初メニ申上ゲマシタヤウニ、營團末端機關ハ營團直營ノ配給所ガ出來ルノガ本質デアリマス、隨ヒマシテ商人ハ此ノ營團ノ中ニ吸收サレマシテ、此ノ營團ノ配給所ノ從業員トナル行キ方ガ一番宜イノデアリマシテ、之ヲ原則トシテ參リタイト考ヘテ居リマス

ソレカラ只今伺ヒマス、町村長ヲシテ此ノ配給ニ關與シテ行クヤウニ縣カラ指令ガ來テ居ル、此ノ點ハ町村長或ハ役場トシテモ洵ニ重イ負擔ヲ迷惑ダト云フ御話ガゴザイマシタガ、此ノ地方營團ガ出來マスレバ、町村長ハ無論町村ノ自治體ノ内部ノ問題デゴザイマスカラ、ヤハリ深イ關心ハ持つテ戴キタイト存ジマスガ、併シ食糧配給ノ業務ソレ自體ハ、此ノ營團ノ業務ニナル譯デアリマス、町村長ト致シマシテハ、恐ラク通帳制ヤ切符制ヲ使フト致シマスレバ、其ノ切符ナリ通帳ナリノ公正ナル通用、或ハ其ノ發行ナリ引換ト云フ風ナコトニ付テ監督ヲシテ戴クコトニナルト思ヒマス、配給ノ實務ノ方ハ專ラ此ノ營團ヲシテ當ラセタイ、斯ウ云フ考ヘデアリマス

云フヤウナモノノ書式ト云フカ、手續ガ非常ニ複雑デアリマシテ、ドウモ普通農家ニハ一寸記入ガ出來兼ネルヤウナ面倒臭イ書式ニナツテ居リマスノデ、町村農舍ノ技術員ハ、此ノ書類ヲ作成シタリ、申告書ヲ書キマス爲ニ、二日間位ノ講習ヲ受テ居リマス、ソレカラ今度ハ郡農會長ヲ召集シテ又講習スル、サウシテ郡農會長ハ自分ノ受持ノ農家ダケノ書類ヲ持つテ各農家ヲ訪ネテ、郡農會長ガ一々ソレヲ記入シテヤラナケレバ、農家自體デハ記入ガ出來ナイト云フヤウナ非常ニ面倒臭イモノガ出サレテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ點ハ相當食糧増産ニ影響ガアル、技術員モ農會長モ其ノ煩ニ堪ヘナイト云フ實情デアリマス、何等カ此ノ點ニ付キマシテ、政府ハ慎重ニ御考慮ヲナサレテ、今年ノ收穫ハ幾ラアル、人口ガ幾ラデ保有米ハ幾ラ取ツテ居ル、サウシテ残りノ管理米トシテ出スベキモノガ幾ラダト云フヤウニ三行カ四行ノ簡單ナモノヲ書ケバ、ソレデ宜イヤウニ御工夫ガ願ヒタイ、現在ノヤウナ狀況デアリマシテハ、折角食糧増産ノ爲ニ一人宛殖ヤシマシタ技術員モ、食糧増産ノ指導トコロデハナクテ、事務員カ書記ノヤウニナツテシマツテ居ルノガ、各農村ノ實情デアリマス、是デハ折角政府ガ金ヲ出シテ技術員ヲ一人殖ヤシテモ、事務員ヲ置イタノト何等變リガアリマセヌ、此ノ點ヲ十分御考慮ニ入レテ、總テノ農家ノナサネバナラヌ手續、書類等ハ、極メテ簡單ニドシテ農家デモ自ラナシ得ルヤウナコトニ考ヘテ戴キタイト思フノデアリマス、現在ノ行キ方デ何等差支ヘナイト御考ヘニナツテ居ルノデアリマセウカ、此

ノ點ヲ御尋ネシタイ

ニ湯河政府委員 只今ノ點ハ、實ハ若シサウ云フ風ナ非常ニ複雑ナコトヲサセテ居ルト致シマスレバ、地方廳ノ指導振リガ餘リ良クナイノデハナイカト思ツテ居リマス、實情ハ吾々ノ方モ詳細ニ取調ベマシテ、改善スベキ點ハ改善シテ參リタイト思ツテ居リマス、管理ノヤリ方ハ一、二年ノ經驗ヲ積ミマシテ、合理化スベキ點ハ、ドシノ合理化シテ行カナケレバナラヌト思ツテ居リマス、ソシテ復雜ナ書式ヤ數字ナドヲ記入シナクテモ、只今坂下サンノ御話ノヤウニ、要點ダケ押ヘテ行ケバ宜イト思ヒマス、此ノ取扱ヒノ爲ニ折角ノ大事ヲ技術員ガ、其ノ手ヲ取ラレルヤウナコトデハイケナイト思ヒマス、併シ管理ハ絕對ニ正確デナケレバナリマセヌカラ、或ル程度ノ無理ガゴザイマシテモ、此ノ割當等ハ主トシテ農會ノ方デシツカリヤツテ貰フ、尙ホ管理米ノ取扱人ト云フモノヲ町村内ニ特ニ設置シテゴザイマスカラ、此ノ町村農會ノ費用、或ハ管理事務ノ取扱ノ費用、是等ハ從來トモソレノ助成ノ道ガ開ケテ居ルノデアリマス、是ハソシテ答ナ助成デハナイト私ハ思ツテ居リマス

ソレカラ今後ハ地方農産物検査ニ從事スル職員ヲ國費デ置クコトニ致シマシテ、是ガ現實ニハ此ノ地方ノ管理事務ノ取扱職員ヲ指揮致シマシテ、此ノ管理米ノ検査ナリ、集荷ナリニ當ルコトニ致シテ參リマス、是等ノ點ニ付キマシテモ國費ヲ以テ特別會計ヨリ支辨スルコトニ致シテアリマス、御指摘ノヤウナ點ニ付キマシテハ實行上十分注意致シマス

○坂下委員 只今ノ御答辯デ大體満足致シマス、併シ實際ハ各農會トモ悲鳴ヲ揚ゲテ

豫想報告トカ、或ハ管理米ニ付テノ申告ト

家管理ニナリマシテカラ、米穀ノ生産高ノ豫想報告トカ、或ハ管理米ニ付テノ申告ト

第六類第二號 米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會議錄 第五回 昭和十七年一月二十八日

豫想報告トカ、或ハ管理米ニ付テノ申告ト

家管理ニナリマシテカラ、米穀ノ生産高ノ豫想報告トカ、或ハ管理米ニ付テノ申告ト

家管理ニナリマシテカラ、米穀ノ生産高ノ豫想報告トカ、或ハ管理米ニ付テノ申告ト

家管理ニナリマシテカラ、米穀ノ生産高ノ豫想報告トカ、或ハ管理米ニ付テノ申告ト

居ルノデスカラ、ドウカ十分御調査ノ上、簡
 單ノ上ニモ簡單ニ出來マスルヤウニ御願ヒ
 シタイノデアリマス、ソレカラ今申シマシ
 タヤウナ調査ニ付テ、或ハ集荷ニ付テハ農
 會ニモ、産業組合ニモ、町村ニモ政府ハ相
 當金ヲ出シテ居ルト云フ御話デアリマスガ、
 各町村ニ入ツテ見マスト、集荷ノ仕事ハ
 農會ガヤツテ居ル、或ハ管理米ノ調査ニシ
 テモ總テ農會ガヤツテ居ツテ、産業組合ハ
 ソレヲ受ケテ金ヲ受入レラスト云フ程度
 デアリマス、所ガ政府ノ補助金ハ、町村ガ
 産業組合ヤ農會ノ共助ヲ受ケテ共ニヤルト
 云フノデ、町村長ニ指定サレテ來ル、私モ
 町村長ヲ致シテ居リマスシ、農業團體ニモ
 關係シテ見テ、大分ウルサイコトヲ能ク聽
 クノデアリマス、斯ウ云フ點ガ結局團體統
 合ヲシナケレバナラナイト云フ下部ノ大キ
 ナ要求デハナイカト思フ、團體統合ガ出來
 マスレバ洵ニ其ノ點ハ工合ガ好クナル、ソ
 レカラ内務省ガ能ク言フヤウニ、町村長ノ
 指導ノ下ニ置クト云フヤウナコトハ、サウ
 嚴然トヤラナクテモ、大體都合好ク團體統
 合ガ出來マスレバ調和ノ出來ルモノダト考
 ヘマス、ドウカ團體統合ノ問題ニ付キマシ
 テハ、出來得ル限り促進ナサルヤウニ御考
 慮ヲ御願ヒシテ置イテ、先ヅ此ノ方面ノ質
 問ヲ打切りマス

次ニ食品局長ガキラウシヤルカラ、序デ
 ト申上テテハ濟ミマセスガ、終リニ一ツ御
 尋ネシテ見タイト思フノデアリマス、其ノ
 問題ハ豫テ御心配ヲ願ヒマシタ唐辛子ノ配
 給統制ノ問題デアリマス、是ハ唐辛子ト云フ
 ト内地ノ方デハ食料トシテハ、サウ大シタ
 問題デハナイカト思ヒマスケレドモ、併シ
 「カレ」粉ノ原料ダトカ「ソース」ノ原料ト

云フ上カラ、決シテ輕視スベキモノデハナ
 イ、又朝鮮ニ於キマシテハ、殆ンド主要食
 料ニ近イモノデアリマスノデ、相當唐辛子
 ノ集荷ト配給ト云フコトニ付テハ、考慮シ
 ナケレバナラヌノデアリマスガ、昨日松浦
 君ガ北海道ト樺太ノ蔬菜ノ値ガ違ツテ居ル
 ノデ、樺太ニ流レテシマウト云フ御話デア
 ツタノデスガ、此ノ唐辛子ノ公定價格ガ朝
 鮮ト内地ト非常ニ開キガアル、内地ハ最高
 價格百斤四十圓デアリマス、朝鮮デハ百斤
 六十四圓デアリマス、ドウモ恐ロシイ開キ
 ガアル、朝鮮マデ二圓カ二圓五十錢ノ運賃
 ヲ掛ケテ持ツテ行ケバ六十四圓、内地デ賣
 レバ最高價格ガ四十圓、斯ウ云フ大變ナ値
 開キガアリマスル爲ニ、數年前カラ殆ンド關
 デ朝鮮ヘ流レテシマツテ、内地ノ「ソース」
 ノ原料トカ或ハ「カレ」粉ノ原料ニスルモ
 ノガナクナツテシマフ、非常ニ困ツタ結果
 昨年ハ局長サンノ御心配デ、各府縣ニ集荷配
 給ニ關スル要綱ヲ御通牒下サイマシテ、各
 府縣トモ集荷配給ノ機構ハ大體ニ於テ整備
 サレタノデアリマスガ、朝鮮トノ値段ノ相違
 ガ其ノ儘ニアリマスノデ、本年モ折角局長サ
 ンノ御通牒ニ依リマシテ集荷配給ノ機構ハ
 整備サレマシタケレドモ、殆ンド關デ朝鮮
 へ流レテシマフ、内地ノ製粉業者「ソース」
 業者、「カレ」業者ハ非常ニ困ツテ居ルト
 云フ實情デアリマス、朝鮮へ流レマス圍ノ
 値段ハ六十圓位デ、ソレガ朝鮮ニ於キマシテ
 ハ關デ百三十圓ダト云フ如何ニモ混亂状態
 デアリマス、隨テ内地ノ價格ヲ朝鮮ノ價格ニ
 近イ程度マデ引上ゲルカ、朝鮮ノ價格ヲ内
 地ノ價格ニ近イ價格マデ引下ゲルカ、何トカ
 朝鮮ト内地トノ價格ヲ接近サセナケレバナ
 ラナイト思ヒマシテ、ソレモ當局ニ陳情致

シタコトガアルノデアリマスルガ、内地ノ事情
 トシテハ、唐辛子ヲ四十圓ヨリ高クシテハ食
 糧増産ニ影響シ、低物價ニ影響スルト云フノ
 上デラレナイ、朝鮮ノ生活必需品デアリ、六
 十四圓デモ不足勝チデアリ、モツト上ゲタイ
 位デアツテ、トモ下ゲルコトハ出來ナイ、内地
 デハ上ゲルコトハ出來ナイト云フノデ、昨年
 モ本年モ價格ニ於テハ、依然變リガナイ、
 折角統制要綱ヲ御通牒ナサレテモ、集荷配給
 ガ圓滿ニ行カナイト云フノガ、現在ノ實情
 デアリマス、局長サンニ於キマシテハ何等
 カモウ一步進メテ、公定價格ノ是正ガ出來
 ナイナラバ、現在ノ御通牒ニナツタ要綱ニ
 罰則ヲ設ケテ、値段ニサウ云フ開キガアツ
 テモ關ノ行ハレナイヤウニ、此ノ要綱ヲ強
 化シテ貫ハナケレバ困ルト思ヒマス、内地
 ノ公定價格ヲ朝鮮ニ接近サセルマデ引上ゲ
 ルカ、向フ下ゲルカ、或ハ御通牒ニナリ
 マシタ要綱ガ實行出來マスヤウニソレニ罰
 則ヲ設ケルカ、ドチラカニ一ツ御考慮ヲ願
 ヒタイト云フコトヲ御願ヒ致シマシテ、私
 ノ質問ヲ打切りマス

○辻政府委員 香辛料ノ唐辛子ノ配給統制
 ニ關シマシテハ、御話ノゴザイマシタヤウナ
 方向ニ向ツテ昨年來努力致シテ參ツタノデア
 リマス、朝鮮トノ間ノ公定價格ノ開キノ點ニ
 付キマシテハ是亦御話ノ通り内地ト朝鮮トソ
 レゾレノ特殊ノ事情ガゴザイマスノデ、今
 直チニ兩者ヲ相當程度接近サセルト云フコ
 トニ付テ技術上ノ困難ガアルヤウニ感ジマ
 ス、公定價格ノ問題モサルトコトデゴザイマ
 スガ、ヤハリ配給統制ヲ的確ニ致スト云フ
 コトガ必要デアラウト云フ點ニ付キマシテ
 ハ、御同感ニ考ヘルノデゴザイマスルガ、
 先般要綱デ以テ各地方ノ協力ヲ求メテ實行

致シテ居リマスル方法ヲ、更ニ規則上デ強
 化スルト云フ點ニ付キマシテハ、只今ノ所
 直チニ規則ヲ出シタ方ガ宜イト云フコトマ
 デ考ヘテ居リマセス、ト申シマスノハ規則
 ヲ出サスト云フノハ別ノ問題デゴザイ
 マシテ、ヨク業者ノ方々ニ十分ナ理解ヲ得
 マシテ實行スルニ於キマシテハ、相當程度
 ノ效果ガ舉ルノデハナカラウカ、規則ヲ出
 シテ罰則ヲ以テ臨ムト云フコトハ、謂ハバ
 最後ノ手段デハナカラウカト云フ感ジモ實
 ハ持ツテ居ルノデアリマス、尙ホ折角實行ニ入
 リマシタ統制ノ實際ニ效果ガ舉リマスヤウ
 ナコトニ付キマシテハ今後トモ十分考慮ヲ
 シテ行キタイト云フ考ヘデゴザイマス

○森田委員長代理 森幸太郎君
 ○森(幸)委員 二、三御尋ネ致シタイト思ヒ
 マス、電力料金ノ改正サレマスニ付キマシ
 テ農村早魘ノ揚水ニ使フ所ノ電力料ガ非常
 ニ高率ニナルノデアリマス、從來一反當リ
 約四圓八十錢デアリマスガ、是ガ改正ニナ
 リマシテ從量制ニナル結果、約七圓二十錢
 餘ニナリマス、早魘期ニナリマスト約十
 圓ハ見ナケレバナラヌト思ハレル、是ハ都
 市ノ電力料金ト同一ノ意味ニ於テ、農村ノ
 電力料金ヲ考ヘラレル結果ト思フノデアリ
 マス、若シモ一反歩ニ十圓モ電力料ガ掛ル
 コトニナリマスト、非常ニ増産計畫ヲ阻害
 致シマスノデ、此ノ點ニ付テ農林省トシテ
 ドウ云フ對策ヲ御考ヘ下サルカ、承リタイ
 ノデアリマス

次ニ養鶏業者ガ飼料ノ前途ニ非常ナ不安
 ヲ持ツテ居リマス、十一月分ノ配給券ガ未ダ
 ニ實際貫ヘナイト云フヤウナ情勢デアルノデ
 アリマスガ、此ノ飼料ニ對シテノ見透シヲ御
 説明ニナツテ、業者ガ安心シテ業ヲ繼續シ得ル

ヤウニ致シテ戴キタイト思フノデアリマス

次ニ糞ノ利用ガ非常ニ増加シテ參リマシテ、今日肥料ノ不足致シテ居リマス點カラ申シマシテモ、糞ノ利用ガ一層重要性ヲ帯ビテ居リマス、然ルニ農村ハ米ヲ供給致シマスノニ俵或ハ吹ノ還元ヲ非常ニ希望致シテ居ルノデアリマス、固ヨリ肥料吹トシテ利用サレ、或ハ芋ノ吹トシテ利用サレテ居リマスガ、農村ノ立場カラ言ヒマス、肥料ヲ始メ凡ユル物資ガ總テ其ノ容器ハ全部還サナケレバナラス、米ハ俵ヘ入レルトハ言ヒナガラ、之ヲ取上ゲラレルコトハ非常ニ困ル、是ハヤハリ還シテ戴キタイ、斯ウ云フヤウナコトヲ言ツテ居ル者モアルノデアリマス、今日軍用吹デアルトカ、或ハ軍用繩ナドノ徵發モ相當アリマスノデ、農家ハ糞ノ利用上非常ニ糞ノ不足ヲ來シテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ御所見ヲ承リタイノデアリマス

次ニ有畜農業ノ必要ナコトハ今更申上ゲルマデモアリマセヌ、此ノ畜産ノ指導者ガ殆下無イノデアリマス、今度年齢ヲ低下シテ獸醫ニ採用スルヤウナ法案モ出テ居リマスガ、農林省トシマシテ獸醫ノ補給ヲドウ云フヤウナ策ヲ以テ臨マレントシテ居ルカ、此ノ點ヲ承リタイ

ソレカラ最後ニ今同検査ガ國營ニ移サレマスガ、米穀検査員ト云フモノノ手當ニ付テ、各府縣トモ今日マデ非常ニ惱ンデ參リマシタ、是ハ仕事ガ一年ヲ通ジテ時季ニ依ツテ繁閑ガ非常ニ變ルモノデスカラ、非常ニ忙シイ時ハ忙シイシ、閑ナ時ハ殆ド仕事ガナイ、ソレデ麥ノ検査、菜種ノ検査ヲ附加ヘテ漸ク仕事ヲ持續シテ居ル、又給料支給ノ點ニ於キマシテモ、時季ニ依ツテ變ヘ

テ居ルト云フヤウナ今日ノ立場デアリマス、

是ガ國營検査ニ移リマシタ場合ニ、ドウ云フ風ニ検査員ヲ待遇サレルカ、又地方ニ於キマシテハ人的資源ガ非常ニ缺乏致シテ居リマス、ソレデ町村農會ニ於ケル技術員ガ米穀検査ヲ受持ツテ居ル場合モアルノデアリマスガ、是ガ國營検査員ト云フコトニナリマス、其ノ他ノ指導事務ヲ兼務サスコトヲ認メラレナイ、是ハ待遇ノ關係モアリマスシ、又人的ノ利用ノ上カラ言ウテモ考ヘラレルコトデアリマスガ、検査員ノ待遇竝ニ兼務ノ狀況、此ノ點ヲ承リタイノデアリマス、以上簡單ニ御説明ヲ願ヒマス

○北勝委員 關聯シテ……今電力問題ガアツタノデスガ、ソレニ關聯シテ農村ノ現狀カラ言ツテ、ドウシテモ是ハ農村電化ノ必要ガアルノデアリマス、農林省ガ其ノ方ノ資料配給ニ付テ、ドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、附加ヘテ御答辯ヲ願ヒマス

○三浦(一)政府委員 電力料ガ高クナツタト云フコトデスガ、一寸其ノ内容ヲ能ク知りマセヌガ、早敷ノ際揚水ノ電動機ニ使フ料金デアリマスレバ、能ク調べテ見ナイト何トモ其ノ影響ハ具體的ニ判明シマセヌ、出來ルダケ低減スルヤウニ努メタイト斯ウ考ヘマス、モウ少シ具體的ニ調べテ御答ヘ致シマス

度ニ狭メラレタモノデアリマスカラ、ドウシテモ已ムヲ得ナイト云フ方面ニ付テハ、動力機ノ轉換、之ニ付テハ相當各省ニ對シテモ連絡シタ譯デアリマス、其ノ限度デ物資動員上確保シマシタノハ、重點主義ニ依ツテ今森サンノ御指摘ニナツタ用排水ノ問題デアルトカ、サウ云フ方面ニ重要ナ資料ダケハ是非トモヤツテ行キタイト考ヘマス、何分非常ニ、非鐵金屬ガ不足ナ時代デゴザイマスカラ、其ノ點モ一ツ御理解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岸政府委員 養鶏飼料ト糞、有畜農業ノ指導者、此ノ三ツノ問題ニ付テ御答ヘ申上ゲマス、養鶏飼料ハ先程モ坂下サンノ御質問ニ對シテ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、供給ガ非常ニ困難シテ居リマス、隨テ此ノ一月ノ配給カラ從來ノ配給ヨリモ、原料ニ於テ約三割以上減ラシテ居リマス、隨テソレニ對處シテ其ノ配給ニ當ツテモ重點主義デ配給シテ呉レ、即チ種鶏、是ハ將來伸ビル必要ガアルカラ確保スルヤウニシテ戴キタイ、ソレカラ都市等ニ供給スル卵、是ハ病院、軍隊色々入ツテ居リマスガ、是等ヲ生産スル者ニ對シテ優先配給シテ貰ヒタイ、ソレハ約九百万羽ノモノニ對シテノ分ハ配給ノ中デ優先的ニヤツテ貰フ、残りノ數ニ付テハ、是ハ成ベク分散供給ニシテ、地方的ニ分ケ合ツテ使フト云フ形ヲ取ツテ、其ノ範圍内デ維持シテ居リマス、飼料ノ配給ヲ受ケタモノハ卵ヲ出シテ貰ツテ、サウシテ配給ヲ圓滑ニシロ、斯ウ云フヤウナ方針デヤツテ參リマシタ、其ノ詳細ハ縣ニ示シテアリマス、縣ノ方トモ十分何回モ打合せヲヤツテ居リマスカラ、ソレニ從ツテ配給サレテ行クノデアリマスガ、輸送其ノ他ノ關係デ實際ハ廻リガ圓滑ニ行ツテ居ナイノガ大分アルヤウデアリマス、是亦遺憾デアリマスガ、實情已ムヲ得ナイト云フコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ糞ノ問題デゴザイマスガ、是ハ農業生産ヤツテ居ル者カラ言ヒマス、糞ハ肥料ニナリマスノデ、持ツテ行カレテシマフコトハ非常ニ大打撃デ、吾々トシテハ極端ニ言ヘバ糞ヲ保有スルヤウナ手段ヲ講ジタイト云フ位ニ考ヘテ居リマスケレドモ、サリトテ現在ノ包裝材料ノ足リナイ時ニ、之ヲ無下ニ片付ケルト云フ譯ニモ行カナイ、斯ウ云フヤウナ關係カラシマシテ、是ノ利用ニ付テ成ベク農村ニ還元スルヤウナ、例ヘテ言ヘバ吹ヲ作ツテ色々ノ物ヲ運搬スル、サウスレバ元ヘ戻スコトモ出來ルデハナイカト云フヤウナ點ヲ彼レ此レ研究シテ居リマス、其ノ一ツトシテ御説ノ通り何トカシテ元ノ土地ヘ還シテヤリタイ、還シテヤルト地方ガ出ルノデアリカ、サウ云フヤウニ成ベクヤルヤウニ努メタイト思ツテ居リマス、ソレカラ有畜農業ノ指導者ハ結局中心ニナルモノハ獸醫ノ指導者デアリマス、之ニ付キマシテハ十五年度ニ御協賛ヲ戴キマシテ、獸醫師ノ増員ガ施設サレテ居リマス、此ノ卒業生ガ出テ參リマス、最近ニ於キマシテドウ云フヤウナコトニナツテ居ルカト申シマス、專門學校ノ方モ昨年、本年引續キ増設ヲ行ツテ居リマス、隨ヒマシテ本年ノ末ノ繰上卒業ニナリマス者ハ千五百名ノ卒業者ガ出テ參リマスカラ、供給ノ方ハ相當潤澤ニ行クダラウト思ヒマス、又獸醫師、獸醫手ノ試験ヲヤツテ居リマス、獸醫師ノ試験ハ最近ニアルノデアリマス、是等ニ付キマ

シテモ現在志望者三百名、其ノ中下ノ位入
レマスカ、從來ノ成績カラ云へバ相當人員
ハ入學出來ルドラウト思ヒマス、彼此レ合
セマス、將來ニ於ケル所ノ是等ノ供給ト
云フモノハ非常ニ潤澤ニナツテ來ル、來年
ノ卒業生位デ大體内地ノ需要者二千位ト
云フモノハ充分得ルノデハナイカ、斯ウ考
ヘテ居リマス

○湯河政府委員 森サンノ御尋ネノ最後ノ
検査員ノ手當ノ問題デアリマスガ、是ハ從
來ハ縣費ヲ以テ支辨シテ居リマシタ爲ニ色
色ト違リ繰リシテ來タヤウデアリマス、
今度ハ米麥ノ検査ニ從事スル検査員ハ國費
ヲ以テ之ヲ支辨スルコトト致シマシタ、米
麥ダケノ仕事ニ對シテ一年分ノ手當ヲ完全
ニ與ヘル、ソレカラ是等ノ人ガ其ノ他ノ檢
査事務、農村ノ技術員、指導員ト從來兼ネ
テ居タ關係ガアル、國費ニナツテ兼務ガ出
來ナクナル心配ガアルト云フ點デアリマス
ガ、此ノ點ハ吾々ノ方トシテモ十分一ツ研
究シタイト存ジマス、農村ノ實情ヨリ適當
ナ人ガ得ラレナイ時ニハ仕事ガ多ク多クナ
ツテモ或ハ斯ウ云フヤウナ技術員ノ囑託ヲ
認メルト云フヤウナ途ヲ開キタイ、兼務ト
云フ形ガ執レルカドウカ、十分研究シテ見
タイト思ヒマス

○森(幸)委員 米穀検査員ハ今マデハ非常
ニ待遇ガ惡カクツノデスガ、今度國費ノ檢
査員ニナリマス、心配ニナルノハ是等ノ
検査員ニ威張ラレヤシナイカト云フ心配ガ
アルノデアリマス、是等ノ検査員ノ外ニ町
村ノ技術員、養蠶實行組合ノ指導員ト云フ
者モ居ル斯ウ云フヤウナコトト對抗上カラ
申シマシテモ、別ニ特殊ノ變ツタ人間デナ
イカラ威張ラナイヤウニ指導シテ載カナケ

レバナラス、或ル場合ニハ今マデノ指導事
務ヲ兼務サセルトカ、或ハ囑託ヲ置クトカ
云フ風ニシテ、協調ノ保テルヤウニ考ヘテ
戴キタイ、是ガ一番心配サセラルル問題デ
アリマスカラ此ノ邊宜シク御指導ヲ御願ヒ
致シマス、私ノ質問ヲ終リマス

○山田(六)委員 今飼料ノ御話ガ出タノデ
スガ、有畜農業ハ飼料ノ外ニ方法ガナイコ
トハ申スマデモナイガ、農林省ハ有畜農業
ヲ妨害シテ居ルノデヤナイカト思ハレルヤ
ウナ状態ニアルノデ農村ハ閉口シテ居ル、
農家ニ全部畜類ヲ飼ハセルト云フ方針ヲ執
ツテ、吾々モ努力シテ居ル、牛ヤ馬ハ數ガ少
ナイカラ是ハ容易ニ飼ヘナイガ、セメテ豚
ダケデモ飼ハセタイト思ツテ努力シテ居ル
ノデアリマス、トコロガ其ノ豚ガ御承知ノ
通り食肉統制會社ト云フモノガ出來テ其ノ
豚ヲ賣ルコトガ出來ナイト云フノガ豚ノ俄
カニ減ジタ原因デアリマス、豚ト云フモノ
ハ食物ヲ食ハセルトソレニ比例シテ育ツテ
行クガ、食物ヲ或ル程度ヲ越シテ食ハセル
ト育タナイ、ソコデ或ル程度育ツタ豚ヲ賣
ツテ後カラ、仔豚ヲ入レヤウト云フノデ
賣ラウト思フト、今月ハ何頭シカ縣内デッ
プス事ガ出來ナイ、何頭シカ縣外ニ移出ス
ルコトハ出來ナイト云フ譯デ、三百頭ナラ
三百頭ノ豚ヲ泣ク、殘シテ置カナケレバナ
ラス、サウスルト今月百兩ニ賣レルモノガ
來月八十兩ニナリ、來々月ハ六十兩ト云フ
ヤウニ段々安クナル、是デハ豚ヲ飼ツテモ
ヤリ切レナイト云フノデドン、豚ヲ飼フ
コトヲ止メテシマフ、肥料ノナイ時分ニ大
變ダト云フコトニナツテ、組合ノ中デ種豚
ヲ置イテ仔ヲ供給スルコトニ依ツテ指導シ
テ居ル、飼料ノ配給ヲ受ケタ者ハ、マア配

給ガアルカラ我慢シテ置ケト云フコトデ置
イテ居ル者モアリマスガ、大抵ハ是デヤ逆
モヤリ切レヌト云フノデ止メル、ソレカラ
仔ヲ取ツテソレヲ配給シテヤルコトヲ計畫
スル、仔ヲ取ルト大キナモノデハナクテ仔
豚ナンダカラ食物ガ樂ニナル、ソコデ小サ
イヤツヲ入レロ、ト云フノデ漸ク仔豚ヲ
飼ツテ居ルノデアアル、トコロガ今度ハ
豚ノ仔ヲ飼フノガ飼ヘナクナツタ、ト云フ
ノハ豚ノ仔ト云フモノハ十五圓、十六圓デ
賣ツテ居ツタモノガ最近一月ニナツテカラ
農林省ハ一頭五圓以上ニ賣ツテハナラス、
三貫目以上ハ十五圓以上デ賣ツテモ宜シイ
ト云フコトデ、仔ヲ飼フコトモ引合ハナク
ナツタ、已ムヲ得ズ妊娠豚ヲ賣ツテ居ル、
斯ウ云フコトデアアルカラ豚ノ仔ハ盡キテシ
マフト云フコトニナルノデスガ、是ハ農林
省ガ黙ツテ居サヘスレバ、豚ヲ維持出來ル
ガ、現在ノヤウナ状態デハ豚ヲ無クナス爲
ニ御努力ニナル御考ヘデアリマセウカ

○三浦(一)政府委員 豚ノ販賣ノコトデゴ
ザイマスガ、實ハ臨時議會ノ際ニモ御議論
ガアツテ、特ニ御關係ノ深い方々ノ御援助
ニ依ツテ地方ノ事情ヲ調査シテ、ヤリ方モ
刷新シテ參リマシタノデ、昨今デハ非常ニ
其ノ點モ改善サレテ居ル、マダ福島縣方面
ニサウ云フ合理的ニナツテ居マス點モ
アラウカト思ヒマスガ改善シテ有畜農業ヲ
進メルト云フコトガ吾々ノ念願デゴザイマ
スカラ、一層實情ニ即シテ改善法ヲ執リタ
イト考ヘテ居リマス、決シテ有畜農業ヲ止
メルドコロデハナイ、ドン、進メテ行カ
ナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○山田(六)委員 サウスルト豚ニナツタモ
ノハ漸次賣ル御計畫ガ出來上ツタノデス
カ、ソレハ今一ツハ仔豚ノ價格ヲ非常ニ安
イモノニ公定シテ引合ハヌト云フコトハ是
ハ明カナ問題デアリマス、此ノ價格ハマ
ア一月ニ決メタバカリデスカラ今直スト云
フ譯ニモ行キマスマイガ、之ヲ直サナカツ
タナラバ仔豚ヲ飼フ者ハ無クナルト思フノ
デアリマス、是ハ日本中何處デモサウダラ
ウト思フ、現在ノヤウニ五圓位ニ仔ヲ賣ツ
テハヤツテ行ケルモノデハナイ、何トカ之
ヲ御配慮願ツテセメテ豚グライ飼ヒ易イ形
式ヲ作ツテ貰ヒタイト思フノデスガ如何デ
スカ

○岸政府委員 中途デ御話ヲ承ツタノデス
ガ、仔豚ノ價格ヲ安ク公定サレテ居ルト云
フコトデゴザイマス、是ハサウ云フ聲ガ度
度アルノデアリマシテ、畜産會ノ會合等ニ
於テモ或ル程度上ゲテ吳レト云フ御希望ガ
アリマスノデ、目下研究シテ居ル筈デアリ
マス、其ノ點御諒承願ヒタイト思ヒマス

○森田委員長代理 吉田君

○吉田委員 厚生次官ガ見エヌ時ニ相當詳
シク述ベマシタノデ、質問ノ理由ナドハ大
體省略致シマス、主トシテ都市産業ノ問題デ
アリマスガ、現在青少年工ノ體位ガ相當低
下シテ居ルト思ヒマス、其ノ思想モ必ズシ
モ非常ニ健全デアルトハ申サレマセヌ、犯
罪者數モ激増シテ居リマス、是ハ由ツテ來ル
所ガ料亭トカ「カフェ」トカ、サウ云フ酒
食ノ巷トノ關係ガ非常ニ深いノデゴザイマ
ス、故ニ此ノ委員會ノ席上伺フコトニナツ
タノデゴザイマス、ソコデ現在一方食糧問
題トシテ、此ノ種ノ問題ニ種々施策ヲ必要
ト致シマスルト共ニ、他面ニ於キマシテ、
之ヲ思想對策トシテ、乃至ハ是等ノ者ノ指
導訓練ノ問題ト致シマシテ、色々ナ面カラ協

力シテ行クト云フノデナイト、青少年工ノ體位ヲ回復シ、乃至ハ勞働力ヲ回復スルコトハ困難デハナイカト思フノデアリマス、是ハ一面又勞働ノ給源ガ農村ニアリマスノデ、農村ノ立場カラ見マス、農村ノ子弟ガ都市ニ參リマシテ——自ラオ國ノ爲ニ國民食糧ヲ生産シマシタ農村ノ親達ノ子弟ガ都市ニ參ツテ、其ノ又食糧ノ問題ニ關聯致シマシテ思想ナリ、體位ナリ、勞働力等ガ非常ニ惡化シテ居ルト云フヤウナ實情ニ直面シテ居ル、斯ウ云フ問題デアリマス、就キマシテ伺ヒタイ點ハ此ノ重大ナ問題ニ對シマシテドウ云フ對策ヲ御持チニナルノデアラウカ、又産報ナドニ依リマシテ種々從業者ガ指導サレテ居リマスガ、茲ニ一ツ寧ろ工場内ノ指導ノ立場ニアル者、或ハ工場ノ經營者、斯ウ云フ立場ノ人ニ對シマシテ、積極的ニ種々ノ觀點カラ指導訓練ヲスルト云フコトヲ講ジナケレバ、此ノ大キナ問題ヲ解決スルコトガ困難デハナイカ、斯ウ思ツテ居ルノデアリマス、卑見ヲ述ベテ一ツ御意見ヲ伺ヒタイ

○持永政府委員 只今ノ御意見御尤モト思ヒマス、事業ガ急ニ擴大致シマシタ爲ニ、勞務者殊ニ青少年勞務者ノ中ニ如何ハシイ風紀ニ陥ツタリ、或ハ酒食ニ耽ケル者ガ段々殖エテ來ルト云フコトハ、事實デアリマス、隨テソレニ對スル指導訓練、或ハ教養ト云フコトガ非常ニ重要デアルト思ヒマス、ソレニ付キマシテ厚生省トシテ目下考ヘテ居リマスノハ、近ク重要事業場管理令ト云フモノヲ、總動員法ノ附屬勅令デ出シマシテ、其ノ重要事業場ニ於キマシテハ、各個別毎ニ青少年工モ含メテ、全般ノ勞務者ニ對スル思想的ノ教養、或ハ體育訓練ト云フコトニ

付キマシテ、一々具體的ナ對策ヲ出サセマシテ、サウ云フ弊害ノナイヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス、尤モ此ノヤリ方ハ昨年ノ末頃カラ徵用工場ガアリマシテ、農村カラ——農村カラハ餘リ採ツテ居リマセヌガ、多少徵用工場ニ勞働者ヲ連レテ來テ居リマス、サウ云フ所ニハサウ云フ勅令ガ發布サレル前カラ既ニ相當實施シテ居リマスガ、今度ハ勅令ガ出マス、ソレニ基イテ一層強力ナル教養訓練、或ハ保健衛生ニ關スル對策ヲ各工場毎ニ具體ニ出サセマシテ、ソレニ依ツテ改善シテ行クト云フヤウニ考ヘテ居リマス、特ニ御話ノアリマシタ事業場ニ於ケル經營者、企業者ノ指導訓練ト云フコトモ最重要デアリマシテ、一工場内ニ於テ考ヘマス、其ノ指導者タル經營者、或ハ工場長ガ率先シテ青少年ヲ率キテ行クト云フヤウナ氣魄ト力ガナケレバナラヌト考ヘマス、サウ云フ者ニ付キマシテハ、幹部トシテヤハリ教養訓練ノ方法ヲ考ヘテ居リマス、或ハ行ヲヤラセルトカ、或ハ又修養講話ヲサセルト云フヤウナ方法ニ依リマシテ、幹部ガケノ特別ナル修養訓練ノ計畫ヲシテ居リマス、サウシテ其ノ幹部ガ主ニナツテ、其ノ青少年及ビ一般ノ勞務者ノ教養訓練或ハ保健衛生ヲ十分ニスルト云フ風ニシテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙又ソレハ行政事務トシテ考ヘテ居ルノデアリマスガ、只今モ御話ノアリマシタ産業報國運動致シマシテハ、既ニ經營者ト勞務者トガ一丸トナリマシテ、産業報國精神ニ基イテ各種ノ仕事ヲヤツテ居リマス、特ニ青少年ニ付キマシテハ、青年隊ト云フモノヲ工場内ニ作ラセマシテ、自治的ニ訓練教養ニ當ルト云フコト

トニ努メテ居リマス、是ハ昨年から始メテ居ルノデアリマシテ、マダ十分ニ設置ガ出來テ居リマセヌガ、漸次其ノ青年隊ノ設置ガ増加シテ居リマス、自治的ニハ其ノ産業報國ノ問題ハ綜合的ニ考ヘルベキ問題デアリマシテ、單ニ勞働方面ノミデ此ノ問題ハ解決シナイト思ヒマスガ、目下私ノ方ノ立場カラ考ヘテ居リマス事項ハ、斯ウ云フ點ヲ近ク實施シタイト思ヒマシテ進メテ居リマス、ソレハ第一ニ工場ニ入りマス際ニ、嚴重ナル身體検査ヲスルト云フコトヲ考ヘタイ、從來ハ各工場ガ任意ニヤツテ居リマシテ、其ノヤツテ居ル所デモ非常ニ不十分ナ體格検査デアリマス、然ル所最近徵用工場ノ實際ヲ見マス、徵用工場ノ勞務者ヲ徵用シテ持ツテ來ル場合ニ、嚴重ナル身體検査ヲサセマシタ其ノ結果、入ル前カラ結核性ノ疾患ヲ持ツテ居ル者ガ相當アル、殊ニ熱ヲ持ツテ居ル者ガ來テ居ルト云フ事實モ相當アツタノデアリス、サウ云フ人達ガ直チニ工場ニ入ツテ仕事ニ就キマス、是ガ非常ニ惡化スルト云フコトハ明白デアリマス、先ヅ採用時ニ於テ適正ナル健康診斷ヲスル、サウシテ病氣ヲ持ツテ居ル者トカ、或ハ勞働ニ就クト直チニ發病スルト云フヤウナ者ニ付キマシテハ、一應勞務者トシテハ不適格トシテ仕事ヲ止メサセルト云フコトヲシタイ、ソレカラ第二ニハ從來トモ或ル程度ヤツテ居リマシタガ、不十分デアリマスノデ今度改正シタイト云フノハ、採用後ニ於ケル健康診斷デアリマス、從來ハ五百人以上ノ勞務者ヲ使ツテ居リマス工場デハ、工場醫ガアリマシテ、年々一回定期的ニ健康診斷ヲヤリマシタガ、今度ハ工場法ノ適用ノアル工場ニ付キマシテハ、全部之ヲ適用致シ

○吉田委員 農村ノ勞力ガ年齢トカ體位トカ性別等々カラ、非常ニ劣惡化スル趨勢ニゴザイマス、其ノ一ツノ原因ト致シマシテ都會カラ歸村致シマスル者ガ、其ノ劣惡ナ條件ヲ持ツテ歸ツテ居ル、言ヒ換ヘマス、病氣ニナレバ農村ニ歸ツテ來ル、此ノ事實ハ到ル處ニ見得ルノデゴザイマシテ、是ハ既ニ厚生省ト致シマシテ特ニ御承知ノコトト存ジマス、ソコデ只今ノ指導訓練等ニ付キマシテ、報國隊ガ出來乃至ハ産報ノ訓練ナドモ存ジテ居リマスケレドモ、更ニ進ンデ保健衛生、健康ヲ維持増進スルト云フ方面ニ向ツテ進マナケレバナラヌ、即チ今ハ主トシテ精神訓練ニ重點ガ置カレテ居ルヤウデアリマス、例ハバ諷ヲスルトカ、或ハ靜坐ヲスル、講話ヲスルト云フヤウナ、主トシテ精神訓練ノヤウデアリマスガ、モツト深甚ナル注意ヲ拂ツタ、健康ノ維持増進ト云フコトニ深く考慮ヲセラレルコトガ、是ガ他面農村ノ勞働力ヲ維持培養シテ行ク上ニ於テ、適切ナ方法デアラウカト考ヘルノデアリマス、就キマシテ何カサウ云フコトニ付テ御工夫ナリ政策的ナ方面ノ動向等デモゴザイマスレバ、伺ツテ置キタイト思ヒマス

○持永政府委員 只今ノ御意見御尤モト存ジマスガ、農村カラ從來多數ノ青少年ガ工場ニ參リマシテ、其ノ結果病氣ニ罹ツ

マシテ、採用後ニ於テ身體検査ヲスル、而モ特ニ結核性ノ検査ヲ十分ニスル、其ノ爲ニ決シテ經費ヲ掛ルト云フ譯デモナイヤウデアリマス、一人當リ一圓五十錢平均アリマス、大體全部ノ検査ガ出來ルノデアリマシテ、其ノ程度ノ負擔ナラバ、大シタ負擔デアアリマセヌカラ、採用後ニ於テモ定期的ニ全部ノ適用工場ニ付テ徹底シタ身體検査ヲ致シマス、其ノ結果病氣ヲ持つテ居ル者トカ、或ハ労働ニ就カセルノハ無理ダト云フ者ニ付キマシテハ、或ハ辭メテ貰フ、又他ノ輕イ仕事ニ就カセルト云フヤウナ方法ヲ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ第三ニハ、採用後ノ健康診断ノ結果、病氣ノアル労働者ニ對シテハ、工場醫ガ、才前ハ歸ツテ何處ノ病院ニ入レ、或ハ都會ノ何處ノ病院ニ行ケ、又轉地療養ヲセヨト云フヤウナ方法トカ、或ハ工場内ニ於キマシテモ輕イ仕事ニ就ケトカ、或ハ榮養ヲ斯ウ云フヤウニシトロト云フヤウニ、適切ナル療養ノ途ヲ教ヘル、サウ云フ大體三ツノ方法ニ依リマシテ、労働者ノ健康ノ保持ト云フコトニ付キマシテ、今後努力ヲ致シタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○吉田委員 農村カラ出テ工場ニ入ル前ノ診断デハ健康デアツテ、労働ニ服シテカラ後ニ病氣ニナツタ、サウ云フ場合ニ健康保險法等ニ依リ保護ハゴザイマスケレドモ、ソレハ一定期間ニ過ギマセヌ、或ル條件ニ限ラレテ居ル、其ノ後或ル病院ニ行ツテ治療シロトカ、或ハ治ス方法ヲ指導サレルト致シマシテモ、ソレデハ元ノ身體ニナラス、今ヤハリ農村カラ労働者ヲ出シテ居ル者トシテ之ヲ見マス時ニハ、都會ニ出テ工場ニ入ツテ其ノ後病氣ニナツタラ、何トカ都會

ニ於テ病氣ヲ治シテ戴キタイ、ソレガ結局家ハ歸ルノデアリマスカラ、衛生知識ノナイ農村ニ於キマシテハ、殊ニ結核性疾患ニ於キマシテハ、蔓延スル以外ニハアリマセヌ

〔森田委員長代理退席、委員長着席〕
此ノ事ガ結局農村ノ體位ヲ劣弱化スル大キナ原因デアアルシ、又都市側ニ於ケル一ツノ缺陷デヤナイカト思ヒマス、之ニ對スル指導ハ要スルニ政府ガスルヨリ途ガナイノデハナイカト考ヘマスガ如何デスカ

○持永政府委員 只今ノ問題ハ非常ニ大事ナ問題デアアルノミナラズ、非常ニ難カシイ問題ダト思ヒマス、私共ノ考ヘカラ申上ゲマス、農村問題ニ付テ、工場デ病氣ニナツタ人ヲ農村ニ歸サナイト云フコトヲ、勿論理想ト致シマスガ、現在ノ日本ノ療養施設ト致シマシテハ、其ノ全部ノ人ヲ受容レルダケノ施設ガナイノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、是ハ例デアリマスガ、出征又ハ應召シテ外地ニ行ツタ人ガ、非常ニ結核性疾患ニ罹リ易イト云フコトハ御存ジダト思ヒマスガ、サウ云フ軍人ニ對シマシテハ國ガ責任ヲ持つテ全部ノ患者ヲ收容保護スル施設ヲ考ヘテ居リマスガ、工場労働者ニ付テハ、實ハソコマデ徹底シタ施設ガゴザイマセヌ、是ハ國家トシマシテ洵ニ遺憾デアルト云フ風ニ私モ思ヒマスガ、ソレニ付キマシテハ今後厚生省トシマシテ、或ハ醫療團ノ事業トカ、又其ノ他公共團體等ノ施設ヲ擴充致シマシテ、出來ル限り農村ニ歸サナイ、サウシテ其ノ工場ノ附近、或ハ都會ニ於テ治シテカラ歸スヤウニスルコトニ努メネバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居リマス、唯遺憾ナコトハ、現在ノ所デハ全部ノサ

ウ云フ患者ヲ受容レルダケノ施設ガナイト云フ點デアリマシテ、之ニ付キマシテハ、國家トシテ遺憾ニ堪ヘナイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○吉田委員 了承致シマシタガ、更ニ今後ハ共榮團ノ確立等ニ連レマシテ南方ヘ向ツテ、例ヘバ纖維製品ナドガ相當多量ニ輸出サレルヤウナ時代ニナル時ニハ、内地ノ纖維工業ノ復活ト云フコトニモナリ、其ノ労働ノ給源ト致シマシテ、農村カラ勢ヒ相當ナ女工ガ又轉出シテ行ク、斯ウ云フコトモ今日ハ想像シ得ラレル時デアリマス、隨テ現在都市側ニ適切ナ施設ノナイコトヲ國家トシテ遺憾ニ御思ヒニナルナラバ、此ノ將來ノ問題ニ備ヘル爲ニモ、出來ルダケ都市ニ於キマシテ、サウ云フ疾患ニ對シテ完全ニ治療スル設備ヲ持つヤウナ方向ヘ、國策ヲ樹立スルコトガ願ハシイト思フノデアリマス、是ハ希望意見ト致シマシテ、何カ之ニ對シテ御意見ガアレバ伺フ程度ニ致シマシテ、アナタヘノ質疑ハ是デ終リマス、ゴザイマセヌケレバ次ニ移リマス

○三善委員長 アリマセヌ

○吉田委員 大臣ニ御尋ネシタイ事柄ガゴザイマスノデスガ、是ハ御答辯ヲ次官カラ願ヘル範圍ニ於キマシテ、御願ヒシテ置キマス、若シ出來マセヌバ御傳達ヲ願ツテ御答ヘヲ賜リタイト思ヒマス、昨年一月臨時閣議ニ於テ人口對策ガ立テラレテマシタ、此ノ中基本人口ノ保護培養ノ方針トシテ、國內竝ニ滿支ヲ通ジテ人口ノ四割ヲ農業ニ確保スル、斯ウ云ウ方針ガ立ツタト承ツテ居ルノデスガ、現内閣モ其ノ方針ハ御踏襲ニナツテ居ルノデセウカ

○三浦(一)政府委員 内閣ノ方針デゴザイ

マスガ、昨年一月ノ閣議決定デハ、丁度御說ノヤウニ決マツテ居ルヤウニ存ジマス、ソレヲ此ノ東條内閣デ人口政策ヲ其ノ通りニシテ居ルカドウカト云フコトハ、一寸内閣ノコトデゴザイマスカラ何デスケレドモ、當然事務當局ト致シマシテハ、其ノ方向デ進マナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○吉田委員 是ハ大臣カラ御答ヘ願ツタ方ガ適切ト思ヒマスガ、如何デスカ、進ンデ之ニ關聯シテ御尋ネシタイノデスガ……

○三浦(一)政府委員 明日大臣ガオ見えナリマスカラ、内閣ガ此ノ政策ヲ踏襲シテ居ルカドウカト云フ問題ハ、其ノ際ニ大臣カラ御答ヘスルコトニシテモ宜シウゴザイマス

○吉田委員 ソレヲ前提ニシテ御尋ネシタイノデアリマス、大體サモアルコトト思フノデゴザイマスガ、所デ四割ノ農業人口ヲ日滿支通ジテ保護培養スルト云フ此ノ極メテ根本的ナ人口國策デアリマスガ、之ヲナサントスルニ付テノ具體的ナ方針ハドウナルデアラウカ、例ヘバ漫然ト人口ノ保護培養ヲ考ヘマシテモ、出來ナイコトハ勿論デアリマス、現在日本人口ノ動態ガ必ズシモ樂觀ヲ許サナイ、由ツテ來ル原因ハ、物質的ニモ精神的ニモ種々ノ原因ガアル譯デアリマスカラ、ソコデ農業ト農民ト、ソレ等ノ諸條件トノ關聯ニ於キマシテハ、種々檢討スベキ事柄ガアラウト存ズルノデアリマス、殊ニ第一ニ現在ノ農業農家ヲ以テ致シマシテハ、寧ろ生活條件ガ低下シテ行キマスノデ、是レ以上健全ナ優秀ナ日本民族ノ培養ト致シマシテハ、種々困難ナ事情ニアルノデハナイカ根本的ニ之ヲ憂ヘテ居ルノデアリマス、是等ニ付キマシテ、當局ハドウ御

○吉田委員 大臣ニ御尋ネシタイ事柄ガゴザイマスノデスガ、是ハ御答辯ヲ次官カラ願ヘル範圍ニ於キマシテ、御願ヒシテ置キマス、若シ出來マセヌバ御傳達ヲ願ツテ御答ヘヲ賜リタイト思ヒマス、昨年一月臨時閣議ニ於テ人口對策ガ立テラレテマシタ、此ノ中基本人口ノ保護培養ノ方針トシテ、國內竝ニ滿支ヲ通ジテ人口ノ四割ヲ農業ニ確保スル、斯ウ云ウ方針ガ立ツタト承ツテ居ルノデスガ、現内閣モ其ノ方針ハ御踏襲ニナツテ居ルノデセウカ

○三浦(一)政府委員 内閣ノ方針デゴザイ

マスガ、昨年一月ノ閣議決定デハ、丁度御說ノヤウニ決マツテ居ルヤウニ存ジマス、ソレヲ此ノ東條内閣デ人口政策ヲ其ノ通りニシテ居ルカドウカト云フコトハ、一寸内閣ノコトデゴザイマスカラ何デスケレドモ、當然事務當局ト致シマシテハ、其ノ方向デ進マナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○吉田委員 是ハ大臣カラ御答ヘ願ツタ方ガ適切ト思ヒマスガ、如何デスカ、進ンデ之ニ關聯シテ御尋ネシタイノデスガ……

考ヘニナツテ居ルノデセウカ、即チ此ノ儘
デナイコトハ勿論デ、色々ナ點カラ改善ヲ
シヨウトナサル努力ハ見エマスケレドモ、
相當大キナ改善トカ改革ト云フコトニ手ヲ
着ケナイ限リハ、此ノ基本國策ノ維持ト云
フコトハ困難ニナルノデハナイカ、斯ウ一
般のニ考ヘテ居ルノデセウカ、如何デゴザ
イマセウカ

○三浦(一)政府委員 人口政策ノ問題ハ、
實ハ綜合的ニ各方面カラ見マス、其ノ完
璧ガ期セラレヌト思フノデアリマス、隨テ
人口政策全般ニ付テドウノ斯ウノト云フ問
題ハ、頗ル重大ナ問題デアリマス、同時ニ頗
ル困難デアラウト思フノデアリマス、昨年
ノ一月ノ閣議決定ハ、大體其ノ方向ハ示シ
テアルモノト思フノデアリマス、當時既
ニ其ノ方針ハ發表モサレテ居ルト思フノデ
アリマス、其ノ方針ヲ概ネ踏襲サレルコ
トト存ズルノデアリマス、ソコデ此ノ人口
政策ヲ遂行スルニ付キマシテ、ヤハリ産業
經濟ノ政策ノ重要デアアルコトハ御説ノ通り
デアリマス、隨テ吾々ハ其ノ見地カラ國內
ニ於ケル農業政策モ十分ニ勘案シ、殊ニ人
口ノ増強ノ爲ニ健全ナル農村ヲ打立テテ
云フコトハ、最モ大事デアリマスカラ、サ
ウ云フコトヲ十分ニ念慮ニ置イテ政策ヲ樹
立實行シテ参リタイ、斯ウ考ヘテ居ル譯デ
アリマス

○吉田委員 其ノ問題ノ解決ノ重要ナル一
方法ト致シマシテハ、先ヅ第一ニハ所謂最近
使ハレマスル國本の農家ノ建設ノ方策、是
ガ大事デアアルノデハナイデアラウカ、凡ソ
農家ノ最モ健全ナル生活ヲナス時ニ、吾々
ノ望ム人口ガ得ラレルト思ヒマス、即チ政府
ガ決定致シテ居リマシタ内容ヲ見マスルト、

一夫婦五兒ヲ標準ニ致シテ居ルヤウデアリマ
ス、是ハ洵ニ日本ノ種々ノ點カラ見マシテ、學
者、實際家ノ賞讃スル標準デアアルノデゴザ
イマス、所デ夫婦五兒ガ飯ガ食ヘテ、親ハ子
ノ扶養教育ヲナシテ行キ得ル物質ト、隨テ
今日ハ又金錢或ハ時間ヲ得ルコト、又精神
の方面ニ於キマシテハ、是等ノ子女ヲ教養
シ得ル所ノ皇民の自覺ガアルコト、斯ウ
云フヤウナモノガ其ノ典型のナ國本のナ農
家ノ物質的、精神的ノ條件ニナルノデハナ
イデアラウカ、斯ウ思フノデアリマス、

サウ云フモノガ設定セラレルト云フコト
ガ、此ノ四割農業維持ト云フコトノ基本條
件ニナルノデハナイカ、此處ヘ着目致シマ
スルト、ドウシテモ相當ナ改革ヲ加ヘテ行
クノデナケレバナラナイノデハナイカト思
フノデアリマス、其ノ點ハ今ノ御説ニ依リ
マシテ、又大臣カラモ色々ト御述ベニナツ
テ居ツタ點デ、相當政府ノ決意モ窺ハレルノ
デアリマスガ、此處ヘ向ツテ進ンデ行カウ
ト致シマス、私ハ例ヘバ今日ノ小作農ノ
問題ニ致シマシテモ、從來ノ小作農ニ對ス
ル種々ノ批判トカ考ヘ方ハ別ト致シマシテ、
此ノ共榮圈指導ノ國家ノ基本國策トシテノ
人口國策 國本問題ノ解決ト云フ意味ニ於
キマシテ、典型のナル農家ガ出來ナケレバ
ナラヌノデハナイカ、尤モ之ニ付キマシテ
ハ、或ハ自作農創定ナリ、或ハ適正規模ノ
農家ニシテ行クト云フ目標ヲ打立テテ、一戸
何町歩ノ大キサノ土地ガ必要デアルトカ云
フ方面カラノ檢討モ必要グラウト思ヒマス
ルケレドモ、曩ニ述ベマシタ物質的、精神
的の二ツノ兼テ備ハリマシタ條件ガ、家ノ中
ニアルト云フ方面カラ、積極的ニ新シイ典
型的ナ農家ヲ作りマシテ、全國的ニ之ヲ行

ツテ行クト云フ方向ヘ、新シキ農村ノ編成
乃至ハ農業ノ編成ノ目標ガ置カレルノデナ
ケレバナラナイデヤナイカ、斯ウ考ヘテ居
リマスガ、如何デゴザイマセウカ

○三浦(一)政府委員 我ガ國ノ農村對策ト
シテ、結局健全ナル農家ヲ作り上ゲテ參ル、
而シテ其ノ健全ナル農家ヲ作り上ゲルニ付
テノ物心兩面ノ要件ハ、即チ一面ニ於テハ
適當ナル農地、其ノ他ノ農業設備ヲ持ツト
云フコト、同時ニ又家族ノ構成等ニ付キマ
シテモ、只今御説ノヤウナ、所謂物心兼ネ
備ツタ一ツノ適正ナル目標トモ申シマセ
ウカ、左様ナモノダト思フノデアリマス、
左様ニ致シマスルト、結局農林省等デ言ヒ
マスルヤウニ、適正規模ノ農家ヲ創定シテ
參ルト云フコトガ、一番大事ナコトデゴザ
イマシテ、此ノ爲ニハ耕地ノ擴大ノ政策デ
アルトカ、諸般ノ施設ヲ講ズルト共ニ、農
家自體ノ問題トシマシテモ、自作農ノ創定
デアルトカ、更ニ又之ヲ擴大強化スルト云
フ施設、更ニ又ドウシテモ農地ガ足りヌモ
ノデアリマスカラ、開拓政策ト相俟ツテ、サ
ウシテ逐次サウ云フヤウナ方向ニ進メテ參
リタイト云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、

今御指摘ニナリマシタ國本農家ノ創設ト云
フ風ナコトモ、或ハサウ云フヤウナ「ライシ」
ニ副フモノデハナイカト思フノデアリマス、
而シテサウ云フ考ヘ方ノ現ハレハ、基本的ナ
モノデアリマスカラ、何處ニドウト云フコ
トヲ申上ゲル暇ハナイ譯デアリマスガ、最
近農業生産統制令等ニ於キマシテモ、特定
ノ規模ヲ持ツテ居ル農家ニ付キマシテハ、
勞働力ノ關係カラ見マシテモ、無方針ニ都
會等ニ移ルコトガナイヤウニ、寧ロ其ノ方
面カラ保護スルト云フ風ナ立法モ致シタ譯

デアリマシテ、適正農家ヲ段々創設シテ參
ル、同時ニ日本ノ民族ガ將來ニ發展スルヤ
ウニ進メテ行キタイト云フコトハ、御説ノ
通りデアリマス

○三善委員 吉田君マダアリマスカ
アナタノ御質疑ハ大分長クナツテ居ルヤウ
デゴザイマスガ、一纏メニシテ大臣ナラ大
臣ニ對スル御質問ヲナサツテハ如何デゴザ
イマスカ、一問一答デハ大分長クナリマス
カラ……

○吉田委員 ソレデハ少シ殘ツテ居ルノヲ
省略致シマシテ簡單ニヤリマス、只今質問
致シマシタ點ヲ結論的ニ伺ツテ置キマスル
ガ、形式的ナ——形式ト云ツテハ惡イノデ
ゴザイマスガ、適正規模ノ農家ノ設定ノ問
題ハ相當時間的ニ、具體的ニ、組織的ニ、
今ノ人口政策ト配合ハセテ、大體或ル分量
ノモノヲ設定シ得ラレルト云フ具體性ヲ持
ツタモノガ出來ツツアルノデセウカ、又サ
ウ云フ風ニ實現シヨウト云フ氣持ニ政府ハ
ナツテ居ルノデセウカ、ドウナノデセウカ

○三浦(一)政府委員 サウ云フ方向ヘ取進
メテ参リタイ……

○吉田委員 方向デハナイ時間的ニ、相當
具體的ニ或ル時マデニ今ノ人口政策ト配合
ハセテ——人口政策ナルモノガ單ニ看板ナ
ラ是ハ無用ノモノデアリマスガ、サウデナ
クシテ具體的ニ、農林國策ハ此ノ面ニ沿ウ
テ、一定期間内ニ相當ノモノヲ實現シヨウ
ト云フコトニナリツツアルノデセウカ

○三浦(一)政府委員 人口政策トノ牽聯ニ
於テハ、マダ具體的ニハ決マツテ居リマセ
ヌ

○吉田委員 本年モ佛印、「タイ」「ビルマ」等
カラ相當ノ外米ノ輸入ガアルモノト豫想シ

テ居リマスガ、此ノ決濟ノ方法ハドウナルノデセウカ、ソレカラ將來南方カラ相當ナ物ヲ取入レルコトニナリマセウガ、此ノ共榮圈範圍内ニ對シテ、日本カラ相當ノ物資ヲ供給シナケレバ、事實上物ノ輸入ハ困難ニナルノデハナイダラウカ、之ニ付キマシテアチラハ送ルベキ物ハ、主トシテ纖維織品其ノ他ノ雜貨アラウト、一般ニ豫想シテ居リマスガ、果シテサウダトシマスルト、外米ノ決濟方法ノ一手段トシテモ重要デア

ル所ノ原料トシテ棉花ヲ、共榮圈ノ範圍内ニ求メルト云フ方策ヲ執ルコトガ必要デハナカラウカ、「インド」トカ「エジプト」トカ「アメリカ」トカ云フモノハ、相手ニスベキデハナイノデアリマスカラ、其ノ點ニ付テ伺ヒタイ

○三浦(一)政府委員 共榮圈ニ於ケル棉花ノ資源ハ色々見方アリマセウガ、樂觀ハ許サレナイト思ヒマス、即チ現在デハ主要産地ハ支那ニ限ラレテ居ル譯デアリマス、但シ佛印、「タイ」等ニ於キマシテモ棉花ガ全然出ナイ譯デアリマセウガ、是等ノ方面ノ開發ハ將來ニ期待スベキコトデヤナイカト思ヒマス、ソレカラ蘭印、「フィリッピン」ニ於テハ、現在餘リ生産ガナイト思ヒマスガ、是ハ其ノ實地ニ即シテ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、隨テ棉花ノ給源ハ少イ、斯ウ云フコトデアリマスカラ、此ノ纖維原料トシテ棉花ノ取得ニ付テハ相當困難デアラウト思ヒマス、但シ將來ノ問題ト致シマシテハ、支那方面ニ於キマシテモ相當食糧ヲ供給スルコトニ依ツテ、北支其ノ他ノ重要ナル地點ニ於ケル棉花ノ増産ハ、是亦期待ヲ持テルノデヤナイカト思ヒマス、但シ我が國ガ最盛期ニ於テ米糧印棉、「エジ

プト」棉ヲ使ヒマシタ程度ノモノヲ、共榮圈デ取得スルコトハ、到底困難デアラウト思ヒマス、但シ今日ノヤウナ國防國家體制ニナリマスルト、必ズシモ纖維原料ヲ以テ交易品ノ對象トシナイト云フコトニモナツテ、段々轉換シテ參ラウトハ思ヒマス、併シ何レニシテモ棉花ノ重要性ハ變リマセウカラ、是等ハ共榮圈全體ノ農業條件等モ勘案致シマシテ、確平タル政策ヲ立ツベキモノト存ズル次第デアリマス

○吉田委員 節米ノ合理的基礎ハ消費規正ニアルコトハ、今日定論ノヤウデアリマス、ソレニ付キマシテ斯ウ云フ御考ヘハナイデセウカ、此ノ際米麥食ニ偏シナイ所ノ綜合食糧トシテノ戰時標準食ヲ、一ツ何トカ獎勵シテ戴イテハドウデアラウカ、餘所ノ例デアリマスルケレドモ、前ノ歐洲大戰ノ時、「デスマーク」ハ、例ノ「ヒンドヘーデ」ノ考ヘヲ中心ニシマシテ、考ヘノ如何ハ別トシマシテ、戰時食制調査會ヲ作ツテ、國內デ生産スルモノヲ以テ自給スルコトヲ建前カラアスコノ食制ヲ規定致シマシタノデ、前ノ大戰ハ「デスマーク」ハ是デ完全ニ乗切ツテ居リマス、「ドイッ」ハサウデナクシテ外來ノ色々ノモノヲ其ノ儘踏襲シタヤウナ恰好ニナツタ食糧政策デアリマシタノデ、アア云フ困難ニ陥ツテシマツタノデハナカラウカト思ヒマス、日本モ消費規正ニ付テ一段ト此ノ際本當ニ節米ト營養トヲ兼ネ其ノ目的ヲ達成スルヤウナ方法ヲ考ヘル途ハナイデアリマセウカ

○三浦(一)政府委員 綜合的ニ食糧ヲ節約スル爲ニ標準食ノ如キモノヲ設定シテハドウカト云フ御意見デアリマスガ、是ハ「デスマーク」ノ例モ引カレタ譯デアリマスガ、アノ地方ノ食制ト日本ノ食制トハ非常ニ本質的ニ異ツテ居リマスルノデ、必ズシモアア云フ方式ヲ執レルカドウカ研究シテ見ナイトイカヌノデアリマスガ、要スルニ此ノ問題ハ澱粉、蛋白、ソレカラ脂肪ト云フモノヲ節約シナガラモ、健康ヲ保持シ、同時ニ又生活ノ安定ヲ確保スルコト云フ意味デ綜合的ニ、而モ適正ニ配給セラレナケレバナラヌト云フコトハ戰時食糧對策ノ要點デアラウト思フノデアリマス、所ガ御承知ノ通り我が國デハ米等ニ付キマシテハ從來カラ非常ニ管理ガ進ンデ居リマシタ譯デアリマスガ、其ノ他ノ食料品ニ付キマシテハ相當ニ惠マレタ國柄デアリマシタ關係上、トモスルト此ノ方面ニ對スル各種統制ノ方法モ盡サレテ居ラナカツタト云フノデ、段々「パランス」ガ取レナクナツテ來タト云フコトモ否定出來ナイダラウト思フノデアリマス、然ルニ今日デハ其ノ點ハ十分調整サレナケレバナラヌト考ヘマスルノデ、農林省トシマシテハ、澱粉、蛋白、脂肪ノ三者ヲ配合ハシテ、之ニ適當ナル數量ヲ供給シテ參ルト云フ風ニ段々考ヘテ參ツタノデアリマス、是等ガマダ尙ホ十分ニ改善サレナケレバナラヌ點、同時ニ又手ヲ盡サナケレバナラヌ點ガアルノデアリマスガ、逐次サウ云フ風ナ方向ニ向ツテ改善シテ參リタイト思ヒマス、標準食ノ設定等ノ御意見モアリマスルガ、寧ロサウ云フ風ナ考ヘ方ノ方ガ戰時食糧ノ確保ノ點カラ適當デハナイカト思ツテ居リマス

○三善委員長 吉田君アナタハマダ御質問ガアルト思ヒマスケレドモ、他ノ方モマダ大分質問ガアリマスカラ、アナタノ御質問ハ其ノ程度デ御止メヲ願ヒタイト思ヒマス、時間ガアリマシタラバ、或ハ御許シヨスル機會ガアルカモ知レヌト思ヒマスガ、大體是デ終了サレタモノト御承知ヲ願ヒマス 森田君ガ先般質問ノ際留保致シテ居ラレマシタノガアリマスカラ、此ノ際森田君ニ御許シマス——森田君

○森田(重)委員 時間ノ關係デ私モ簡單ニ御尋ネ致シマス、唯私ハ全部ニ互ツタ綜合性ヲ持ツヤウナ聽キ方ヲ致シタイト思ツテ、タド／＼シイ足取りデヤツテ居ル中ニ時間ガ過ギテシマツタノデアリマスガ、其ノ意味デ簡明ニ御答ヘヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、第一ハ日本ノ農業經營ノ根本樣式ヲドウスルカト云フ問題デアリマス、是ハ此ノ間平野力藏サンカラモ質問ガアリマシテ、大臣ハ大體ニ於テ私等ガ考ヘテ居ルヤウナコトヲ御答ヘノヤウデアリマス、所ガ實際ニ於テ此ノ點ニ關シ「イデオロギー」ノ上ニ惑ヒガアルモノノヤウデアル、ソレハ何カト言ヒマス、此ノ共同經營ト云フモノヲ一體農林省ハドウ云フ風ナ指導ノ方針デヤツテ居ルノカト云フコトデアリマス、是ハ昭和五年、六年頃日本ニ盛ンニ共產主義ニ類似スル思想ガ入ツテ來タ時ニ、此ノ共同經營ト云フモノハ部落共產體ノ姿ニ於テヤラレルト云フ意見ガ相當濃厚デアツタ、當時私等ハ橘孝三郎君等ト一緒ニ、ソレハ斷ジテ日本ノ農村ニ適スルモノデハナイト云フ意見ヲ立テ一家族單位ノ純粹共同組合ト云フモノデ行カウデヤナイカ、詰リ共同組合的ニ共同ノ出來ル部分ハ共同スルガ、併シ經營ノ責任ノ歸着點ト云フモノハ一家族ニアルノダ、此ノ方法デ行カクチャナラヌト云フコトデ「イデオロギー」ノ上ノ非常ナ争ヒガアツタノデアアル、私等ハ今以テ

其ノ方向ヲ變ヘルモノデハナイシ、且是ニ準ズルノデナクテハ日本ノ農村ハ立チ行カヌモノデアルト確信スル、然ルニ最近努力不足ニ乘ジテ再ビ此ノ共同經營論ガ地方ニ出テ來テ居ル、サウシテ若イ青年諸君ハ何カシラ革新的ノモノヲヤラウトスルト直グ共同經營論ハ持つテ行キタガヤウデアアル併シ此ノ共同經營ハヤハリ共同ノ出來ル部分ダケハ共同スルノダ、即チ作業ノ共同マデハ許サレテ宜イカ、危險ノ負擔マデ一緒ニスル全體ノ組合經營デ行カウト云フナラバ、是ハ完全ナ部落共產體トナルデアツテ、我々ノ斷ジテ贊シ能ハザル所デアル此處ヲハツキリシテ置カナイト日本ノ農村ノ指導ノ上ニ思想上ノ誤リヲ起スモノデアルト思フ此ノ間ノ大臣ノ御答ヘダト經營ノ責任ハ一家族單位トシ共同ノ出來ル所ダケハ合體デ行キタイト云フ御答ヘノヤウデシタガ、此ノ間米倉茂俊ト云フ人ノ農業共同經營ノ實證的研究ト云フモノヲ讀ンデ見タ、サウスルトヤハリ斯ウ云フヤウナ定義ヲシテ居ルノデス、農業共同經營トハ二戸以上ノ農業者ガ相集リ——其ノ次ガ大事ナンデス——土地、資本、努力ノ三要素ヲ提供シテ農業生産過程ノ共同ヲ行ヒ——其ノ次ガ大事デアアル——收益ノ分配、即チ危險負擔ニ至ルマデノ共同ニ依ル農業ヲ營ム形態ヲ云フ——斯ウ云フノデアリマス、是ダト土地ト資本ト努力ト全部提供シ合ツテ、サウシテ其ノ收益ノ分配ト危險負擔マデ共同經營ニシテ行カウト云フノデアアル、是ハ個人ノ意見ナラバ別ナンデスガ、是ハ何處カラ援用サレタモノカト讀ンデ見ルト、帝國農會デ昭和十四年三月發行ノ農業共同經營調査書中ノ「農業共同經營ノ意義」ト云フモノカラ引張

ラレテ來テ居ル定義ナンデス、之ヲ見マストヤハリ依然トシテ元ノ部落共產ニ類スルヤウナ意味ノモノガ此ノ農業共同經營トシテ爲サレテ居ルモノノヤウデアアル、斯ウダトスルト是ハヤハリ迷ヒヲ生ズル因トナルノデアアル、私等ハ純正ナ日本ノ農業經營ノ根本方針ハ先ニ述ベタ様式デナケレバナラヌト今以テ信ジテ居ルシ、此ノ間平野サニ對スル農林大臣ノ御答ヘモ其處ニアルモノノヤウデアアル、ソコデ私次官ニ御伺ヒシタイノハ、斯ウ云フヤウナ「イデオロギー」ノ迷ヒト云フモノハ思想ノ混亂ヲ起ス因ニナルノデアアルシ、大臣モサウ云フヤウナ御意見デアアルノデアアルカラ、假令農會デ編纂シタモノナドニ斯ウ云フヤウナモノヲ書イテ居ルトシテモ、是ハ日本ノソレニ適切デハナイノデアアルシサウシテ日本ノ農林省トシテハ斯ウ云フ方針デ行ツテ居ルシダト云フコトヲ何等カノ方法ニ於テハツキリサセテ貫ヒタイ、斯ウ思フノデス、之ヲハツキリナル御意見ガアルカドウカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○三浦(一)政府委員 平野サンガ大臣ニ御質問ニナツタ際ニ私他ノ委員會ニ行ツテ居リマシタモノデスカラ其ノ質疑ノ應答ハ聽キ漏シタノデアリマス、マダ速記ヲ見テ居リマセヌ、併シ此ノ際ハツキリ申上ゲテ置キタイコトハ、所謂共產體の形態ヲ採ラセル意向ハ毫末モアリマセヌ、農村固有ノ各種共同ノ作業デアルトカ、サウ云フヤウナモノハ傳統的ニ日本ニ發達シタモノデアリマス、即チ五人組ノ制度デアルトカ、更ニ又氏神ヲ中心ニシタ各種ノ農村ニ於ケル部落ノ共同のナモノモアル譯デアリマス、是等ハ日本ノ農村ニ發達シマシタ傳統的ナ淳風美

俗ヲ基礎ニシタモノデアリマス、是等ヲ眞ニ探ルコトガ我が國ノ農政上最モ肝要ナ點ダト思フデアリマス、只今色々ノ學稅等モ御擧ゲニナリマシタガ、今ノ方針デハツキリシテ居リマス通り、左様ナ混迷シタル思想ヲ持つテハ居リマセヌ、隨テ指導方針トシマシテハ、日本固有ノ家族形勢ヲ中心ニシタモノヲ取入レマシテ、共同作業等モ指導シテ參リタイト思ヒマス

○森田(重)委員 ソレデハモウ一ツ簡單ニ御伺ヒ致シマスガ、ソレナラバ是ハ共同經營デハナイノデアツテ、共同作業ニナル、茲ニ共同經營ト共同作業トハ私ハ嚴格ニ區別スベキモノダト思ヒマス、此ノ點ニ對シテドウ思ヒマスカ

○三浦(一)政府委員 今申上ゲタ通り共同經營モ提唱ハ別ニ致シテ居リマセヌ、共同作業ハ其ノ作業ノ内容、地方ノ實情ニ依ツテ各種ノモノガアラウト思ヒマス、其ノ點ハモウハツキリシテ居リマセヌ

○森田(重)委員 次ニ努力不足ノ問題ニ對スル農林省ノ御見解ヲ伺ヒマス

努力不足ト斯ウ申シマスガ、是ハ相對的ノ問題デアリマス、一體農林省ナリ、實際ノ問題デアリマス、或ハ理論家ノ農村經營ノ理想形態トシテ居ル所ハ何デアアルカト言フト、是ハ適正規模農家ノ設定ダ、斯ウ云フコトニナル、適正規模農家ノ設定ハ何處カラ出テ來タノデアアルカト言フト、日本ノ過小農家ガイカヌノダ、之ヲ何トカ適正ナル面積ヲ與ヘテ、モツト農家ラシイ生活ノ出來ルヤウナ基礎ヲ與ヘタイ、斯ウ云フ點ニアツタ、サウスルト今日全面的ニ努力不足ダト言ヒマスケレドモ、此ノ努力ノ不足ナル所ガ適正農家ヲ決メル最モ好イ機會デハナイカト思フ、

此ノ努力不足ニ堪ヘ得ナイノデアレバ、ヤハリ日本ノ農業ト云フモノハアノ過小農ノ姿デ行クノガ當リ前ダ、斯ウ云フ結論ニナル、此ノ努力不足ト云フヤウナ與ヘラレタル機會ヲ利用シテ、此ノ不足ハ即チ耕地ノ面積ガ廣クナルト云フ結論ニナルノデアリマスルカラ、ソコデ何カ農林省トシテハ此處ニ對策ヲ講ジテ、適正規模農家ノ設定ニ、此ノ現實ノ與ヘラレタル機會ヲ誘導シテ行クト云フ手ヲ打ツノガ、私ハ政治的ナ意味ノ上カラ考ヘタ農林省ノ執ルベキ最モ重要ナ觀點デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對シテ一體ドウ云フヤウナ手ヲ御打チナサルノデアアルカ、其ノ點ヲ一ツ承リタイノデアリマス

○三浦(一)政府委員 日本ノ農業ガ過小農形態デアリマスコトハ御説ノ通りデアリマシテ、此ノ過小農形態デアルト云フコトニ付キマシテハ、各般ノ問題ガソコニ包藏サレテ居リマス、併シ此ノ過小農形態ノモノデハ所謂百姓ラシイ百姓デハナイ、モツト耕地モ殖ヤス、同時ニ又經營ノ規模モ擴大シテ參リ、本當ニ農家ラシイ農家ヲ作り上ゲルト云フコトガ一番大事ナ點デアアル譯デアリマス、而シテ之ヲヤル爲ニハ農地ガ第一ニ擴大サレナケレバナラナイ、勿論國內ニ於キマシテモ開墾ヲスルトカ、耕地ノ改良ヲスルトカ云フコトデ、耕地ノ擴大ハ求メラレル譯デアリマスケレドモ、到底ソレダケデハイケナイ、サウシマスルトヤハリ新シキ土地ヲ求メテ開拓スルコトガ必要ニナルノデアリマシテ、此ノ意味ニ於キマシテ開拓政策ガ重要ナ點デアリマス、滿洲國ニ對シマスル開拓政策等モ、勿論日本民族ノ大陸發展ノ據點トシテ最モ重要ナ點デア

リマスルカラ、此ノ政策ハ決定サレタ譯デアリマス、是等ノ政策ニ照應シマシテ、ヤハリ適當ナ指導ヲ加ヘ、コソチノ方面ニ發展シテ參ルト云フコトガ大事ナ點ダト思フノデアリマス

モウ一ツハ今日ノヤウナ特ニ戰時體制ニナリマスルト、ヤハリ重工業方面ニモ相當人ガ要ル譯デアリマス、此ノ方面ニモ健全ナル人々ヲ出スト云フコトモ、國策遂行上重要ナコトデアリマスルノデ、其ノ方面ニモ出サナケレバナラス、其ノ際ニ理想的ニ申上ダルナラバ、所謂分村計畫の言ヒマスカ、サウ云フヤウナ方面ニ出シ得ルト一番宜イ譯デアリマス、サウスレバ一面新シキ土地ヲ求メテ開拓スル、他面重工業方面ニ出ル爲ニ、同時ニ過小農形態カラ轉ジテ健全ナル工場労働ノ勞務員ニナルト云フコトモ考ヘラレル譯デアリマス、方向トシテハサウ云フ風ナコトニ馴致シテ參ラナケレバナラスト思ヒマス、即チ第一ハ國內ニ於ケル耕地ノ擴大、第二ハ開拓政策ニ應ジテ、ヤハリ日本民族ノ發展ヲ中心トスル開拓精神ノ涵養、第三ニハ都市方面ニ對スルハツキリシタ労働力ノ供出ト云フ點デ、逐次其ノ方向ニ進ンデ行クベキダト考ヘルノデアリマス

ルガ宜イ、ソレカラモウ一ツ内地ニ開拓スルト仰シヤイマスケレドモ、土地モモウ大體ニ於テ開拓サレ盡シタト見テ宜イ、是カラノコトハ猫額大ノモノニ過ギヌト云フコトニナツテ來ル、又開拓シテ居タ一面荒廢地ガ出テ來テ居ルト云フ此ノ現狀ガカラ、勞力ガ不足ダト云フ結論ニナル、私ノ聽キタイ所ハ其所デス、斯ウ云フ綜合サレタ條件ノ上ノ勞力不足ト云フ現象コソハ如何ニカシテ適正規模農家ヲ創設セヨトノ天與ノ機會デハナイカト、斯ウ言フノデス、ダカラ何カココデ農林省デ手ヲ折ツテ貫ヘナイカ、之ヲ聽キタイノデス、勞力不足ト云フコトハ一人當リノ耕地面積ガ廣クナツタト云フコトナンデス、廣クナツタガ、其ノ廣クナツタ耕地ニ對シテ勞力ガ足ラナイト云フコトデアル、其ノ勞力ヲ何ニ依ツテ補フカト云フコトニ付テ、私ハ農林省ノ手ノ打チ方ヲ承リタイ、ソレハ即チドウ考ヘテモ一面ハ労働ノ合理化ト云フヤウナモノモアリマセウ、舊來ノ労働ノ科學的デナイモノヲ「リファイン」シテ行クト云フコトモ一ツノ行キ方デアリマスガ、是ハ別トシテ措キマシテ、先ヅ私卒直ニ御伺ヒ致シタイノハ、日本ノ農業ノ勞力不足、サウシテ其ノ適正規模農家ニピツタリ合フヤウナ合理性ヲ持タセル爲ニ「機械化」シテ行クト云フコトガ一番大事ナ點ニナツテ居ルノデハナイカト言フノデス、ソコデ此ノ機械化ニ對シテ、一體農林省ハドノ程度ノ御獎勵ト御指導ヲナサツテオイデニナルノデアルカ、サウシテ又其ノ機械化ト言ヒマシテモ、色々直接生産ニ關係ノナイヤウナモノハ別ト致シマシテ、例ヘバ自動耕耘機デス、斯ウ云フヤウナモノノ増強ニ對シテ、農林省ハド

ナ形ノ手ヲ打ツテオイデニナルノデアルカ、此ノ點ニ付テ御伺ヒ致シタイト云フノガ質問ノ焦點ナラバデアリマス

○三浦(一)政府委員 勞力不足ニ對應スル勞力調整ノ問題デアリマスガ、只今森田サシノ前提トセラレル議論ニ付テハ、是ハ色色見方ハアラウト思ヒマスガ、即チ其ノ一人當リノ耕地面積ハ擴大シテ居ルト云フコトガハツキリ言ヘルカドウカト云フ問題デアリマス、是ハ併シ御説デアリマスカラナデスガ、ソレヨリモ寧ロ經營形態ニハ變リハナイ、所ガ經營體ニ於ケル勞力ノ「バランス」ヲ失シテ居ルト云フコトガ、今日ノ勞働力不足ノヤカマシイ點ダト思ヒマス、ソレハ姑ク措キマシテ、假ニ御説ノヤウニ、一戸當リノ耕作面積ガ擴大シテ居ルト見マシテ、ソレニ對スル對策トシテノ機械化ノ問題ハドウカト云フコトデアリマス、是ハ日本ノ農業ガ水田ガ一番重要ナ作業地ニナツテ居ル、此ノ場合ニ付テハ自ラ限界ガアルノデハナイカト云フコトガ從來言ハレテ居リマス、併シソレニシタ所デ、畜力ノ利用等モサシテ居リマスルシ、同時ニ又戰爭ニナリマシテカラ、岡山等デハ、自動耕耘機サヘ生レテ參リマシタ、ソレカラ日清日露ノ戰爭當時ノ農業經營ノ轉換ノ實情ヲ見マシテモ、ヤハリ御指摘ノヤウニ、機械ノ利用ト云フコトハ入レラレテアリマス、詰リソレヲ馴致スルヤウニシナケレバナラスト云フノデ、實ハ昭和十二年ノ事變早々ニ於キマシテモ、勞力ノ調整トシテハ機械化シヨウト云フ方向ニ進ミマシテ相當ナ助成モシタ譯デアリマス、デアリマスケレドモ、所謂機械化ノ問題ハ、北海道等ニ使ハレテ居リマスル大農のナ機械化ハ内地デハ容易

ニ出來マセヌノデ、ソレデ第二段トシテハ畜力ヲ使フ、ソレカラ電動機其ノ他ノ動力機ヲ使ヒマスニシテモ、小規模ノ農業機械ヲ使フト云フ方向ニ進ンダ譯デアリマス、是等ハ從前ニモ増シテ段々考ヘテ參ラネバナラスト思ヒマス、今年ハ特ニ此ノ問題ヲ考ヘテ進メテ參ツタ譯デアリマシタケレドモ、機械ノ製造能力、同時ニ資材ト云フモノハ用兵作戰ノ方面ニ重點ヲ置キタイ、隨ツテ此ノ際ハ十分ソチラノ方面ニ廻セナイト云フ物資動員ノ關係モアリマスノデ、思ヒ通りニ參リマセヌデシタガ、此ノ方面ニ付キマシテハ、今後有畜農業ト相並ンデ畜力ノ利用、同時ニ機械力ノ利用ト云フコトニ付テハ、十分考ヘテ參ラナケレバナラスト思ヒマス

○森田(重)委員 其ノ點ヲモウ少し私追究ト云ツテハラカシイデスガ、御伺ヒ致シタイノデス、此ノ間私或ル方面ノ意見ヲ色々聽イテ見テ、一體下レ位ノ鐵ガアレバ、下レ位ノモノガ造ラレルノカト云フコトヲ調べ見タノデスガ、ソレニ依リマスト一万「トン」ノ鐵ガアレバ、五万臺ノ自動耕耘機ガ出來ルト、斯ウ言フノデス、サウシテ昭和十五年度ニ於テハ一万五千臺造ルダケノ生産能力ガアルト云フノデス換言スレバ三千トンノ鐵ガアレバ製造能力ト「タイアップ」スル一万五千臺ノ耕耘機ガ出來ルノデアリマス、ココヲ私ハ特ニ次官ニ御願ヒ致シタイ、先程申上ゲタコトヲ繰返サヤウデアリマスガ、日本ガ大東亞共榮圈ノ指導者トシテ立テバ、工業化サレルコトハ必然的デアル、一面滿洲方面ヘノ移民モ行ハレル、次イデ國防ニ絕對確保ヲ必要トスル全人口ノ四割程度以上ノ人口ト云フモノハ外ニ出ス

ノデアリマスカラ、ドウ考ヘテモ適正規模
農家ヲ創設シ、日本の機械化ヲ爲スヨリ
外日本ノ農業ノ更生策ハナイト考ヘルノデ
ス、而モ今努力ガ不足ダト云フ此ノ時機ガ
天ノ與ヘラレタ時機ハナイカト、私ハ斯
ウ思フ、併シ資材ガ不足ダトアナタハ仰シ
ヤル、ソレハ私等モ、詳シイコトハ分リマ
セスケレドモ、サウダラウト思ヒマス、ダ
カラ恐ラクハヤリタイト思ツテモオヤリニ
ナレナイデ居ルノダラウト思フ、併シ是ガ
日本ノ國家ノ將來ニ取ツテ最モ重要ナ一點
デアツテ、而モ天ノ與ヘタ好機ダ、斯ウ考
ヘル信念ガ非常ニ強クレバ、私ハアナタノ
信念ト、實行力ニ依ツテ必ズ軍ヲ説イテ、
一万「トン」位ノ鐵材ト云フモノハ農村ノ方
ニ貫ツテ來レル筈ダ、斯ウ思フノデス、貫
ヘナイ筈ハナイト思フノデス、此ノ點ハ私
ハドウカ一ツ大臣、或ハ次官、局長、三位
一體トナラレテ、サウシテ陸軍省ナリ其ノ
方面ヲ十分口説イテ、何トカ一万「トン」位
ノ鐵ヲ毎年貫ツテ來テ、サウシテ機械化ノ
傾向ヲモツト濃厚ナラシメ、サウシテ歸還
シタ方々ヲ再ビ過小農ニ陥ラシメ、是ニ依
リ社會ノ下層ニ喘ガナケレバナラナイヤウ
ナコトハ絕對ニサセタクタイト私ハ考ヘテ
居ルノデス、ダカラ一万「トン」ノ鐵ノ要求
ヲ、日本ノ國家ノ基礎ヲナス農村ノ最モ重
要ナ礎石ヲ充實サセル爲ニ御強調ナサレ
テ、之ヲ實現ナサル意思アリヤ否ヤ、此ノ
點ヲ御言明テ御願ヒシタイト思ヒマス

ラウト思ヒマス、併シナガラ之ニ付キマシ
テハ、農林省トシマシテハソレダケ熱心ニ
考ヘテ居ルモノデスカラ、此ノ資材等ノ折衝
ニハ此處ノ席デ申上ゲルノモナンデアリマ
スガ、實ハ鞭撻極マル程關係廳ニハ折衝致シ
テ居リマス、同時ニ又私ハ昨年ノ六月マデ
ハ企畫院ニ居リマシテ、物資動員ノ實情モ
實ハ具サニ知ツテ居ル譯デアリマスカラ、サ
ウ云フヤウナ關係カラ打ツベキ手ハ十分打
チマスモノノ何シロ未曾ツテ經驗シナイ是
ダケノ大作戦ノモノデアリマスカラ、所謂
數千「トン」ノ鐵ト云ウテモ中々實ハ重大ナ
モノデゴザイマシテ、各廳デハ殆ド百「ト
ン」、二百「トン」ト云フ鐵サヘ非常ニ希望ス
ルニ拘ラズ、中々手當ガ付カナイト云フヤ
ウナ實情モアリマスノデ、是等ハ現在ノ段
階ニ於テハ已ム得ナイトシテモ、是亦吾
吾ノ戦ヒ抜ケ結果トシテ、段々其ノ方面ノ生
産力ガ増強サレルト思フノデアリマス、ソ
レト相並ンデ農業ノ機械化、同時ニ農業經營
ノ合理化ト云フコトニハ、人後ニ落チズ努
力シテ精進シタイト思ヒマス

○森田(重)委員 其ノ點ニ付テハ政治的ニ
考ヘテ貫ヒタイ政治ハ一ツノ機デアリマス、
機ヲ逸スルト云フコトハ、即チコトヲ困難
ナラシムル因子トナル、私ハ天機到ルト云
フコトヲ直感スルモノデアリマスカラ、農
林省ノ高等政策トシテ、其ノ點ヲ是非一ツ
實現シテ戴キタイ、若シ此ノ機ヲ逸シテシ
マフト云フコトニナルト、アナタノ仰シヤル
通り戦争ノ時ニハ機械化サレルガ、戦争ガ
濟メバ又元ノ過小農ニナルノダト云フ虞ガ
多分ニアリマスカラ、此ノ點ヲ一ツ御留意
ノ程御願ヒシタイト思フノデアリマス
尙ホ一點御尋ネシタイトデアリマスガ、

此ノ勞働力ノ問題ニ付テ、重要ナル狙ヒド
コロニ付テ御尋ネ致シタイ、此ノ間私次官
ノ御出身ニナリマシタ三戸郡田部村ト云フ
所ニ參リマシタ、ソコデ村長ニ會ツテ聽イタ
話デアリマスガ、同村デハ小麥ハ一反歩デ三
俵獲レルカ穫レナイカ、平均先ヅ三俵ダ、所
ガ一俵ノ價格ガ十二圓五十錢、三俵獲レル
カラ三十七圓五十錢デ二町歩耕シテ一箇年
家内五人デ七百五十圓シカ取レナイ、此村
ハ御承知ノ通り田ガ殆ドアリマセヌノデ、
家畜ト畑作ダケデヤツテ居ルノデアリマス、
所ガ同ジ村ニ於テドウ云フ現象ガ起ツテ居
ルカト云フト他ノ工業或ハ其ノ他ノ筋肉勞
働ニ從ツテ居ル者ハ最低二圓五十錢、月七
十五圓カラ百圓、百五十圓位ヲ得、一人稼
ギニ出ルト年九百圓カラ千八百圓ニナルト
云フ實情デアリマス、五人家族ノ中ノ三人
ガ勞働者ニナツテ行クト、優ニ三千圓カラ
五千圓位ノ收入ニナルト云フコトデアリマ
ス、ソコデ此ノ村デハ畑ガ約二百町歩程荒
廢ニ歸シテシマツタト云フ、是ハ昨年ノ實
情デス、サウシテ村長サンノ如キハ役場ノ
仕事ヲ終ツテカラ家ヘ歸ツテ、サウシテ野
良着ニ着替ヘテ草刈デモ何デモヤツテ、サ
ウシテ自給肥料ヲ作ラウト云フヤリ方ナン
デス、所ガ勞働者ノ方ハ其ノ方向ガ大分是
ト異ツテ居ルヤウナ感じニナツテ居ルト云
フヤウナ次第デアアル、問題ハ何處ニアルカ
ト云フト、勞働力ガ闇ノ賃銀デ他ニ流レテ
行クト云フコトナンデス、ソレガ生産物價
ト均衡ガ取レナイト云フ所ニ結局問題ガア
ルノデス、ダカラ此ノ點百姓バカリ幾ラ獎勵
シタツテ、此ノ勞働賃銀ヲアナタ方各省ノ
強イ主張デ、之ヲ嚴重ニ取締ラザル限り、
勞働力ト云フモノハドウシテモ農村ニ戻ツ
テ來ナイ、ソレヲ今度農林省、厚生省アタ
リデ何カ村長様ニ移動ヲ制限スルノ權限ヲ
持タセル方法ヲ御取締リニナルカノヤウナ
話デアリマスガ、ソナコトデ逆モ是ハ防
止出來ルモノデヤナイノデス、其ノ意味ニ
於テ農産物ノ價格ト勞働賃金トノ間ニ均衡
ヲ得サセルヤウニ、勞働賃金ヲ嚴重ニ取締
ルカ、或ハ農産物ノ價格ヲモツト上ゲルカ
ト云フヤウナコトニ重要ナ眼點ヲ置カレテ、
茲デ均衡ヲ取ラレルヤウナコトニシテ貫ハ
ナイト、ドウヤツテモ今年ノ生産力ハモウ
擴充サレナイト云フコトハ明ラカナコトナ
ノデス、百姓ハ一年ヤ二年ノ間ハ我慢シテ
居リマシタ、又過去ノ傳説ニ基イテ元ノ百
姓ヲヤツテ行カウト云フ、是ハ農民ノ尊イ
所デス、ケレドモ三年モ四年モヤツテ勞働
賃金ノ旨イコトガ分ツテ來マスト、耕作シ
タ物ニ力ヲ注ガナイデ、形ダケハヤツテモ
外ノ方ヘ本當ノ力ガ流レテ行クト云フコト
ハ明ラカナコトデス、ソコデ農林次官ニ御
尋ネ致シタイノハ、斯ウ云フヤウナ農村ノ現
狀ニ鑑ミテ勞働賃金ヲ徹底的ニ取締ルヤウ
ニ、其ノ關係方面ニ強ク御主張ナサル御決
意ガアリヤ、然ラズンバソレト協調スル、
均衡ヲ取ル意味ニ於テ農産物ノ價格ヲ、
モツト高メテ行タト云フヤウナ御意思アリ
ヤ、此ノ點ニ付テ一ツアナタノ本當ノ責任
ノアル御決意ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○三浦(一)政府委員 勞銀ノ適正ナル統制
ハ、是ハ吾々モ絕對ニ希望シテ居リマス、隨
テ厚生省等ニ於キマシテハ之ヲ嚴正ニ行政
ヲシテ戴キタイト云フコトモ勿論考ヘテ居
リマシテ、常時連絡ハ取ツテ居ル譯デアリ
マス、併シナガラ尙ホ勞銀ノ統制等ガ圓滑
ニ行カナイト云フコトハ遺憾ト存ジテ居ル

譯デアリマシテ、今後一段ト此ノ改善ニ付テハ關係廳ノ協力ヲ要望シテ居リマス、勞賃ト農産物ノ價格トノ均衡ノ問題ニ付キマシテハ、米價等ノ問題ニ付キマシテモ説明致シタ通りノ方針ヲ以テ、適正ナル農業賃金ガ得ラレルト云フ風ニ考ヘテ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、唯特定ノ場合ニ於キマシテハ、其ノ方針通りニハ行カヌ例外的ノ場合モアラウト思ヒマスガ、食糧農産物等ノ價格決定ニ付キマシテハ、適正ナル勞賃ガ見ラレテ居ルト云フ風ニナツテ居リマスカラ、御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○森田(重)委員 ソコデモウ一點私ハ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、今マデ私ズツトアナタ方ノ御答辯ヲ聽イテ居リマス、農林省トシテ一體本當ニ生産増強ノ爲ニドウ云フ手ヲ打タレルノデアルカ、又第一番ニ考ヘナケレバナラスノハ肥料ノ問題、所ガ肥料ハ駄目ダト仰シヤル、努力ノ問題、是モ駄目、機械化ノ問題、此ノ點モ大シテドウニモナラスト云ツタヤウナ形勢ニアル、サウスルト結局何ニ訴ヘルカト云フト、是ハ農民ノ主觀的奉公心ニ訴ヘルヨリ仕方ガチクナツタ、斯ウ私ハ考ヘル、ソコデ私、是ハ文部大臣ガ御見エニナリマスナラ文部大臣ニモ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマスガ、併シ特ニ關係廳トシテ御協力ヲ願ヒ申上ゲタイ意味ニ於テ、農林次官ニ一ツ御上申上ゲマス、ソレハ何カト云フト、最近學校ノ生徒ヲ動員シテ居ルノデス、學校ノ生徒ヲ動員シテ食糧増産ニ協力サセテ居ルノデアリマス、所ガ是ガ實ニ無駄ノ多イ姿ニ於テナサレテ居ル、又或ル所ノ學校ニ參リマス、兎ニ角生徒ニ協同作業ヲサセレバ

宜イノダ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方ナノデス、是ハ「ドイ」デハ盛シニヤツテ居ルサウダト云フヤウナコトデ、ソレヲ模倣サセルヤウナ姿ニ於テ何ヲヤツテ居ルカト云フト、或ル所ニ行ツテ溝ヲ掘ツタ、溝ハ掘ツテシマツタガ、何ノ目的ニ掘ツタノカハツキリシテ居ナイ、溝ヲ掘ツタ、楮テ用ガナクナツタ、ドウシタラ宜イダラウ、元ノ通りニ埋メタラ宜イノダト云フノデ、サウ云フコトヲヤツタト云フヤウナ滑稽ナコトマデ或ル處デ生ジタト云フコトヲ聞イテ居リマス、無論ニソシナコトガアルト云フノデアリマセス、ソコデ私ガ特ニ御願ヒ申上ゲタイコトハ、若シ本當ニ生徒ヲ動員ナサラウト云フヤウナコトデアレバ、最も合理的ニ能率ノ上ルヤウナ方法ニ於テ働カシテ貰ヒタイト云フコトナノデス、其ノ點ガ私等ノ聞ク所ニ依ルト、サツパリ能率のデハナイ、計畫的のデハナイ、唯申譯的ニオオ祭騒ギ見タヤウナ結果ニ陥ルト云フコトヲ到ル處デ聞イテ居リマスルカラ、學生ガソレニ參加スル意味ハ如何ナルモノカ、ソレガ最も能率的ニ働クニハドウスレバ宜イカ、チヤント農村ノ技術員ガ計畫ヲ立テ生徒ニモ理解セシメタ上デ働カセルヤウニシテ貰ヒタイト云フコトヲ、痛切ニ考ヘテ居ル者ノ一人デアリマスルカラ、是ハ特ニ農會系統ナリ何ナリト連絡ヲ取ラレテ、特別ナ御指導ヲ御願ヒ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、私ハ是デ終リマス

○三浦(一)政府委員 今機械化ナリ、肥料ナリ或ハ勞働對策ニ付キマシテ、何等ノ見ルベキモノガナイト云フ手厳シイ御話デシタガ、先程カラ申上ゲマシタ通り、今ハ自動耕耘機ト云フヤウナ動力ヲ使フ物ヲ出セト

言ヒマシテモ、是ハ今年アタリハ實際御無理ダラウト思フノデス、現ニ昭和十二年事變勃發以後ニハ、畜力ヲ中心ニシテ相當擴大シタ機械力ヲ入レル計畫モシテ居リマシタガ、今日吾々ガ未ダ會テ經驗セザル程、鐵其ノ他ノ重要物資ガ要リマス爲ニ、多少ナリト吾々ノ方ノ計畫ガ實行難ニ陥ツタト云フコトデ、決シテ吾々ガ農業改善ニ何等寄與シナイト云フコトニハナラスノデアリマスカラ、此ノ點ハ御諒承ヲ得タイト思フノデアリマス、肥料對策ニ致シマシテモ、一面ニ生産力擴充ノ見地カラ、肥料ノ中デモ硫酸等ノ増産ニ付テハ非常ニ注意ヲ拂ツテ今日マデ進メテ參リマシタ、所ガ石炭ノ事情等ガ御承知ノ通りデ、ソコデ已ムラ得ザル減産ニナツタ譯デス、ソレヲ尙且ツ手ヲ着ケナイデハナイカト言ハレマスレバ別デアリマスルガ、是トテモ數次ノ折衝ニ依リマシテ、謂ハバ最優先的ニ石炭ノ増配モ受ケテ參ツテ居リマス、ニモ拘ラズ先般來説明シタ通りノ程度ニ落チテ居ル譯デアリマス、決シテ努力シナイ譯デアリマセス、過燐酸ニシマシテモ、是ハモウ從前カラ最も大切ナリトシテ注意致シテ居リマス、特ニ資産凍結前ニハ最優先的ニ資金モ確保シ、船舶モ手配シテ、今マデ確保ニ努メテ參ツタノデアリマス、所ガ資産凍結後ニナリマスト、「アメリカ」並ニ南洋等ノ第三國カラハ、取得ガ出來ヌヤウナ實情ニナツテ參ツタノデアリマス、此ノ點ハヤハリ事態ノ推移ニ即應シテ、其ノ事情ヲ十分ニ御斟酌ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、之ニ代ルモノトシテ國內ニ於ケル増産ヲスル爲ニ、豫算ニ計上シテ居リマスヤウナ對策モ講ジテ居リマス、更ニ自給對策ニ付テモ、出來ル

ダケノ用意ハシテアル譯デアリマス、勿論勞働對策ノ點ニ付テモ、御不滿ノ點ガアラウカト思ヒマスケレドモ、併シ生産統制對策其ノ他勞賃ヲ、如何様ニ農産物ニ加味スルカト云フ點ハ、先程カラ申上ゲタ通り、是等ヲ色々綜合シマシテ段々強化擴大シテ參リタイト云フ信念ニ付キマシテハ變リゴザイマセスカラ、此ノ點ヲ十分御諒承仰グコトニ致シマス、尙ホ文部省トノ關係ノ例ノ學童ノ勞働力ノ農業ヘノ寄與ノ問題デアリマスガ、當初ヤハリ馴レナイト云フ點ガアリマシタ、詰リ受ケマスル所ノ農村方面、ソレカラ出テ勤勞シテ呉レル學校方面共ニ非常ニ馴レテ居ラス點ガアツタト思ヒマス、既ニ學童ノ勤勞奉仕ニ付キマシテハ、實ハ農林省ガ一番先ニ文部省ト提携シマシテ、此ノ方面ニ手ヲ着ケタノデゴザイマシテ、是ハ十二年ノ事變匆々ヤリマシタ、其ノ後段々發展シテ參ツテ、今日デハ學童ノ勤勞奉仕隊サヘ編成サレルヤウニナツタノデアリマスカラ、御指摘ニナツタヤウナ點モ勿論マダアラウカト思ヒマスガ、餘程緩和シテ參リマシタ、隨テ受ケル方ノ農村側トシテモ用意ガ出來テ居リ、來テ勤勞奉仕シテ呉レル學童ノ心構ヘ、或ハ組織等モ改善シテ居リマスカラ、是ハ農業生産等ニモ相當寄與出來ルモノト考ヘテ居リマス、尙ホ改善スベキ點ハ文部省ト十分ナル連絡ヲ執リマシテ、御趣旨ニ副ヒタイト考ヘテ居リマス

○三善委員長 明日ハ午前十時カラ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス 午後五時十二分散會

昭和十七年一月二十九日印刷

昭和十七年一月三十日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局